

令和6年度

内海府の教育



佐渡市立

内海府小学校 e-mail uchikaifu-es@sado.ed.jp

内海府中学校 e-mail uchikaifu-js@sado.ed.jp

〒952-3205 新潟県佐渡市鷺崎918番地

TEL(0259)26-2223 FAX(0259)26-2226

校歌

小学校校歌と校章のいわれ

中学校校歌と校章のいわれ

I	学校運営	
	2 グランドデザイン	1
	3 学校評価計画	2・3
	4 職員と校務分掌	
	(1) 校務分掌表	4
	(2) 職員一覧表	5
II	教育課程	
	1 年間授業日数	8・11
	2 週時数、年間総時数	8・11
	3 授業時数配当表	9・11
	4 月別・領域別学校行事等一覧表 (小学校)	10
	5 年間行事予定表	10・11
	6 校時表	12
	7 スクールバス運行計画	13
III	指導の大綱	
	1 全校で取り組む学力向上について	14・15
	2 豊かな心の育成について	16
	3 たくましく生きるための体力向上について	17
IV	各教科、領域等の指導	
	1 学習指導の全体計画・各教科の指導の重点	18・19
	2 総合的な学習の時間の全体計画・年間指導計画	20～22
	3 道徳教育の全体計画	23・24
	4 特別支援教育の全体計画	25
	5 特別活動の全体計画	23・24
	6 生徒指導の全体計画・月別生活目標及び指導内容 ピースメソッドを基軸とした教育活動 (小学校) いじめ防止学習プログラム (中学校)・中1ギャップ解消プログラム	28～32
	7 進路指導・キャリア教育の全体計画・新潟っ子プラン	33・34
	8 人権教育、同和教育の全体計画	35
	9 図書館教育の全体計画	36
	10 福祉教育・ボランティア教育の全体計画	37
	11 教育の情報化の全体計画・プログラム全体計画	38・39
	12 体育・健康に関する指導の全体計画	40
	13 性に関する指導の全体計画	41
	14 食に関する指導の全体計画	42
	15 環境教育の全体計画	43
	16 学校保健教育の全体計画・年間指導計画	44～46
	17 学校安全計画	47～50
	18 管理事務部経営計画	51
V	校内研修計画	52～59
VI	学校防護計画	60・61
VII	学校の概要	
	1 沿革史	60～62
	2 地域の概要	63
	3 学級編成と地域別児童生徒数一覧	64
	4 校舎図	65



校章のいわれ

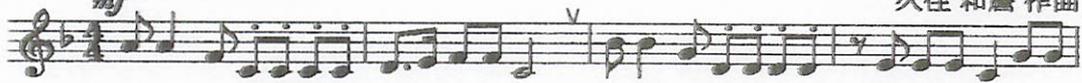
全体の形はイカの耳、校名「内小」を魚の形になぞらえ、大海に向かって泳ぐ姿を象徴したものである。

子どもたち一人一人が、荒海にもめげず、たくましく、雄々しく育ってほしいとの願いがこめられている。

佐渡市立内海府小学校 校歌

あかるくはずむように

浮橋 康彦 作詞
久住 和磨 作曲



1.あさ ひうまれる おおうみの さちをもとめて ふなでのうた
2.だい ちいろどる かんぞうの はなはきょうどの あかるいゆめ
3.あら いしぶきに たちむかう いわにまけない ところとから



だ は え る ゆ う や け ふ た つ が
だ ほ こ る さ く ら に た ぶ の き
だ ぼ く ら に ほ ん の と う だ い



め か た を な ら べ て な か ま の う た だ
に が い れ き し の り の ち が か お る
だ ひ か り あ ふ れ る み ら い を ひ ら く

一、朝日生まれる 大海の

幸を求めて 船出のうただ

映える夕焼け 二つ亀

肩を並べて 仲間のうただ

二、大地彩る 萱草の

花は郷土の 明るい夢だ

誇るさくらに たぶの木に

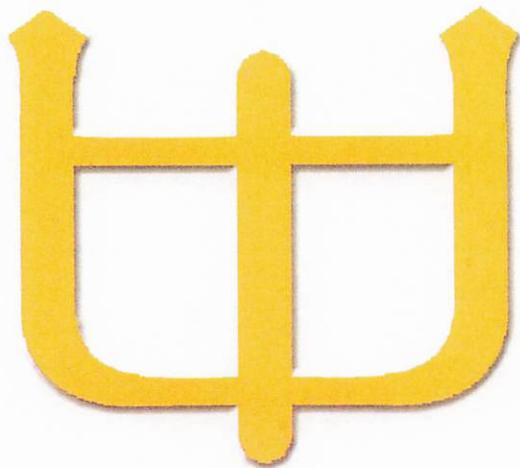
長い歴史の いのちがかおる

三、荒いしぶきに 立ちむかう

岩にまけない 心とからだ

ぼくら日本の 灯台だ

ひかりあふれる 未来をひらく



校章のいわれ

“中”の中央と両端の上向き剣状の形はペンを表し、学業にいそしむことを象徴し、Uは内海府中学校の頭文字Uを図案化するとともに、“中”の中心は、まっすぐに成長してほしいとの願いを表している。

昭和29年1月18日制定
(故老談)

内海府中学校校歌

♩=84

高昌孝 作詞
坪井定一 作曲

母校の誉れ	きほえわが友	うまし学びや	三いざ眉若く	意気高し	意気高し	うましこの里	風清し	うましこの里	風清し	さわなる山の	幸のごと	叡智の泉	求めなむ	二ああ雲白く	海青し	うましこの土地	海青し	さわなる海の	幸のごと	真実の望み	尋めゆかむ
讃えなむ	声あげて	意気高し	意気高し	意気高し	意気高し	うましこの里	風清し	うましこの里	風清し	さわなる山の	幸のごと	叡智の泉	求めなむ	二ああ雲白く	海青し	うましこの土地	海青し	さわなる海の	幸のごと	真実の望み	尋めゆかむ

内海府中学校校歌

作詞 高昌孝
作曲 坪井定一

令和6年度 学校経営の方針

1 教育目標

(小学校) よく考え みんなでなかよく がんばる子
(中学校) 高い知性 豊かな心 強いからだ

2 目指す子ども像 「地域に学び、自立する子ども」

- ◎ 地域を知り、地域に誇りと愛着をもつ子ども
- 自分の思いや願い、考えを適切に表現する子ども
- 自他の思いや周囲の状況を考え、適切に行動する子ども
- 健康に関心をもち、進んで体を動かす子ども

3 学校経営の基本方針

- ◎内海府小・中学校でなければできない教育活動を地域とともに作り、地域を誇り、愛する子どもを育成する。
- 新しい社会で生き抜く人づくりのため、夢や希望をもって粘り強く挑戦していくことができるよう、教育活動を工夫して展開する。

4 目指す子どもに像に達成に迫る方策

(1) 目指す子ども像について

① 地域を知り、地域に誇りと愛着をもつ子ども

- ア 子どもたちが、学校や地域で、安心できる居場所と役割づくりを全職員で行う。
- イ 地域を中心に様々な人やもの、ことと交流する機会をつくり、自分の役割を果たしながら仲間と協力して学習活動を創りあげることで、自己有用感を高める。

② 自の考え、思い、願いを適切に表現する子ども

- ア 子どもに必然性のある学習課題を設定し、主体的に問題解決をする授業を展開する。
- イ 自ら課題を見つけ、情報を集めて自分の考えを持ち、話し合っまとめ・表現させる。
- ウ 多様な人々とつながり学びを深めるために、タブレット等を活用した遠隔授業や交流活動を充実させる。

③ 自他の思いや周囲の状況を考え、適切に行動する子ども

- ア 日常の様々な場面でお互いの意見や考えを認め合いながら主体的に合意形成を図る話し合いを行うことができるようにさせる。
- イ UDLの視点に基づいた授業を行い、全ての子どもが主体的に授業に参加できるよう、学ぶ側に立った授業を展開する。

④ 健康に関心をもち、進んで体を動かす子ども

- ア 運動に親しむ機会を計画的・継続的に設け、めあてをもって体力の向上を図らせる。
- イ 健康三原則（食事、運動、休養）の取組を進め、生活習慣を改善し、食育を推進する。
- ウ ゲーム、スマートフォンなどのメディアを適切にコントロールできる力をつけさせる。

(2) 地域と学校の融合（海府桜「さっちゃん」でつながる会を中核にして）について

地域の取組や行事に積極的にかかわり、多様な体験活動を通して、特色ある教育活動の充実を図る。

(3) 学び続ける教職員集団づくりについて

- ア 信頼される教師となるよう誰に対しても親身になる。
- イ 授業力・生徒指導力の向上を目指した、計画的・探究的な研修の充実を図る。
- ウ 人間力の向上を目指した研修と高い同僚性の実現する活動の充実を図る。

I 学校運営

令和6年度 佐渡市立内海府小・中学校 グランドデザイン

小学校

中学校

よく考え

高い知性

みんなでなかよく

豊かな心

がんばる子

強いからだ

～地域に学び、自立する子ども～

- ◎ 地域を知り、地域に誇りと愛着をもつ子ども
- 自分の思いや願い、考えを適切に表現する子ども
- 自他の思いや周囲の状況を考え、適切に行動する子ども
- 健康に関心をもち、進んで体を動かす子ども

教育活動の視点	運営視点	キーワード	小学校の具体的取組	中学校の具体的取組	保護者の願い等
① 確かな学力の習得・佐渡学の充実 ② 道徳教育・特別活動の充実 ③ 人間関係づくりの推進 ④ 体力向上の推進 ⑤ 生活習慣の改善・食育の推進 ⑥ 教職員の育成	知育	確かな学力づくり	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善 自己肯定感を高める学習の振り返りの充実 個別最適化学習に向けた1人1台端末の活用 話形授業、ノート指導、家庭学習の充実 UDLの視点による授業展開 学習規律、スキルの小中共有と徹底 学びの質を高める教材研究 遠隔教育システムの活用 佐渡カンゾウ祭り、佐渡海府寒ぶり大漁まつりにおける小中連携活動 SDGsの目標と関連付けた活動 地域の人材を活用した授業づくり 他校との交流 地域探訪(ジオパーククラブ等) 地域での体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> サブライタイムにおける特別講座 新しい評価の確実な実施 法政大学の学生と連携した地域貢献活動 課題解決型職場体験(2年時) 	<保護者の願い> ・基礎基本の定着 ・確かな学力の定着 ・表現力の向上 ・地域のよさの実感 ・思いやりの心と協調性の育成 ・郷土愛の醸成 ・規則正しい生活 ・健やかな身体 ・心の健康 <地域の環境と連携> ・豊かな自然環境に恵まれ、漁業と観光が経済の基盤である。 ・地域には祭りや行事が多い。 ・地域は、学校の教育活動に対して理解・協力を惜しまず、地域の地産地消による食育や魚さばき体験など各種行事の支援体制は厚い。
	知育	居場所づくり・絆づくり	<ul style="list-style-type: none"> 小中連携道徳科の実施 心の在り方について話し合う 計画的な道徳授業の実施 児童全員一表彰 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が考えたい授業 指導と評価の一体化(道徳ファイルの活用) 	
	徳育	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 児童会・生徒会合同事業の実施 自分発見と他者理解を促すエクササイズの実施(スクールカウンセラー活用、p4c等) 元気な挨拶(挨拶運動の実施) ソーシャルスキルの育成 小・中の交流活動の充実 すべての子どもに意図的な活躍の場を設定 特別支援教育の充実(職員研修、子どもを語る会) 関係機関との積極的な連携 体験活動の活用 教育相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部会 外部機関との連携 スクールカウンセラーと連携した対策会議、相談等の実施 	
	徳育	健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> 業間運動の継続 合同体育の工夫 陸上・水泳大会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 保健体育科におけるめあて指導の充実 運動部活動の充実(複数合同部活動モデル事業) 	
	徳育	健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> 早寝、早起き、朝ご飯、メディアコントロール 家庭と連携した生活習慣の定着(元気アップ週間の設定) 歯ッピー週間の設定、給食後の歯磨き指導 小中合同学校保健会の実施 食育、給食指導の充実 家庭と連携した望ましい食習慣への取組 		
	徳育	健康づくり			
徳育	質の高い教職員集団	学び続ける教職員	具体的取組 ○誰からも信頼される人間味溢れる教師 ・教職への誇りと情熱を大切に、自ら考え判断し、行動することができる。 ・信念をもち、自らの思いを表現することができる。 ・多様な価値観をもつ人と認め合い、協働することができる。 ・児童・生徒の良き見本として、社会人としての資質の向上に向け努力し続けることができる。 ○授業力・指導力の向上を目指した研修の充実 ・個の課題解決や主体的な学びを中心とした授業改善研修の継続・充実 ・個別最適な学びの視点を重点とした研修を実施する。 ○人間力の向上を目指した研修と高い同僚性の実現を目指した活動の充実 ・コンプライアンスの徹底及び非違行為根絶のための研修を実施 ・職員の専門性や多様な経験を活かした研修、多様な価値観に触れる研修や活動の充実		

課題

児童・生徒数の維持・増加

学力・人間性と社会性・体力

質の高い教育活動

魅力ある学校

学校経営の基盤

地域とともに歩む学校

質の高い教職

指導力の向上

令和6年度 学校評価計画

1 目的

- (1) 教育目標の達成に向かって、学校が教育機能をどの程度果たしているかを、知育・徳育・体育の3つの柱、重点目標達成に向けた方策を中心に総合的・客観的に評価する。その結果に基づいて学校が行う教育活動について改善策を立て、教育の充実・向上を図る。
年度途中、年度末において、教育活動を振り返り、適切な評価を行うことで改善を図るとともに、年度末評価においては、評価・反省を基に次年度の教育課程を編成する。
- (2) 評価結果を保護者・地域に公表し、学校の教育活動の取組における成果、児童・生徒の成長、教職員の努力等について理解と信頼を得る。また、自己評価に際しては、保護者評価を重視するとともに、学校運営協議会による学校関係者評価を実施し、今後改善すべき課題等について、保護者・地域と共有し、連携・協力した取組を進めることを通して、地域に信頼される学校づくりを推進する。

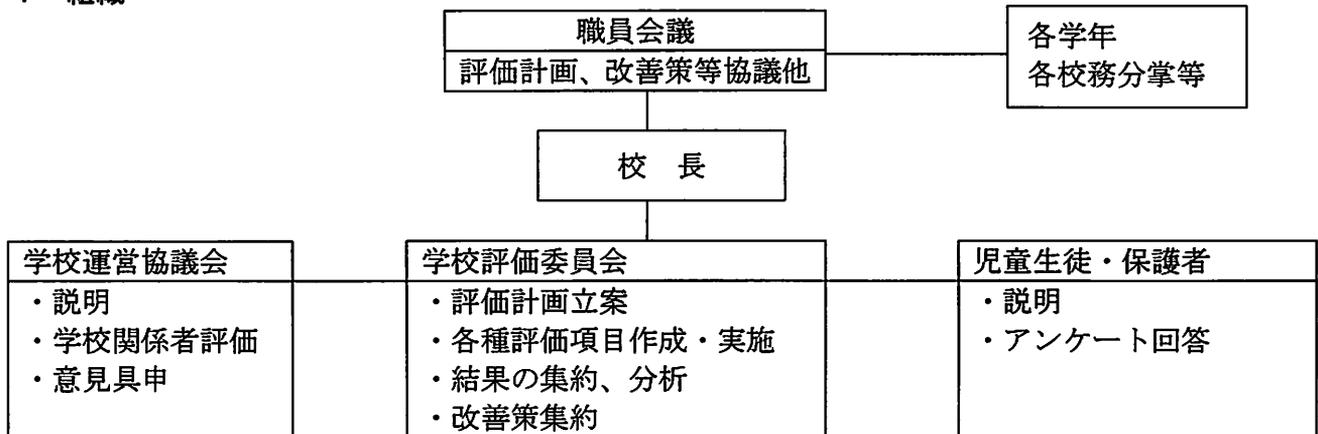
2 基本的な考え方

- PDCAのサイクル化を図り、学校改善を行う。
- 評価基準に基づき、自己評価を実施し、結果を客観的に捉えられるよう数値化していく。
- 年度初めに、学校運営協議会（学校関係者評価委員会）に対し学校経営の方針、教育課題と重点取組等について示し、意見聴取を行う。年度末には、学校の自己評価について評価いただき、今後の改善方策をまとめる。
- 児童・保護者アンケート、学校運営協議会による学校関係者評価を最大限活用し、開かれた学校を目指す。
- 児童・保護者アンケートの結果を考察し改善策を立案して、保護者や地域に学校だより等で知らせる。
- 学校経営の方針は、PTA総会で保護者に説明し、学校運営協議会で承認を得る。
- 評価項目を教職員の自己申告シートにも反映させる。

3 評価方法

		評価対象	実施回数	PDCAの 主な担当	評価の内容
自己評価	教職員	学校評価	年2回	学校評価委員会	○学校評価シートをもとに、各主任を中心に評価する。
		各種行事等の評価	行事終了 1週間内	行事主任	○全教職員対象に、各種行事に関する取組、成果等について自由記述で評価する。 ※児童からも取組についてアンケート調査を行い評価する。
	児童・生徒・保護者	児童・生徒アンケート	年2回	学校評価委員	○全児童・生徒対象に、学習への取組や学校生活全般についての満足度を4段階評価と自由記述で評価する。
		保護者アンケート			○全保護者を対象に、重点的な教育活動についての満足度を4段階評価と自由記述で評価する。
		元気アップ週間	年3回	学校看護師	○5月の連休、夏季・冬季休業後の生活習慣を1週間調査し、きまり正しい生活習慣に改善する。
学校関係者評価		学校運営協議会	年2回	地域連携担当教員	○本年度の教育課題やそれに向けた取組について協議するほか、学校評価アンケート結果等により意見聴取し、教育活動の改善・充実を推進する。

4 組織



5 日程

月	PDCAと活動内容
4	P 学校経営方針・グランドデザインの見直し、明示、共有。 D 保護者説明（PTA総会）
5	P 学校評価計画の作成・項目の検討 D 第1回学校運営協議会で承認 D 第1回元気アップ週間の設定・評価・分析・情報発信 P 教職員自己申告作成・面談
6	D 児童・保護者学校生活アンケート、児童生徒との面談
7	C・A 反省見直し、学校評価の改善、学校運営協議会、学校だより等で情報発信
8	C 第2回学校運営協議会児童・保護者アンケートの集約・分析
9	D 第2回元気アップ週間の設定・評価・分析・情報発信
10	D いじめ見逃しゼロスクール集会
11	D 児童・保護者学校生活アンケート、児童生徒との面談
12	C 教職員による学校評価の収集・分析・改善策の立案・改善策の共有
1	C・A 教職員による学校評価の改善策の立案・共有、次年度の取組の立案 D 第3回元気アップ週間の設定・評価・分析・情報発信
2	C 学校運営協議会：次年度の取組検討
3	A PTA総会次年度の取組承認

学級担任		
小学校	3年生	土屋
	4・5年生	後藤
中学校	1年生	北
	2・3年生	近藤

主任		
教務主任	土屋	○茨木
研究主任(兼学習指導統括)	後藤	○鈴木
生活指導主任・生徒指導主事	○土屋	北
進路指導主事		茨木
保健主事	○後藤	小林

栄養士	佐々木
庁務員	白杵
調理員	坂野 齋藤
学校看護師	
図書館事務	石見
ALT	ジェイディン
スクールカウンセラー	斎藤重 (土屋)
介助員	岩岸
SSS	山本
地域コーディネーター	小川

学習指導	学習指導一般	後藤	鈴木
	国語	○土屋	近藤(野田)
	社会	土屋	○鈴木
	算数・数学	後藤	○北
	理科	後藤	○茨木
	生活		
	音楽	○後藤	茨木(渡部)
	図工・美術	○後藤	小林(菅原武)
	体育・保健体育(体育・健康教育)	○土屋	近藤
	技術・家庭	後藤	○小林・茨木
	外国語・英語	土屋	○近藤

道徳教育推進教師	○後藤	小林
----------	-----	----

総合学習	土屋	○近藤
------	----	-----

特別活動	学級指導	○後藤	近藤
	児童・生徒会本部(生徒会専門部, 応援)	後藤	○近藤
	緑の少年団		小林
	課外活動, クラブ, 部活動	○土屋 後藤	卓球(近藤) 陸上・駅伝(近藤)

生徒指導・生活指導	○土屋	北
-----------	-----	---

キャリア教育	後藤	○鈴木
--------	----	-----

各種教育等	特別支援教育	土屋	○小林
	人権教育, 同和教育	○後藤	鈴木
	防災教育・安全教育・環境	後藤	○北
	性教育, 保健指導, 食育指導, 給食	○土屋	小林
	図書館教育(学校司書)	○土屋	鈴木
	情報教育・ICT	後藤	○小林

学校行事	儀式的行事	土屋	○茨木
	体育的行事	○土屋	近藤
	文化的行事	後藤	○茨木
	旅行的行事	後藤	○近藤

教務(学籍, 時間版を含む)	土屋	○茨木 小林
----------------	----	-----------

庶務	文書, 就学援助, 共済・互助・財団・学協	後藤, 校長	小林・茨木
	出勤簿, 休暇簿, 公務・通勤災	校長	校長
	スポーツ振興センター	○土屋	小林
	内親会	土屋	○近藤

施設(清掃含む)	後藤	○北
----------	----	----

財務	給与・旅費・諸手当, 市会計	校長, 白杵	校長, 白杵
	学校教育支援事業	土屋	茨木
	学級会計	土屋, 後藤	北 近藤
	購買会計	後藤	

渉外	佐小研, 佐中研	後藤	鈴木
	小体連, 中体連	土屋	近藤
	学警連	土屋	北
	育成協	校長	校長
同人会			

地域連携	地域連携担当教員(原小中高連携を含む)	土屋	○茨木・小林
	学校運営協議会	校長	○校長(茨木)
	PTA事務局	○土屋	鈴木(茨木)
	PTA会計	土屋	鈴木
	同窓会		校長・近藤
	視察会	後藤	○茨木

健康管理, 職員検診	土屋, 小林
------------	--------

<初任者研修>

拠点校指導員	嶋見 (月曜日)
校内指導員	茨木

<特設委員会>

企画委員会(学校評価委員会)	小・中校長, 小教務主任, ○中教務
----------------	--------------------

特別支援教育校内委員会	小・中校長, 小・中教務, 養教 小特別支援担当, ○中特別支援担当
-------------	---------------------------------------

研究推進委員会	小・中校長, 小研究主任, ○中研究主任
---------	----------------------

いじめ不登校対策委員会	小・中校長, ○生活指導主任 生徒指導主事, 養教, (担任), (SC)
-------------	--

学校保健委員会 (アレルギー対応委員会)	中校長(衛生推進者), 小校長, 中保健主事, ○小体育主任, 担任,
-------------------------	---

学校給食運営委員会	小・中校長, ◎給食, 養教, ○栄養士, 調理員・生産者・PTA正副
-----------	--

調査書作成(推薦)委員会	中校長, 中教務主任 ◎進路指導主事, ○3年生担任 生徒指導主事, (学校看護師)
--------------	--

財務委員会(年4回開催)	◎小・中校長, 小・中教務主任
--------------	-----------------

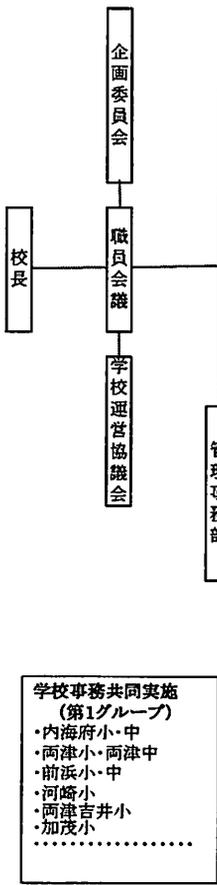
小・中連携プロジェクトチーム	心部会(部会長は生徒指導主事) 生活指導主任, 生徒指導主事, 小・中の道徳教育推進教師, 学校看護師, SC
----------------	--

からだ部会 (部会長は小・体育主任)	小・中の体育主任, 養護教諭
-----------------------	----------------

学び部会(部会長は小・研究主任)	小・中の研究主任
------------------	----------

地域部会(部会長は中・地域連携)	小・中の地域連携担当教員
------------------	--------------

※上記のメンバーを中心にして, 必要に応じて全てに職員を対象にその都度, 事業を行う。



学校事務共同実施
(第1グループ)
・内海府小・中
・両津小・両津中
・前浜小・中
・河崎小
・両津吉井小
・加茂小
.....

2 職員一覧表

小学校

	職名	氏名	備考
1	校長	椎 一夫	
2	教諭	土屋 優美	教務主任 3年担任
3	教諭	後藤 雅弥	4・5年担任
4	介助員	岩岸 麻美	
5	地域教育コーディネーター	小川 和恵	中学校と兼務
6	図書館事務	石見 衿果	内海府中、両津中(本務)と兼務
7	SSS	山本 みのり	

中学校

	職名	氏名	備考
1	校長	山口 智	
2	教諭	茨木 智裕	教務主任 理科 技術
3	教諭	近藤 勇毅	2・3年担任 英語 保健体育
4	教諭	鈴木 沙友里	研究主任 社会
5	教諭	小林 万由子	保健主事 家庭
6	講師	北 朋子	1年担任 数学
7	非常勤講師	野田 一雄	国語
8	非常勤講師	渡部 雅	音楽
9	非常勤講師	齋藤 直子	美術 前浜中と兼務
10	庁務員	臼杵 裕太	佐渡市職員 小学校と兼務
11	調理員	坂野 由紀子	佐渡市職員 小学校と兼務
12	調理員	斉藤 豊美	佐渡市臨時職員 小学校と兼務
13	栄養士	佐々木佳子	佐渡市教育委員会
14	SC	斎藤 重樹	スクールカウンセラー 小学校と兼務
15	ALT	ジェイディン・アレクシス	英語アシスタントティーチャー 小学校と兼務
16	拠点校指導教員	嶋見 靖之	佐和田、両津、相川、南佐渡と兼務

II 教育課程

1 年間授業日数 (小学校)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
月	3	5	3	3	1	3	4	4	2	3	3	3	37
火	3	5	4	3	1	4	5	4	3	4	4	3	43
水	4	4	4	3	1	4	4	5	3	4	4	2	42
木	4	3	5	3	1	4	4	4	3	3	5	3	42
金	3	3	5	3	0	5	3	2	4	3	3	4	38
土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4
授業日数	16	21	20	17	5	19	22	20	17	18	18	15	208
学期計	74				83				51				

2 週時数及び年間総時数 (小学校)

曜日	日数	週当たりの時数						年間総時数					
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
月	32	5	5	6	6	6	6	160	160	192	192	192	192
火	44	5	5	6	6	6	6	220	220	264	264	264	264
水	44	5	5	5	5	5	5	220	220	220	220	220	220
木	42	5	5	6	6	6	6	210	210	252	252	252	252
金	42	5	5	5	6	6	6	210	210	210	252	252	252
土	0							0	0	0	0	0	0
日	4							20	20	20	20	20	20
計	208	25	25	28	29	29	29	1040	1040	1158	1200	1200	1200

3 授業時数配当表 (小学校)

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
各教科	国語	306	315	245	245	175	175
	社会	—	—	70	90	100	105
	算数	136	175	175	175	175	175
	理科	—	—	90	105	105	105
	生活	102	105	—	—	—	—
	音楽	68	70	60	60	50	50
	図工	68	70	60	60	50	50
	家庭科	—	—	—	—	60	55
	体育	102	105	105	105	90	90
	外国語	—	—	—	—	70	70
教科時数計		782	840	805	840	875	875
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35
外国語活動		—	—	35	35	—	—
総合的な学習の時間		—	—	70	70	70	70
特別活動の授業時数		34	35	35	35	35	35
授業時数合計		850	910	980	1015	1015	1015
特別活動	児童会	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
	クラブ	—	—	10	10	10	10
	学校行事	64.0	63.7	63.7	63.7	63.7	63.7
総計		917.7	977.4	1057.4	1092.4	1092.4	1092.4
年間総時数①(前頁による)		1040	1040	1158	1200	1200	1200
昨年度欠課時数②		7	7	10	10	10	10
予備時数 (①-総計- ②)		115.3	55.6	90.6	97.6	97.6	97.6

* 児童会、クラブ、学校行事各時数は、月別・領域別学校行事等一覧表(次頁)による。

* 委員会は時数に含めない。

* 低・中学年の英語活動年間10時間は、予備時数内で実施するものとし、時数に含めない。

* 1m(モジュール)は15分とする。3mを1hとして時数をカウントする。

4 月別・領域別学校行事等一覧表(小学校)

	儀式的行事			学芸的行事			健康安全・体育的行事				遠足・集団宿泊的行事		勤労生産・奉仕的行事		児童会・クラブ						
							健康安全的		体育的												
	h	m		h	m		h	m		h	m	h	m		h	m					
4月	新任式		2			身体測定 (視力・聴力)	1					春の校外学習	2			委員会		2			
	始業式		2													地域子ども会		2			
	入学式	1	0	知能検査 (2年・4年)	1	内科検診										クラブ		3			
						歯科検診															
					交通安全教室	1															
5月						防災教育プログラム	2							田植え	4	委員会		1			
						避難訓練		2								クラブ		3			
6月						眼科検診		1						プール清掃	2	委員会		2			
						耳鼻科検診		1						魚さばき	2	クラブ		6			
7月	終業式		2								市親善水泳大会5年	3			海岸清掃	3	委員会		2		
																クラブ		3			
																夏祭り		2			
																地域子ども会		2			
8月	始業式		2			身体測定		1													
9月						防災教育プログラム	2							稲刈り	2	委員会		1			
														グラウンド除草	1	クラブ		6			
10月				文化祭前日準備	2						運動会予行	2			脱穀作業	1	委員会		2		
				文化祭	5						運動会前日準備	2				クラブ		3			
											運動会	3									
11月				市小学校音楽発表会	3	避難訓練		2					秋の社会科見学事前指導	5		委員会		2			
													0		クラブ		6				
12月	終業式		2													委員会		1			
																地域子ども会		2			
1月	始業式		2			身体測定		1								委員会		2			
2月						避難訓練		2	スキー授業	5						委員会		2			
						防災教育プログラム	2														
3月	終業式		2													委員会		1			
																地域子ども会		1			
Total	小計	1	14	小計	11	0	小計	8	13	小計	15	0	小計	7	0	小計	15	0	委員会		16
	合計	5.7		合計	11		合計	12.3		合計	15		合計	7		合計	15		クラブ		10.0
学年別行事時数	1年 64.0			2年 63.7			3年 63.7			4年 63.7			5年 63.7			6年 63.7			集会的活動		5

<1m(モジュール)は15分とする。3mを1hとして時数をカウントする。>

R6 内海府中学校 年間授業時数等予定表

項目	学年	日数	週休日	祝日	休業日	授業日数	授業時数	給食日数	学校行事	生徒会行事
4月	1年	30	9	0	5	16	88	14	3	0
	2年	30	9	0	5	16	88	14	3	0
	3年	30	9	0	5	16	88	14	3	0
5月		31	6	3	1	21	121	18	14	2
6月		30	9	0	1	20	116	18	9	2
7月		31	8	1	5	17	96	16	3	0
1学期 小計	1年	122	32	4	12	74	421	66	29	4
	2年	122	32	4	12	74	421	66	29	4
	3年	122	32	4	12	74	421	66	29	4
8月		31	8	1	17	5	26	4	1	0
9月		30	8	2	1	19	110	18	6	0
10月		31	7	1	0	13	75	21	5	0
11月		30	6	2	2	20	116	19	9	0
12月		31	8	0	6	17	94	16	7	0
2学期 小計	1年	153	37	6	26	74	421	78	28	0
	2年	153	37	6	26	74	421	78	28	0
	3年	153	37	6	26	74	421	78	28	0
1月		31	9	1	3	18	101	16	2	0
2月		28	7	2	0	18	104	18	4	2
3月	1年	31	10	1	6	14	78	12	3	0
	2年	31	10	1	6	14	78	12	3	0
	3年	31	2	0	28	1	3	0	3	0
3学期 小計	1年	90	26	4	9	50	283	46	9	2
	2年	90	26	4	9	50	283	46	9	2
	3年	90	18	3	31	37	208	34	9	2
年間 合計	1年	365	95	14	47	198	1125	190	66	6
	2年	365	95	14	47	198	1125	190	66	6
	3年	365	87	13	69	185	1050	178	66	6
項目	学年	日数	週休日	祝日	休業日	授業日数	授業時数	給食日数	学校行事	生徒会行事
備考							標準1015時間			

1 年間授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	技家	英語	道德	学活	総合	総時数
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

2 週授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	技家	英語	道德	学活	総合	総時数
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

2024/3/29 14:35

()は予定行事or該当学年なし
『』は外部との連携事業 学校側が希望する日程

令和6年度 佐渡市立内海府小学

日	曜	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	月	新年度開始 辞令交付・挨拶回り 学年始休業(～4/5)	水 中教研総集會	土 週休日	月 (スクールバス会議①)	木	日 週休日 佐渡国際トライアスロン
2	火		木 全校朝会	日 『カンゾウWEEK』	火	金 離島留学モニターツアー	月 生活朝会
3	水		金 憲法記念日	月 『カンゾウWEEK』振替休日	水 小職員会議⑤	土 週休日	火 『ときくさ』
4	木	合同職員会議①	土 みどりの日	火 家庭学習強調週間①(～6/10)	木	日 週休日	水 ジオパーククラブ④
5	金	合同職員会議② 入学式準備 子どもを語る会	日 こどもの日	水	金	月	木 小職員会議⑦ マラソン前検診
6	土	週休日	月 振替休日	木 全校朝会 共同実施	土 週休日	火 共同実施	金 (ジオパーククラブ④予備日)
7	日	週休日	火	金 『魚さばき体験』	日 週休日 通信陸上県大会	水 両津川開き卓球大会	土 週休日
8	月	新任式・始業式・入学式 小職員会議① 中職員会議①	水 『鬼の田植え』	土 週休日	月 通信陸上県大会	木	日 週休日
9	火	身体測定 視力・聴力検査 お花見会食 共同実施	木 陸上大会激励会 眼科検診 (たけのご握り・あく抜き) 共同実施	日 週休日	火 共同実施	金	月 共同実施
10	水	(じゃがいも植え)	金 佐渡市中学校陸上大会 『学校田田植え』 小職員会議②	月 下越地区陸上大会激励会	水 佐小研の日 学校運営協議会②	土 週休日	火 『学校田稲刈り』
11	木	内科検診	土 週休日	火	木	日 週休日 山の日	水 『サザエつき体験』
12	金	観桜会	日 週休日	水 下越地区陸上大会	金	月 振替休日	木 駅伝大会激励会 『サザエつき体験予備日』
13	土	週休日	月	木 家庭学習強調週間①(～6/20) 下越地区陸上大会	土 週休日 県総体	火 学校無人化	金 佐渡市中学校駅伝大会
14	日	週休日	火 『学校田田植え予備日』	金 下越地区陸上大会報告会	日 週休日 県総体	水 学校無人化	土 週休日
15	月	生活朝会 学校運営協議会三役会 PTA役員会①	水 元氣アップ週間①(～21日) 『緑の少年団入団式・シタケ菌打ち』 尿検査二次	土 週休日	月 海の日 県総体	木 学校無人化	日 週休日
16	火	中教研評議員会	木 共同実施 尿検査二次(予備日)	日 週休日	火	金	月 敬老の日
17	水	佐小研総集會	金 生徒総会 歯科検診	月 期末テスト① 合同職員会議④	水 ジオパーククラブ③	土 週休日	火 駅伝大会報告会 『学校田稲刈り予備日』
18	木	全国学力・学習状況調査 共同実施 知能検査小4・中1	土 週休日	火 『海岸清掃』 期末テスト② 共同実施	木 共同実施	日 週休日	水 佐小研の日
19	金	避難訓練①火事 授業参観 学級懇談会 第1回PTA総会	日 週休日 佐渡ロングライド	水 佐小研の日	金 (ジオパーククラブ③予備日)	月	木 『たこさびき体験』
20	土	週休日	月 『給食運営協議会』	木 (プール開き) (海岸清掃予備)	土 週休日	火 中教研教科・領域部会	金 家庭学習強調週間②(～9/27)
21	日	週休日	火 『車田植え』	金 下越地区大会	日 週休日	水	土 週休日
22	月		水 佐渡市中学校卓球大会激励会	土 週休日 下越地区大会	月	木 事務支援	日 秋分の日
23	火	心臓検診(中1) 合同職員会議③	木 佐渡市中学校卓球大会	日 週休日	火	金 (わたしの主張佐渡地区大会) PTA役員会② 合同職員会議⑤	月 振替休日
24	水	耳鼻科検診・加茂小 尿検査一次 共同実施	金 佐渡市中学校卓球大会	月 緑の少年団交流集會 小職員会議④	水 終業式	土 週休日	火
25	木	(山菜採り・あく抜き) 尿検査一次(予備日)	土 週休日	火 下越地区大会報告会 (ゲートボール交流会)	木 夏季休業日(～8/25) 個別懇談会①(～7/31)	日 週休日	水 小学校陸上大会激励会
26	金	学校運営協議会	日 週休日	水 ジオパーククラブ②	金 PTAプール開放 共同実施	月 始業式 小職員会議⑥	木 中間テスト① 小学校陸上大会
27	土	週休日	月 佐渡市中学校卓球大会報告会 小職員会議③	木 共同実施	土 週休日	火 身体測定 共同実施	金 中間テスト②
28	日	週休日	火 ジオパーククラブ①	金 (ジオパーククラブ②予備日)	日 週休日 カデット佐渡地区予選	水 PTA保健委員会	土 週休日
29	月	昭和の日 全佐渡卓球シングルス戦	水 生活朝会 プール清掃 共同実施	土 週休日	月	木	日 週休日
30	火		木 プール清掃予備日	日 週休日	火	金	月 小学校陸上大会報告会
31	—	—	金 (ジオパーククラブ①予備日)	—	水	土 週休日	—

※企画会議:毎週水曜日15時から 中職員会議:毎週 曜日 限時(講師予定わかり次第確定)
車田植え:5月大安

中修学旅行:9月1週 関西方面(3日間)予定

校・内海府中学校 年間行事予定

※黒字は小中合同 緑字は小学校のみ 青字は中学校のみ 赤字は検診・検査
 ※曜日が緑:小中共に給食なし、青:小中どちらか給食なし

曜	10月	曜	11月	曜	12月	曜	1月	曜	2月	曜	3月	日
火		金	全校朝会	日	(寒ぶり大漁まつり)	水	元日	土	週休日	土	週休日	1
水	下越地区駅伝大会	土	週休日	月	寒ぶり大漁祭り振替休日	木	年始休業	日	週休日	日	週休日	2
木	全校朝会 共同実施	日	文化の日	火		金	年始休業	月	豆まき	月	中学校卒業式 特別支援学校二次選考出願 (~3/7)	3
金		月	振替休日	水	親子郷土料理教室 個別懇談会②(1,2年)	土	週休日	火	家庭学習強調週間④(~ 2/9)	火		4
土	週休日	火		木	共同実施	日	週休日	水	特別支援学校一次選考予備	水	一般選抜学力検査 1,2年実力テスト	5
日	小中学校運動会	水	市中学校音楽発表会	金		月	小職員会議⑩	木	全校朝会 期末テスト①(3年)	木	一般選抜学校独自検査 共同実施	6
月	運動会振替休日	木	市小学校音楽発表会	土	週休日	火	始業式 合同職員会議⑧	金	期末テスト②(3年) 共同実施	金		7
火		金	(干し柿作り) 県駅伝大会 文化祭前日準備 共同実施	日	週休日	水	書き初め大会 生活朝会	土	週休日	土	週休日	8
水	合同職員会議⑥	土	週休日	月		木	避難訓練③不審者 共同実施	日	週休日	日	週休日	9
木		日	文化祭	火		金	身体測定 特別支援学校高等部出願(~ 1/17)	月	特色化選抜検査 特別支援学校一次選考合格発表	月	一般選抜学力検査(追検査)	10
金	鷺崎まつり	月	文化祭振替休日	水	佐小研の日 個別懇談会②(3年)	土	週休日	火	建国記念の日	火	一般選抜学校独自検査(追検査) 特別支援学校二次選考	11
土	週休日 全佐渡団体戦	火		木	(門松作り体験)	日	週休日	水	合同職員会議⑩ 小職員会議⑪	水	特別支援学校二次選考合格発表	12
日	週休日	水		金		月	成人の日	木	PTA役員会③ 特色化選抜内定通知	木	一般選抜合格発表 特色化選抜合格発表	13
月	スポーツの日	木		土	週休日	火		金	生徒総会	金	共同実施	14
火		金	(避難訓練②)地震・土砂 保護者引き渡し訓練)	日	週休日	水	佐小研の日	土	週休日	土	週休日	15
水	佐小研の日 ジオパーククラブ⑤	土	週休日	月		木	授業参観 新入生説明会	日	週休日	日	週休日	16
木		日	週休日	火		金		月	一般選抜出願(~2/19)	月	2次募集出願(~3/18)	17
金	(ジオパーククラブ⑤予備日)	月	生活朝会 小職員会議⑨	水		土	週休日	火	期末テスト①(1,2年)	火	事務支援	18
土	週休日	火	共同実施	木	共同実施	日	週休日	水	期末テスト②(1,2年) 佐小研の日	水	2次募集	19
日	週休日	水	家庭学習強調週間③(~11/30) 佐小研の日	金		月		木	第2回PTA総会 6感会 3送会 共同実施	木	春分の日	20
月		木	進路事務説明会	土	週休日	火	NRT学力検査①	金	学校運営協議会③	金	小学校終業式 2次募集合格発表	21
火		金	家庭学習強調週間2(~11/29)	日	週休日	水	生活朝会 NRT学力検査②	土	週休日 全佐渡新人戦	土	週休日	22
水	ジオパーククラブ⑥ 小職員会議⑧	土	週休日 勤労感謝の日 佐渡市卓球ダブルス戦	月		木	共同実施	日	天皇誕生日	日	週休日	23
木	授業参観・親子給食 (就学時健診)	日	週休日	火	終業式	金	(スキー授業)	月	振替休日	月	小学校卒業式 中学校終業式	24
金	(ジオパーククラブ⑥予備日)	月		水	冬季休業日(~1/6)	土	週休日	火	一般選抜志願変更(~2/2 7)	火	学年末休業(~3/31) (離任式)	25
土	週休日	火		木		日	週休日	水		水	学年末休業 会計監査	26
日	週休日	水	合同職員会議⑦	金		月		木		木	学年末休業	27
月		木	期末テスト① 共同実施	土	週休日	火		金	卒業式準備 終業式(3年)	金	学年末休業	28
火	共同実施	金	期末テスト②	日	年末休業	水	合同職員会議⑨	-	-----	土	学年末休業	29
水		土	週休日	月	年末休業	木		-	-----	日	学年末休業	30
木		-	-----	火	年末休業	金	特色化選抜出願(~2/4) 特別支援学校一次選考	-	-----	月	学年末休業	31

22

20

17

18

18

15(2)年間208日

令和6年度スクールバス計画

教 務

1 運行計画

- (1) バスの運行回数は原則登下校時1回とする。
- (2) 内海府小・中学校で共用運行のため、担当が両校の関係職員に運行時間を確認して、毎月中旬に翌月の運行計画を作成する。
- (3) 運行予定表作成後、運転手及び児童生徒、職員に配付する。
- (4) 翌月の運行予定表を教育委員会にメールで送る。※15日までが目安
- (5) 上記の他、翌週の行事等とのかかわりから、両校において下校時バスの出発時刻を確認し、運転手に連絡する。
- (6) バスを利用する児童生徒およびバス運転手は、確実に乗降車が行われるようにする。

2 授業日運行時刻

(1) 登校時

○通年（月曜日～金曜日） 各地区出発時刻（予定）

南	見立（バス停）
	7：50
北	北鶴島（バス停）
	7：45

(2) 下校時 学校発

○夏季（4～10月）中学校 18：00

○冬季（11～3月）中学校 17：00

3 長期休業日運行時刻（小学校は、夏季のみ）

(1) 登校時 各地区出発時刻（予定）

南	見立（バス停）
	8：20
北	北鶴島（バス停）
	8：15

(2) 下校時

12：00 学校発

4 スクールバス会議

1学期末に乗車状況や長期休業の運行計画を含め、会議を開き、協議する。

（参加者：中校長、中教務、スクールバス運転手）

5 その他

新潟交通のバスの増減に伴い、毎週火曜日に北バスを地域コミュニティバスとして使用する（予定）

Ⅲ 指導の大綱

1 全校で取り組む学力向上について(小学校)

課題内容	取組の意義	評価の観点	評価基準	
基礎基本の習得	Web配信テスト・全国学力学習状況調査・NRTの活用	○児童一人一人の定着状況を把握するとともに、個に応じた指導に生かす。 ○つまずきの要因や指導のポイントを参照し、授業に活用する。	①Webテスト結果 ②NRT結果	児童の実態に応じて ①Webテスト A:全ての学年で県平均以上 B:どちらかの学年で県平均以上 ②NRTテスト A:2学年で全国平均以上 B:1学年で全国平均以上
	個に応じた指導の充実	○一人一人の習得状況や特性に適した取り組み方等によって、学習内容の定着を図る。 ○個別最適な学びの視点で個に応じた指導を行ったり、学習活動を工夫したりして、授業の充実を図る。 ○補充学習(さっちゃんタイム)を実施し、学習内容の確実な定着を図る。	○授業の振り返り ○補充学習の実施	A:90点以上 B:70点以上
	読書活動の推進	○読書習慣を身に付けさせることにより、心を豊かにする。	○各学期の貸出数	低 A:10冊以上 B:5冊以上 中 A:15冊以上 B:10冊以上 高 A:20冊以上 B:15冊以上
主体的に学習に取り組ませる授業の工夫	授業改善の取組	○児童自ら課題を設定し、見通しをもって解決し、話し合いをとおして、よりよくしようとする。 ○学習課題、課題提示の方法、授業の手立て、授業の振り返りを工夫する。 ○時に達成感のある課題も提示する。	○研究授業の実施	一人一回実施する。 学校評価アンケートで「授業では「どうして?」と疑問に思ったり、「○○たい!」とやりたいことを見付けたりすることができる。」と答えた児童が 8割以上…A評価 5割以上…B評価
	職員研修の充実	○4月中に研修計画と公開授業計画を共有し、授業改善に取り組む。 ○公開授業に向けた検討会において授業改善に取り組んでいる手立ての妥当性を話し合い、手立てを共有できるようにする。 ○検討会と授業後の協議会は、児童の言動で話し合い、ねらいをよりよく達成する方法をイメージできるようにする。		
学習習慣の確立	学習規律の徹底	○ノート・鉛筆・下敷き・定規の使い方等の学習規律を可視化し、児童と教師が共通実践する。	○学習規律の定着状況	学校評価アンケートで「」と答えた生徒が 8割以上…A評価 5割以上…B評価
	家庭学習の習慣化	○宿題に取り組めるよう家庭学習計画を一緒につくり、家庭に協力をお願いし、一緒に確認していく。また、発達段階に応じて自主学習を促進していく。	○年4回の家庭学習強調週間の学習状況	学校評価アンケートで「家で家庭学習(宿題も入れて)に「学年×10分」以上取り組んでいる。」と答えた生徒が 8割以上…A評価 5割以上…B評価

1 全校で取り組む学力向上について(中学校)

課題内容		取組の意義	評価の観点	評価基準
基礎基本の習得	Web配信テスト・全国学力学習状況調査・NRTの活用	○前年度までの配信問題やサポート問題を活用し、学習内容を確実に身に付けさせる。 ○全国学力・学習状況調査、NRT学力検査を通じて、学力の定着状況を客観的に把握する。	①Webテスト結果 ①全国学力・学習状況調査の結果 ②NRT結果	①佐渡市平均以上の割合が80%以上 ①無答率が佐渡市平均以下 ②NRT全校平均が佐渡市平均以上
	全校基礎学力テストの実施	○定期的に基礎的な知識や技能(漢字・計算・英単語)を点検することにより、基礎学力の定着を図る。	○全校基礎学力テストの成績(年間4回)	○80点以上
	個に応じた指導の充実	○定期テストによって、学習定着度を総括的に点検・評価し、指導の充実を図る。 ○各教科担当が基準点などの情報を共有することで、多面的・多角的な評価を行う。 ○補充学習(サブリタイム)を実施し、学習内容の確実な定着を図る。	①定期テストとテスト前個別質問教室の実施(年間4回) ②補充学習の実施(週2回)	○各教科基準点以上
主体的に学習に取り組ませる授業の工夫	授業改善の取組	○学習課題、課題提示の方法、授業の手立て、授業の振り返りを工夫する。	○研究授業の実施	○1人1回以上
	職員研修の充実	○研究授業参観と協議会を小中合同で行い、主体的に学習に取り組ませる方策を共有する。 ○外部の指導者を招聘し、指導を受ける。		
学習習慣の確立	学習規律の徹底	○学習規律を可視化し、生徒と教師が共通実践する。	○学習規律の定着状況	○月1回以上
	家庭学習の習慣化	○自主学習ノートを使用し、家庭学習に主体的に取り組めるようにする。 ○学習内容と開始時刻を自ら設定し、意識化する。 ○家庭学習強調週間を実施する。	○家庭学習の実施状況	○学年×10分以上家庭学習を実施
	読書活動の推進	○読書習慣を身に付けさせることにより、読解力を伸ばす。	①朝読書の実施 ②読書旬間の設定	①毎週月、火曜 ②長期休業前

2 豊かな心の育成について

	課題内容	取組の意義	評価の観点	評価基準
小学校	佐渡学の充実	○地域探検，地域行事の参加 地域や佐渡にかかわる行事に積極的に参加することは，児童が地域や佐渡の良さを実感するためには欠かせない活動である。 ○地域を題材にした学習の推進 総合的な学習の時間や生活科の学習を通して，これらの活動に取り組みさせることで，地域についてより深く理解する。	○参加の様子 (行事ごと) ○学習の様子 (毎時間)	○すすんで行事に参加していたか。 ○進んで活動や発表をしていたか。
	人間関係づくりの推進	○気持ちのよい挨拶づくり 人間関係づくりは元気な挨拶から始まる。年間を通して挨拶に取り組み，よい人間関係の素地を築かせる。 ○ソーシャルスキル，エンカウンターの実施 意図的に活動場面を設定することで，お互いを理解し合い，よりよい人間関係を築こうとする気持ちを育ませる。 ○ふわふわ言葉の励行 温かい言葉遣いに努め，お互いを大切にし仲よく助け合うことができるようにする。 ○地域の人との交流 学校外の人との交流を積極的に行い，挨拶や礼儀の大切さを学ばせる。	○日常の様子(毎日) ○活動の様子 (活動後) ○日常の様子(毎日) ○活動の様子 (活動後)	○元気に挨拶ができたか。 ○真剣に取り組んでいたか。 ○相手を傷つける言葉を使わず，正しい言葉遣いをしていたか。 ○地域の方への元気な挨拶や正しい言葉遣いできていたか。
	道徳授業の充実	○考え，議論する道徳授業の充実 自分の思いや考えを，よりよくしていこうとする態度や意欲を育てる。	○日常の道徳授業 (毎時間)	○真剣に考えていたか
	いじめ・不登校〇	○児童が安心する居場所をつくる。 ○児童の心に寄り添う日常的な指導 日常の活動で児童の心の様子を見取ったり，生活アンケートをもとに教育相談をしたりして児童の心に寄り添う指導をすることは，いじめや不登校をなくすことにつながる。 ○具体的な取組の充実とサポート 行事や学習において全校での活動を取り入れることは，異学年間の友人関係を広げるだけでなく，上学年は下学年をサポートし，下学年は上学年見習う場にする事ができる。また，互いのよさを伝え合うことにより，自己肯定感が育まれる。	○日常の様子 (毎日) ○体験活動の様子 (活動時) ★いじめ見逃しゼロ スクール集会	○落ち着いて生活することができていたか。 ○協力して活動できていたか。
	佐渡学の充実	体験を通して地域と関わりながら，郷土に対する愛情を培い，地域に貢献しようとする態度を養う。	○総合的な学習の時間や行事等の体験活動の様子	○進んで地域とかかわり，積極的に活動したか
	人間関係づくりの推進	相手の立場を理解し，尊重しながら活動することを通して，良好な人間関係を築いていこうとする態度や能力を育てることが必要である。 担任とスクールカウンセラーによるスキル学習の授業を継続して行い，人との関わり方などを学ぶ必要がある。	○日常の様子 ○生徒会活動参加の様子 ○授業の様子，授業後の感想	○他の生徒と協力して活動していたか。 ○誰とでも元気な挨拶を交わしていたか
	道徳授業の充実	倫理観や規範意識について真剣に考えることで，勇気をもって正しい行動をしたり，進んできまりを守ったりする姿につながり，相手のことを思いやる心を育てることになる。	○授業の様子，授業後の感想	○話し合いを通して，見方，考え方を広げたり，自分の考えを深めることができたか
	いじめ・不登校〇	日常的な観察や相談活動を通して，生徒の心情の点検・把握に努め，不登校やいじめにつながるような状況の早期解決につなげる必要がある。	○日常の様子 ○心の健康チェック ○教育相談 ○学校生活アンケート ★いじめ見逃しゼロ 集会	○心や行動が安定していたか

3 たくましく生きるための体力向上について

	課題内容	取組の意義	評価の観点	評価基準
小学校	体力向上の推進	○体育学習の評価は、子どもたちの運動に対する意欲の向上につながる。そのために、教師が子どもの学習の様子を見取る必要がある。子どもたちが、元気に楽しく運動できる授業の組み立てをする必要がある。	○カードの集計(単元ごと) ○運動の様子 ○体育の授業の様子 ○昼休みの様子	学校評価アンケートで「運動が好きだ」と答えた生徒が 8割以上…A評価 5割以上…B評価
	生活習慣の改善	○早寝早起きや、朝ご飯をしっかり食べること、正しい歯みがきの仕方などの生活習慣を身に付けることは、健康な生活を送るために必要である。そのために、児童一人一人が生活実態に合った目標設定をし、元気アップ週間や歯ッピ一週間の実施など、家庭と連携した生活習慣の改善を図る必要がある。 ○手洗いうがいなどの衛生管理を習慣化する。	○早寝早起きの様子 ○朝ご飯の様子 ○歯磨きの様子	学校評価アンケートで「早寝早起きをしている」と答えた生徒が 8割以上…A評価 5割以上…B評価
	食育の推進	○健康の保持増進のために望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付けさせる。給食を中心として各教科及び総合的な学習の時間、特別活動と関連付けた指導を行う。また、家庭と連携した栄養指導を充実していく必要がある。	○給食の様子(毎日) ○元気アップ週間	学校評価アンケートで「朝食を毎日食べている」と答えた生徒が 8割以上…A評価 5割以上…B評価
中学校	体力向上の推進	体育の授業や部活動で運動することの楽しさを味わわせ、進んで運動する生徒を育てることによって、生涯に渡ってスポーツに親しもうとする態度を育てる必要がある。	○体育の授業の様子 ○昼休みの様子 ○部活動の様子	学校評価アンケートで「運動が好きだ」と答えた生徒が 8割以上…A評価 5割以上…B評価
	生活習慣の改善	規則正しい生活習慣を身に付けることは、健康的に人生を過ごすためになくしてはならない。特に、学校生活を活動的に過ごすためには早寝早起きをし、朝食をしっかり摂るという生活習慣を確立させることが必要である。また、健康を維持するためには手洗いうがいなどの衛生管理が重要である。	○毎日の見取り ○元気アップ週間	学校評価アンケートで「早寝早起きをしている」と答えた生徒が 8割以上…A評価 5割以上…B評価
	食育の推進	健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付けさせる。そのため、朝食を摂ることの意義を理解させ、確実に習慣化させる必要がある。	○給食の様子 ○元気アップ週間	学校評価アンケートで「朝食を毎日食べている」と答えた生徒が 8割以上…A評価 5割以上…B評価

IV 各教科，領域等の指導

1 学習指導の全体計画・各教科の指導の重点

【小】		教育目標				【中】	
よく考え みんなでなかよく がんばる子						高い知性 豊かな心 強いからだ	
重点目標							
地域に学び、自立する子ども							
学習指導の重点目標							
<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力を定着させる。 ○主体的に学習に取り組める学習問題を提示する。 ○既習事項を活用させる。 ○個に応じた指導を充実させる。 ○学習習慣を確立させる。 ○読書活動を推進する。 							
目指す児童・生徒の姿							
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年		
○話をしっかり聞き、学ぶ楽しさを味わうことができる。	○興味関心を広げ、課題解決に向け粘り強くやり遂げることができる。	○積み重ねた力を活用して、自ら進んで問題を解決することができる。	○基本的な学習態度と習慣を身に付ける。 ○自主的に家庭学習に取り組むことができる。	○課題を解決するために、主体的に活動したり、他者の意見に耳を傾けたりすることができる。 ○自己実現に向け、計画的に家庭学習に取り組むことができる。			
具体的な実践事項							
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年		
<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習に取り組めるよう、課題の内容や提示方法を工夫する。 ○既習事項を活用して解決するような課題を設定する。 ○授業の振り返りの時間を確保し、メタ認知を促す。 ○学習規律を可視化し、徹底させる。 ○Web配信問題・朝学習プリント、単元テストを実施し、学習内容の即時点検、評価を行い、学習指導の充実、個に応じた指導の充実を図る。 ○個別学習の時間を設定する。 ○家庭学習を奨励し家庭学習習慣を確立する。 ○朝読書、読み聞かせの時間を設定する。 ○校内研修の充実を図り、授業改善に役立てる。 ○各教科においてキャリア教育の視点をもって授業を構成する。 ○タブレットを持ち帰らせ、家庭学習に役立たせる。 ○ICTを用いて個別最適な学習を行う。 			<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習に取り組めるよう課題の内容や提示方法を工夫する。 ○既習事項を活用して解決するような課題を設定する。 ○授業の振り返りの時間を確保し、メタ認知を促す。 ○協同的な学習を授業の中に取り入れる。 ○基礎学力テストを実施する。 ○家庭学習の点検、テスト前の学習計画表の作成と指導により、家庭学習が計画的・効率的に行えるよう指導する。 ○朝読書の時間を設け、読書の習慣を付けさせる。 ○全国学力・学習状況調査やNRTの結果を分析し、授業改善に役立てる。 ○各教科においてキャリア教育の視点をもって授業を構成する。 ○タブレットを持ち帰らせ、家庭学習に役立たせる。 ○個別最適な学習を工夫して行う。 				

各教科における指導の重点・方策等					
	指導の重点	方策等		指導の重点	方策等
国語	○言葉を正確に理解し、適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ朝会 ・国語Web診断テスト ・朝学習の取組 ・朝読書、読書週間の実施 ・校内書き初め大会 ・全校文集「内海府の子」の発行 ・各種コンクールへの出品 	国語	○進んで国語に親しもうとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を通して国語領域にふれる機会を多く設ける。 ・スピーチや作文等の自己表現をする機会を多く設け、表現力を高める。 ・読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。
	○具体的な活動や体験を通して、身近な人、社会、自然とのかかわりに関心を持ち、生活上必要な技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培活動 ・身近な高齢者とのふれあい 		○叙述に即して文章を正確に読み取る力を育てる。	
社会	○問題解決的な学習をとおり、身の回りの社会的事象や国土と歴史に対する理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域素材の教材化と資料収集、活用・見学 ・図書館とインターネット資料の活用 	社会	○社会事象に対して自分自身の意見をもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークやプリントを活用して、基礎的基本的な知識を習得させる。 ・自らの考えをまとめたり、発表したりする学習課題を設定する。 ・課題解決に必要な情報を提示したり、作業的・体験的な活動を取り入れたりする。

算数	○数学的活動を重視し、自分の考えを表現する力を育てるとともに、基礎基本の確実な定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・算数Web診断テスト ・朝学習の取組 ・個別指導の取組 ・教材、教具の活用 	数学	<p>○進んで基礎的な計算技能を身に付けようとする意欲を育てる。</p> <p>○自らの考えをもち、自信をもって根拠等を発表できる態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Web問題を活用し、知識・技能の定着を図る。 ・計算の反復練習を行い、基礎的な計算を身に付ける。 ・学び合いや数学的活動を伴う時間を計画的に設定し、自分の考えを数学的用語を用いて説明できるようにする。
理科	○見通しをもちながら、観察・実験をとおして、主体的に問題解決する態度や科学的な考え方を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの科学祭参加 ・教材の活用 	理科	<p>○観察、実験など行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>○自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Teamsやミライシードなどの積極的なICTの活用 ・生徒の疑問に沿った実験計画書の作成
音楽	○音楽活動の喜びを味わわせながら、音楽に対する豊かな感性と基礎的な能力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・月の歌（各月） ・市音楽発表会参加（11月） ・内海府カンゾウ太鼓 	音楽	<p>○音楽の楽しさを体験させることを通して、音楽活動の喜びや共通の感動を共有させる。</p> <p>○歌唱と器楽の基礎的な技能を高め、豊かな表現力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱やアンサンブルなどを通して、表現活動を活発にする。 ・様々な音楽の鑑賞を通して豊かな心を育成する。
図工	○材料を工夫し、造形活動を楽しもうとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭 ・各種コンクールへの出品 	美術	<p>○楽しく創造活動に取り組む意欲や態度を育てる。</p> <p>○豊かに発想し構想する能力を身に付け、創意工夫して表現活動をさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意欲や関心が高まる課題の設定を工夫する。 ・基礎技能のトレーニングを行い、技能を高める。 ・豊かな発想、構想を引き出すような授業を展開する。 ・多様な作品に触れさせる。
体育	○適切な運動の経験をとおして体力の向上を図るとともに、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・市親善陸上大会参加（R6出場無し） ・体力テストの実施・分析 	保健体育	<p>○自己の体力や能力に関心をもち、意欲的に学習に取り組む態度を育てる。</p> <p>○学習課題を明確にし、運動に親しむ態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に課題や目標を設定させ、その解決や達成に向かって意欲的に取り組ませる。 ・技術指導を確実にを行い、達成感や成就感を持たせる。
家庭	○実践的な学習をとおして、学んだことを生活の中に生かしていこうとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の掲示 ・栄養士による栄養に関する指導 ・地産地消給食を生かした食育指導 	技術・家庭	<p>○ものづくりやコンピュータ操作を通して、生活を工夫したり、創造したりする能力を育てる。</p> <p>○基礎的・基本的事項の定着を図るとともに、個別指導を徹底し、学習の喜びを体得させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒による自己評価の習慣と技能が身に付くように工程表を作り、製作過程をチェックする。 ・道具とコンピュータを適切に安全に使えるようにする。 ・知識や技術の伝達に終わることなく、課題に対して、意欲的に追究できるように工夫する。
外国語	○身近な、基本的な表現を使って、友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの交流 ・デジタル教材の活用 	英語	<p>○積極的にコミュニケーションをしようとする態度を養う。</p> <p>○基礎的・基本的事項の定着を図る。</p> <p>○簡単な英語を用いて、身近なことがらを英語で表現する力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループでのコミュニケーション活動を工夫して行う。 ・基本的な語彙の定着を図る。 ・教育機器を有効に活用し、指導方法を工夫する。 ・CAN-DOリストを生徒とも共通理解しながら、規準を明確にして言語活動を評価する。

2 総合的な学習の時間の全体計画

【小】	教育目標	【中】		
よく考え みんなでなかよく がんばる子		高い知性 豊かな心 強いからだ		
重点目標				
地域に学び、自立する子ども				
総合的な学習の時間の重点目標				
○海府地区の佐渡固有の自然・歴史・文化を学ぶ機会や地域の人々との交流活動を通して、地域の特色やよさを主体的に学ぶ資質や能力、自らの生活に生かそうとする態度を育てる。		○社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を積極的に求めようとする態度を育てる。 ○地域のよさを深く理解することで、地域を愛する心と地域に貢献しようとする態度を育てる。		
目指す児童・生徒の姿				
小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<p>○問題解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見つけ、友だちと力を合わせて情報を集めて、整理、分析、検討し、まとめたり発表したりすることができる。 <p>○コミュニケーション能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもち、人とかわりながら計画にそって追求することができる。 ・相手意識をもって話したり、相手の質問や意見にそった内容で答えることができる。 <p>○表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わるように、工夫した表現方法を考えることができる。 ・自分の言いたいことを分かりやすく発表できる。 	<p>○問題解決能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を見つけ、友だちと力を合わせて情報を集めて、整理、分析、検討し、まとめたり発表したりすることができる。 <p>○コミュニケーション能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人とのかわりの中で、自分の考えを比較、修正、整理しながら追求できる。 ・相手の質問や意見に合わせ答えたりすることができる。 <p>○表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを効果的に伝える表現方法を考えまとめることができる。 ・相手によく分かるように工夫して発表できる。 	<p>○地域について学び、そのよさに気づくことができる。</p>	<p>○郷土と他地域との特性の違いから、地域のよさと課題について自分の考えをもつことができる。</p>	<p>○より広い視野で社会を見つめ、自己の果たす役割を理解しながら、自分の夢の実現を目指すことができる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>育てたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人間関係形成・社会形成能力 <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見を尊重しながら、互いに円滑にコミュニケーションをとることができる力 ○自己理解・自己管理能力 <ul style="list-style-type: none"> ・自己のよさや特性に気づき、将来の夢に結び付けて考える力 ○課題対応能力 <ul style="list-style-type: none"> ・適切な情報の理解・選択・処理ができる力 ・自己の考えを相手に伝えるために適切な情報発信ができる力 ○キャリアプランニング能力 <ul style="list-style-type: none"> ・学ぶこと・働くことの意義や役割を理解し、自己の進路に関連付けて考えることができる力 </div>				
具体的な実践事項				
小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<p>A年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海府の海からのプレゼント ①海の生き物調べ ②海府の海産物採り（サザエ突き体験、たこさびき等） ③海の岩石調べ ④海府の自然を表現しよう。 <p>B年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海府の山からのプレゼント ①海府の山菜採り、山の植物探し・調べ ②山菜の調理など体験活動 ③海府の自然を表現しよう。 	<p>A年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○修学旅行 ○地域の自然、伝統芸能調べ ○将来の夢、職業調べ <p>B年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海府で働く人々の仕事調べ（大謀網体験等） ○デイサービスセンター、保育園との交流活動 ○将来の夢、職業調べ 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3年間の中で 島内探訪・新潟巡検・修学旅行を実施する。</p> <p>社会貢献活動を含めた「課題解決型」職場体験を実施する。</p> <p>かんぞうデイサービスセンター訪問</p> </div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○学習発表会</p> <p>○内海府カンゾウ太鼓</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○海府太鼓○海府地区ガイドボランティア活動</p> <p>○学習発表会</p> </div>		
各領域における指導内容				
各教科	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の確実な定着 ○観察・実験やレポート作成、論述などの学習活動の充実 ○課題解決学習の充実 ○理解できるまで追究する態度の育成 ○表現力・発表力の育成 ○コミュニケーション能力の育成（かかわり合う場の設定、充実） 			
道徳	○体験活動や行事と関連付けた心の教育の推進			
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的な活動の場面の設定とサポート ○主体的に考え、協力して生活の向上を目指す生徒集団の育成 ○発表場面を通して、自分の考えを相手に伝える情報発信能力の育成 			
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校だより」「各種学習発表会」等による広報活動と情報交換 ○地域の人材活用（地域学習） ○家族や地域の方との交流（地域行事への参加、ボランティア活動、適切な挨拶の仕方やマナーなど） 			

		1学期(28時間)				2学期(28時間)				3学期(14時間)			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3・4年生 (70時間)	A年度 (60h)	<p align="center">「海府の海からのプレゼント」</p> <ul style="list-style-type: none"> 海府の海に出掛け、海の生き物を見つける。(浅瀬の魚、海草、岩、石など) 海府の海で見つけた生き物についてまとめる。・沖で獲れる魚について調べる。 それらについて調べる。(インタビュー、インターネット、漁場で働く漁師さんなど) できることは体験する。(魚さばき体験、魚釣り、海で貝類や海草を獲る、たこさびき体験など) 調べたことをパワーポイントにまとめ学習発表会で発表する。(調べた魚や、実際に体験したことなど) さらに調べたいことについて追究活動をする。・わかめ作りを体験する。 ゲストティーチャーから話を聞く。・調べたことを新聞や作文にまとめる。 海府の自然を表現する(図工と合科) 											
	情報(7h) 和太鼓 (3h)	<p align="center">情報教育(コンピューター学習)・内海府かんぞう太鼓練習</p>											
	B年度 (60h)	<p align="center">「海府の山からのプレゼント」</p> <ul style="list-style-type: none"> 海府の山に出かけ、山菜や山野草を見つける。(ワラビ、うど、ミズブキ、サルナシ、雪割草など) 見つけた山菜や山野草についてまとめる。 それらについて調べる。(インタビュー、インターネット、保護者など) できることは体験する。(たけのこ掘り、干し柿作りなど) 調べたこと、体験したことなどを模造紙にまとめ学習発表会で発表する。 さらに調べたいことについて追究活動をする。 ゲストティーチャーから話を聞く。・調べたことを新聞や作文にまとめる。 海府の自然を表現する(図工と合科) 											
5・6年生 (70時間)	A年度 (60h)	<p align="center">「知ろう!学ぼう!会津」</p> <ul style="list-style-type: none"> 修学旅行の計画を立てる。(体験場所、活動内容、交通機関など) 学んだことを新聞にまとめる。 	<p align="center">守ろう!「海府の宝」【地域・自然・歴史・文化・伝統・芸能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「海府の宝」と思うものを挙げる。(イメージマップ、インタビューなど)大野亀カンゾウ祭り、鷲崎鬼太鼓、寒ぶり大漁まつりなど それらについて調べる。(インタビュー、インターネット) できることは体験する。(二ツ亀海岸清掃、カンゾウの種まき、苗床草刈りなど) 調べたことをパワーポイントでまとめ、学習発表会で発表する。(守っていくための提案、自分にできることなど) さらに調べたいことについて追究活動をする。 	<p align="center">夢を語ろう【自分を見つける・キャリア教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢を叶えた人(ゲストティーチャー)から話を聞く。 将来就きたい仕事や様々な職業について調べる。 調べたことを新聞や作文にまとめる。 みらい'sノートを活用し、自分と佐渡の未来について考える。 									
	情報(7h) 和太鼓 (3h)	<p align="center">情報教育(コンピューター学習)・内海府かんぞう太鼓練習</p>											
	B年度 (60h)	<p align="center">海府に生きる人々に学ぼう!(前期)【地域・キャリア教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海府の良いところ、不便なことをあげる。(イメージマップなど) 不便でも海府に住み、生活している人たちがたくさんいる。 海府で働く人々と、その仕事について調べる。 働く人々の仕事を見学し、インタビューをする。(苦労、努力、働く意義など) 	<p align="center">海府に生きる人々に学ぼう!(後期)【地域・キャリア教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事を体験する。 調べたこと、体験したことをパワーポイントでまとめ、学習発表会で発表する。 	<p align="center">海府のためにできること【ボランティア・交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者疑似体験をする。(佐渡市社会福祉協議会出前授業) デイサービスかんぞうを訪問し、自分たちにできるふれあい活動を実践する。(クリスマスミニコンサート、紙芝居読み聞かせなど) 	<p align="center">夢を語ろう【自分を見つける・キャリア教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夢を叶えた人(ゲストティーチャー)から話を聞く。 将来就きたい仕事や様々な職業について調べる。 調べたことを新聞や作文にまとめる。 みらい'sノートを活用し、自分と佐渡の未来について考える。 								

総合的な学習の時間 年間指導計画

佐渡市立内海府中学校

学期	月	1年	2年	3年	全校
		学年25時間	学年45時間	学年45時間	年間25時間
一 学 期	4		校外学習(12時間)	校外学習(12時間)	
		オリエンテーション(1時間) 昨年度との比較 事前学習 事後学習	計画 事前学習 事後学習 昨年度との比較		
	5				春のガイドボランティア (8時間) 海府太鼓(4時間)
	6				・ガイド 昨年の振り返り ガイド練習 植物教室 ガイド 振り返り ・太鼓 役割分担 練習
	社会貢献活動を含む「課題解決型」職場体験事前学習(1年4時間, 2, 3年6時間)				
	7	学区内の職場を体験 職業調べ 計画立案 昨年度との比較			
	8				
	二 学 期	9	職場体験(6時間)	職場体験(12時間)	社会貢献活動(12時間)
職場体験事後学習(6時間)			職場体験事後学習(4時間)	社会貢献活動事後学習(4時間)	
発表のためのプレゼンテーション資料作り 発表練習 リハーサル 振り返り				海府太鼓 (3時間)	
学習発表会に向けて(4時間)					
11					冬のガイドボランティア(10時間)
12					ガイド練習 海洋生物教室 話し方教室 ガイド
三 学 期	1		学習発表会(1時間)		
	2	次年度学習に向けて(3時間) 資料集め 事前学習	校外学習に向けて(6時間) 資料集め 事前学習	卒業に向けて(6時間) 3年間の学習を振り返って まとめ活動	
	3				

3 道徳教育の全体計画

【小】	教育目標				【中】
よく考え	みんなでなかよく	がんばる子	高い知性	豊かな心	強いからだ
重点目標					
地域に学び、自立する子ども					
道徳教育の指導の重点					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> A自分自身 B他の人とのかかわり C集団や社会とのかかわり D自然や崇高なものとのかかわり </div>					
<p>○希望と勇気、努力と強い意志の育成（Aの視点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より高い目標を立て、強い意志を持ち、粘り強くやり抜くこと。 <p>○相互理解、寛容の態度の育成（Bの視点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。 <p>○よりよい学校生活、集団生活の充実の育成（Cの視点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。 <p>○生命の尊さを知る態度の育成（Dの視点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。 			<p>〈学校全体の重点項目〉</p> <p>◎C-(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 郷土の伝統と文化を大切に、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に貢献すること。</p> <p>〈1学年の重点項目〉</p> <p>○A-(3)向上心、個性の伸長 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。</p> <p>〈2、3学年の重点項目〉</p> <p>○B-(9)相互理解、寛容 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。</p>		
目指す児童・生徒の姿					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<p>○自分のやるべき勉強や仕事をしっかり行うこと。</p> <p>○身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。</p> <p>○郷土の伝統と文化を知る。</p> <p>○生命の尊さを知る。</p>	<p>○自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、粘り強くやり抜くこと。</p> <p>○自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見も大切にすること。</p> <p>○郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や、高齢者に尊敬の念を深める。</p> <p>○生命の尊さを知り、大切にすることを育てる。</p>	<p>○より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、くじけないで努力する態度を育てる。</p> <p>○謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。</p> <p>○地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努める。</p> <p>○生命の尊さを知り、大切にすることができる。</p>	<p>◎郷土の伝統や文化を知り、大切にすることができる。</p> <p>○自分の目標を決め、それに向かって努力することができる。</p>	<p>◎郷土の良さについて理解を深め、他地域に発信することができる。</p> <p>○相手の立場を尊重し、互いに助け合い・励まし合うことができる。</p>	<p>◎郷土の伝統や文化を下級生に引き継ぐとともに、郷土の発展に必要なことを考えることができる。</p> <p>○相手の立場を尊重し、互いに助け合い・励まし合うことができる。</p>
具体的な実践事項					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<p>○学校教育全体を通じて行う道徳教育を補充・深化・統合し、計画的、発展的に指導する。</p>			<p>○道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実する。</p> <p>○魅力ある教材の開発と活用や体験活動の重視を図る。</p> <p>○各教科との関連を図る。</p> <p>○道徳ファイルを活用し、指導と評価の一体化を図る。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★小中連携道徳科の実施</p> <p>★「生きる」を計画的に活用する。</p> <p>★全校一斉道徳授業公開等を通して、心のあり方について話し合うことを推奨する。</p> <p>★体験と授業を関連させたり、子どもに考えさせたりする指導を実施する。</p> <p>★考え、議論する道徳を目指して授業改善を図る。</p> </div>					
各教科における指導内容					
	【小】	【中】			
国語	<p>○作品を通して正しいものの見方、考え方を身に付ける。正しい言葉づかいを身につけ人間関係を豊かにする。豊かな心を育てる読書指導を推進する。</p>		<p>○発表する機会を増やし、豊かな表現力の育成を図る。</p>		
社会	<p>○社会に対する認識を深め、広い視野から公正に判断しようとする能力・態度を育てるとともに、人間尊重の精神を養う。</p>		<p>○社会生活に理解を深め、社会の一員としての自覚を養う。</p>		
算数・数学	<p>○筋道をたてて考え、自ら問題を解決しようとする心育てる。</p>		<p>○物事を論理的に考え、解決しようとする態度や習慣を育てる。</p>		

理科	○自然の摂理，法則を主体的に観察し，自然の偉大さと人間に対する恩恵を認識させる。真理と自然愛の心情を高める。	○自然現象にふれることを通して自然を愛する心を養う。
生活	○具体的活動や体験を充実させ自分や身近な人々，自然について関心をもって考える態度を養う。	
音楽	○世界の楽曲を表現し，鑑賞することにより，自国及び諸外国の伝統や自然，文化を尊重する豊かな心情を育てる。	○様々な音楽活動を通して，豊かな表現力と感動する心を養う。
図工・美術	○表現と鑑賞活動を通し，様々な個性に対する理解を深め，互いに尊重する心情と態度を育てる。	○作品製作や鑑賞を通して情操と，美を表現する態度を養う。
保健・体育	○授業を通じて，運動する楽しさや喜びを体得させると共に，公正な態度や仲間と助け合ってやりとげる態度を育てる。	○健康の大切さや運動に親しむ心情を養う。
技術・家庭科	○実習を通して助け合いの心を学び，思いやりの心を育てる。自主，自立，自己の責任をまっとうさせる。	○実践活動を大切に，豊かな家庭生活を送るための技能や心構えを育てる。
英語	○外国語の活動を通して，友達と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	○コミュニケーション活動を通して，外国語に親しみ，国際社会に役立てる習慣を育てる。

各指導領域における指導内容

総合的な学習の時間	○体験的な学習活動などを通して道徳性の育成を図り，それを「生きる力」として身に付けさせる。	○キャリア教育を中心とした学習の中で，生き方について考え，生きる力を身につける。	
特別活動	学級活動	○集団の一員としての意識を高め，学級の諸問題に主体的に取り組む態度を育成する。 ○常に自他の存在を尊重し合い，よりよい学級作りに力を発揮できるようにする。	○生徒の自主的な活動を通して望ましい学級集団を形成する。
	児童生徒会活動	○自発的・自治的活動を活発にし，教師の援助を受けながらよりよい学校づくりに励もうとする自主的な態度を育成する。	○集団訓練の場を通して，奉仕と協力の精神を養う。
	クラブ部活動	○児童一人一人が互いに尊重し，協力し合いながら個性を生かし，充実した集団活動を作れるようにする。	○目標に向かってねばり強く取り組ませる態度を養う。
	学校行事	○集団の一員としての自覚を高め，社会に奉仕する態度と公德心・責任感を育て実践力を高める。 ○振り返りの共有を行い，自己や他者を肯定する気持ち育てる。	○諸活動を通して，所属感や連帯感をもたせ，積極的に行動する態度を育てる。
生徒指導	○基本的生活習慣を身に付け，集団の一員として，望ましい行動がとれるようにする。 ○互いに認め合い，励ましあって差別や偏見のない公平な態度で接することができるようにする。 ○学校生活の様々な場で望ましい行動や問題を含む行動について考えさせ，道徳的実践力の素地を育てる。	○生徒一人一人に具体的な目標をもたせ，自主的で活気ある生活・行動を身に付けさせる。 ○お互いの人格を尊重し，励まし合い協力しあうことにより，他人のために尽くす心を育てる。	
進路指導		○社会生活上の諸規範を日常生活に生かす態度を養う。 ○正しい職業観・勤労観を養うと共に，他人の立場を理解し，協力して社会に貢献する態度を養う。	
家庭・地域との連携	○郷土の文化や芸能に進んで触れるようにし，伝統を守ろうとする態度を養う。 ○デイサービスセンターかんぞうとの交流をする。	○家庭や地域における挨拶を励行する。	
<p>★道徳教育について，PTA懇談会，家庭訪問，たよりを通して，家庭や地域の理解を深め，連携のもとに道徳性の高揚に努める。</p> <p>★地域の行事に積極的に参加させ，交流を深め，郷土のよさに気付かせる。</p> <p>★道徳の公開授業等を通して，親子で心のあり方について話し合うことを奨励する。</p>			

道徳年間計画別業…share→令和5年度→2指導→23教科等→231道徳→別業

4 特別支援教育の全体計画

【小】		教育目標		【中】		
よく考え みんなでなかよく がんばる子				高い知性 豊かな心 強いからだ		
【小】		重点目標		【中】		
地域に学び、自立する子ども						
【小】		特別支援教育の重点目標		【中】		
○一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行い、自立と社会参加に必要な力を培う。		○特別支援教育に対する職員の共通認識を深め、校内支援体制を充実する。 ○ICTを用いた個別最適な学びを実現し、基礎的・基本的な学習の能力を高めるとともに、自己実現の意識を高める。				
指導の重点						
小			中			
○監察・スクリーニングを基に合理的な配慮や個別の指導を計画し、全教職員で共有して全校体制で指導する。			○個別の指導計画を作成し、運用する。 ○特性に対する自己理解を促し、課題解決の方法を身につけさせる。 ○内海府でしかできない体験を通して、自己有用感を高めさせていきたい。			
小 中 共 通						
＜全校児童生徒と共に＞			＜全校職員による全校支援体制＞			
○日常の自由な交流、休憩時の自由な交流を通し相互理解を図る。 ○学校行事・児童会活動・生徒会活動での豊かな体験活動と触れ合いを大切にする。 ○異学年の校外学習や生活科に参加する。			○児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握して、相談・支援を行い、必要があれば関係機関と連携して、生き生きと学校生活を送れるようにする。（個別の指導計画の実践と評価） ○子どもを語る会を実施し、児童生徒理解を深めるとともに、人とのかかわりを広げる支援を行う。			
各領域における指導内容						
各教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	生活単元学習	休み時間	家庭地域との連携
○身に付けさせたい基礎的・基本的内容を精選し、定着を図る。 ○個々の力を十分に発揮して価値ある交流ができるように個別の困難さに配慮した指導を提供する。	○生活全体の中で、道徳的実践力を身に付ける。 ○特別な支援を必要とする児童生徒に対して受容や協力・思いやりの気持ちをもって接する。	○自信をもって自己表現をし、主体的に活動できるように個に応じた支援を行う。	○事前に個に応じた準備や課題の確認を行い、積極的に参加する。 ○自主的自発的なかかわりを側面から支援する。	○児童生徒のよさや意欲を引き出し伸ばすことができるような単元設定をし、達成感をもたせるとともに、基礎基本の定着を図る。	○教室外での出会いやふれ合いから、さわやかなかわりが生まれるように支援する。	○保護者の理解協力を得て、合理的配慮を推進できる環境整備に務める。 ○特別な支援を必要とする児童生徒に対する地域の理解協力が得られるように、学校便りなどを通して情報発信をしていく。

5 特別活動の全体計画

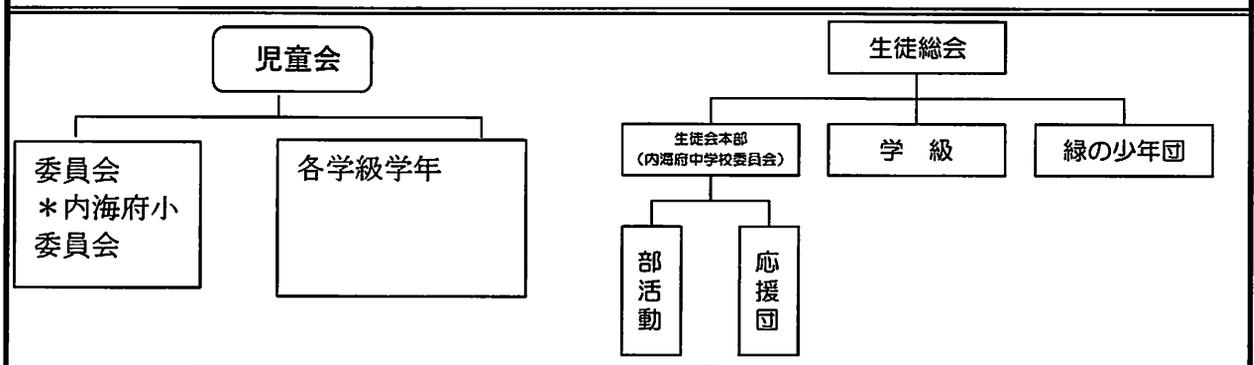
【小】		教育目標		【中】	
よく考え みんなでなかよく がんばる子			高い知性 豊かな心 強いからだ		
【小】		重点目標		【中】	
地域に学び、自立する子ども					
【小】		特別活動 指導の重点		【中】	
<p>○互いのよさを認め合い、仲良く助け合い最後までやりぬく子どもの育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校児童による集団活動を通して、一人一人の意欲を高めると共に、集団での行動の仕方を身に付ける。 ・解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ・自分の生き方について考え方を深め、自己実現を図ろうとする態度を育てる。 			<p>○諸活動に主体的に取組み、互いの良さを活かして学校生活上の課題を解決できる生徒の育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団活動での他者との協働を通して、集団の中での行動の仕方を身につける。 ・課題を解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意志決定したりすることができるようにする。 ・自分の生き方について考えを深め、自己実現のために積極的に努力する態度を養う。 		
目指す児童・生徒の姿					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<p>○進んで自分の仕事ができる。</p> <p>○友達と仲良くできる。</p> <p>○最後までがんばることができる。</p>	<p>○進んで仕事を見つめる。</p> <p>○友達と協力して仕事ができる。</p> <p>○自分なりのめあてをもって最後までやりぬくことができる。</p>	<p>○全体に視野を広げて、工夫して活動する。</p> <p>○互いの努力を認め合い協力して仕事ができる。</p> <p>○自分なりのめあてと責任感をもって最後までやりとげることができる。</p>	<p>○基本的な生活習慣を身に付け、楽しく生き生きとした学校生活を送ることができる。</p>	<p>○集団の中でリーダーシップをとれるようになり、善悪を判断する能力を身に付ける。</p>	<p>○最高学年としての自覚と自分の人生を切り開こうとする意欲をもち、目標達成のために積極的に努力できる。</p>
目指す児童・生徒の姿にするために					
	【小】			【中】	
学級活動	○学級生活の充実と向上を図り、主体的な生活態度や望ましい人間関係を育てる。		学級活動	○生徒の自主的な活動を通して望ましい学級集団を育てる。 ○目標に向かって、けじめのある生活、望ましい学習習慣を形成させる。	
児童会活動	○学校生活の諸問題を協力して解決したり、学校生活を楽しく豊かにしたりするための実践的態度を養う。		生徒会活動	○生徒のエネルギーと創意を結集して、学校生活の向上を目指し実践活動を推進する。 ○生徒一人一人に奉仕の精神を育て、積極的に行動する態度を養う。	
クラブ活動	○共通の興味・関心を追求する自発的・自治的な集団活動を通して、個性の伸長を図る。		部活動	○心身の鍛錬に努める。 ○学年の枠を超えての活動を通して、連帯感を深める。	
学校行事	○学校生活に秩序と変化を与える集団活動を通して、所属感や連帯感の育成を図る。		緑の少年団	○体験学習を通し、地域の自然を守り育てる態度を育てる。 ○生徒の自主的な活動を支援する。 ○集団訓練の場を通して、奉仕と協働の精神を養う。	

具体的な実践事項			
	【小】		【中】
学級活動	○学級を単位として、学級生活の充実と向上を図り、健全な生活態度を育成するための活動 ○「キャリアパスポート」を活用して、自分のよさや可能性について考え、将来の生き方や進路などを考える。	・毎週1単位時間 ・朝の会、帰りの会 ・その他の諸活動	学級活動 ・係分担等、役割を明確にして協力体制をつくる。 ・生活ノートを活用したレポートづくり。 ・家庭学習の内容の点検と励まし。 ・「キャリアパスポート」を活用して自分のよさや可能性について考え、将来の生き方や進路などを考える。
児童会活動	○学校内の自分たちの仕事を分担して処理する活動（委員会活動） ○学校生活をよりよくするためのレクリエーションや活動報告発表などの活動（集会活動）	<4年生以上> ・内海府小委員会（お誕生日給食、給食時の献立紹介、朝の放送） <全校児童> ・集会活動（夏祭り、お楽しみ会、六感会）	生徒会活動 ・計画、立案の場面を大切に、生徒の発想を引き出す。 ・生徒全員が生徒会会員であるという意識を高める。 ・当番活動（毎日） ・生徒総会（年2回） ・運動会（10月） ・文化祭（11月） ・生徒会誌制作（1月） ・三送会（2月）
クラブ活動	○体育的活動を設定して活動する。地域のゲートボールクラブと交流する。その後、児童の興味や関心を生かして、体育的・文化的活動を設定し、活動する。	<4年生以上> ・ゲートボール（4月から6月） ・ジオパーククラブ（4月から10月）	部活動 ・卓球部 ・陸上部 ・特設駅伝部
学校行事	○学校生活に秩序と変化を与え、日常の学習成果の総合的な発展を図るための集団活動を行う。		緑の少年団 ・自然に親しみ、自然の中で活動する場を設定する。 ・年度当初及び随時、少年団の活動を明確にし、リーダーによる働きかけを通して、自主的活動を推進する。 ・椎茸菌打ち作業（5月上旬） ・椎茸収穫作業（春・秋） ・海岸清掃（6月） ・佐渡地区交流集会（8月）

各領域における指導内容

各教科	道徳	総合的な学習の時間	生徒指導	家庭や地域との連携
○各教科の目標達成を図る中で互いに協力することのすばらしさや大切さを味わわせる。	○互いに認め合い、相手の気持ちを考えて行動する態度を育てる。	○体験活動を通して、協力して課題解決をしようとする態度を育てる。	○学校生活のきまりを守って、規律ある行動をしようとする態度を育てる。	○授業参観や学校だよりを通じて、活動の様子を家庭・地域に知らせることで理解と協力を得る。 ○総合的な学習の時間や行事などで地域の教育力を十分に活用する。 ○地域行事等への参加を通して地域の一員としての自覚と責任感を育てる。

組織図



6 生徒指導の全体計画

【小】		教育目標		【中】	
よく考え みんなでなかよく がんばる子			高い知性 豊かな心 強いからだ		
重点目標					
地域に学び、自立する子ども					
生徒指導の重点					
○社会性の醸成 ○自己決定能力の育成 ○基本的生活習慣の定着			○生徒に自己存在感をもたせる指導 ○生徒に共感的な人間関係をはぐくませる指導 ○生徒に自己決定の場をもたせる指導		
目指す児童・生徒の姿					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
○学校のきまりを守り、みんなが楽しく学校生活を送れるように考え、仲良く遊んだり学習したりすることができる。	○自分の生活を振り返り、めあてをもって努力し、友だちと助け合いながら楽しく生活することができる。	○高学年としての自覚をもち、学校生活をよりよいものとしようと協力して生活することができる。	○基本的生活習慣を身に付け、楽しく生き生きとした学校生活を送ることができる。	○集団の中でリーダーシップをとれるようになり、善悪を判断する能力を身に付ける。	○最高学年としての自覚と、自分の人生を切り開こうとする意欲をもち、目標達成のために積極的に努力できる。
生徒指導の具体的な実践事項					
【未然防止】 【早期発見】 【即時対応】	○社会性を醸成する。 ★小中間や地域と連携したあいさつの強化 ・ふわふわ言葉を使う習慣の促進・基本的生活習慣の定着 ・自己決定の場を保障し、実践意欲を高める。 ・行事等を通して、自己存在感を高める。 ・共感的な人間関係を育てる。 ○児童生徒の居場所や絆をつくる。 ・授業規律の徹底や、わかる授業づくり等を通し、すべての子どもが参加、活躍できる場面をつくる。 ・校内や地域の人との関わり合いを通して、人とかかわることの喜びや大切さに気付かせる。 ★スクールカウンセラーやp4cを活用し、自分発見と他者理解を促すエクササイズを実施する。 ★生徒会主導でいじめ見逃しゼロ集会を行い、いじめを許さない雰囲気をつくる。 ○ピースメソッドを基軸とした教育活動、中1ギャップ解消プログラム、いじめ防止学習プログラム、子どもとともに1・2・3運動を推進する。 ○いじめ防止基本方針の共通理解と、実態に合わせた見直しを図る。 ○日常の状況把握と定期的なアンケートに基づき、児童生徒の心のゆれを早期に把握する。 ○5W1Hを付箋紙等にメモし、職員間でいつでも共有できるようにする。 ○組織を活用した迅速な対応と、その後の見取りを行う。 ○児童生徒の情報について共有の機会を定期的に設ける。(職員朝会、子どもを語る会) ★関係機関と積極的に連携を図る。				
各領域における指導内容					
各教科・総合的な学習の時間	道徳	特別活動			
		学級活動	児童会・生徒会	クラブ・部活動	学校行事
○基本的な学習態度を養う。 ○学習活動を通して、互いの考えを認め合い、協力してよりよい解決を目指す態度を養う。 ○人や自然とかかわる体験活動を推進する。 ○子どもの考えを認めたり励ましたりして、自分の言動に対する自信をもたせる。	○自らの成長を実感する授業を実施する。 ○人権教育、同和教育に特化した授業を行う。	○集団の中で一人一人が活躍する場を設け、所属感や連帯感を育て、望ましい人間関係の実現に努める。 ★スクールカウンセラーやp4cを活用したエクササイズを実施し、自分発見と他者理解を促す。	○自主的、実践的活動を通して、協力してみんなのためになる活動に取り組む態度を育てる。	【小】地域の人と関わったり、地域のよさを知ったりする活動を計画し、活動に参加することにより、自己実現や個性の伸長を図る。 【中】心身の鍛錬に努め、学年の枠を超えての活動を通して連帯感を深める。	○児童生徒の発達段階に応じた行事への参加を通して、集団への所属感を深め、全体のために自分の役割を果たそうとする態度を育てる。 ★生徒会主導でいじめ見逃しゼロ集会を行い、いじめを許さない雰囲気をつくる。
連携について					
保育園・小・中との連携	家庭との連携	地域との連携			
【小中連携】 ○月1回定期的に、子どもを語る会を実施し、児童生徒の情報交換を行う。 ○重要度に応じて、随時、情報を共有し、統一した指導を行う。 ○日常的にあいさつをする雰囲気を醸成する。 ○生徒会による交流活動を企画し、実施する。	○各種たよりを通して、保護者に児童生徒の学校生活の様子を知らせる。また、児童生徒の生徒指導について協力を求め、共に育てるための啓発をする。 ○長期休業前にしおりを配布し、保護者と共に指導にあたる。 ○元気アップ週間、家庭学習強調週間に、家庭と連携して生活習慣、学習習慣を形成する。 ○生徒指導上の問題を抱える児童生徒に関しては、保護者と連絡を取り合い連携して指導にあたる。 ○期末保護者会や保護者アンケートを基に、家庭での児童生徒の実態や保護者の願いを把握する。	○地域の教育力を活用し、開かれた学校を目指す。 ○学校だよりや学校運営協議会を通して、学校の様子を家庭や地域に発信する。 ○地域行事(カンゾウ祭り、寒ぶり大漁まつりなど)に積極的に参加し、地域に貢献する。 【小】○地域老人クラブとの交流を通して思いやりの心を育てる。(ゲートボール、総合学習、デイサービスセンターとの交流等) 【中】○職場体験や社会貢献活動を通じて、職業観・勤労観を育む。			

月別生活目標及び指導内容

月	小学校	その他の指導事項	中学校	その他の指導事項
4	あいさついっぱいのがっこうにしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・交通安全指導 ★元気アップ週間 ・連休の過ごし方 ★避難訓練 ・時計を見て行動 ・右側通行 ・春の社会科見学 	基本的な生活・学習習慣を身に付けよう	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・生徒心得 ・交通安全指導 ・連休の過ごし方
	<ul style="list-style-type: none"> ・「おはようございます」「さようなら」「はい」「ありがとう」などの挨拶を進んでして、温かい人間関係が築けるようにする。 		目標を定め各種大会に向け練習しよう	
6	相手の気持ちになって考え、行動しよう	<ul style="list-style-type: none"> ★家庭学習強調週間 ★歯っぴ一週間 ・夏休みの過ごし方 ★着衣泳（R6はときくさを行うため実施しない） ・海岸清掃 ・1学期の反省 	学習と運動を両立させよう	<ul style="list-style-type: none"> ・市中学校卓球大会 ★歯っぴ一週間 ★家庭学習強調週間 ・定期テストI ★着衣泳（R6はときくさを行うため実施しない） ・海岸清掃
	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが安心して生活できる学校について考える。 		暑さ対策をしっかりしよう	
8	めあてをもって運動しよう	<ul style="list-style-type: none"> ★元気アップ週間 ・陸上大会 ★ときくさ 	家族の一員としての役割を果たそう	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の少年団交流集会 ・職場体験活動（2年）
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてをもって運動に取り組む。 		駅伝大会に向け練習に取り組もう	
10	読書や芸術に親しもう	<ul style="list-style-type: none"> ★小中学校運動会 ★避難訓練 ★家庭学習強調週間 ★文化祭 ★読書旬間 ・秋の社会科見学 	あいさつの輪を広げよう	<ul style="list-style-type: none"> ★小中学校運動会 ★避難訓練 ・定期テストII
	<ul style="list-style-type: none"> ・学年×10分+10分の家庭学習に取り組む。 ・読書に親しむ。 		学習・読書に打ち込もう	
12	かせ・インフルエンザ・コロナウイルス感染症をよぼうしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・雪・荒天時の交通安全指導 ・2学期の反省 ・冬休みの過ごし方 	集中して活動し、有効に時間を使おう	<ul style="list-style-type: none"> ・雪・荒天時の交通安全指導 ・2学期の反省 ・冬休みの過ごし方
	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがい、換気をこまめにする。 		暖房器具の使用法	
1	新年の目標をたてよう	<ul style="list-style-type: none"> ・新年の抱負 ★書き初め大会 ★元気アップ週間 ★学習発表会 	気持ちの良いあいさつで新年を始めよう	<ul style="list-style-type: none"> ・新年の抱負 ★書き初め大会 ★元気アップ週間 ★学習発表会 ・進路決定
	<ul style="list-style-type: none"> ・新年の抱負をたて、自分の生活を見直す。 		うがい・手洗いで風邪や感染症を予防しよう	
2	感謝の気持ちを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式 ★家庭学習強調週間 ★避難訓練 ・3学期の反省 ・六感会 ・春休みの過ごし方 	1年間の成果を確かめ、新年度の構想を立てよう	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式 ・3学期の反省 ・春休みの過ごし方
	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業、進級にむけた1年間の振り返り活動を行う 		礼法指導	
3		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式 ・3学期の反省 ・春休みの過ごし方 		<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式 ・3学期の反省 ・春休みの過ごし方

いじめ防止学習プログラム（小学校）

月	行事・活動	低学年	中学年	高学年
4	◎始業式 ◎1年生を迎える会	○小学校生活に適応し友だちを作る。(1年) ○学校生活に適応し友達を作る。	○進級したことを自覚する。 ◎1年生と遊んだり、進んで世話したりする。	○高学年としての自覚をもつ。 ○1年生が安心できるように助ける。
5	◎田植え	○学校の一員であることを知る。 ○自分勝手な行動はしない。	○低学年の手本となり行動で示す。 ○友達と助け合って行動する。	○準備・仕事・後始末に責任をもつ。 ○下級生を気遣い活動をリードする。 ○高学年としての自覚を持って行動する。
6	◎カンゾウ太鼓練習	○精一杯楽しく演奏する。	○自分の演奏・動きを精一杯行う。	○学校の伝統をしっかりと身につけ、下級生に伝える。
7・8	◎児童会夏祭り ◎海岸清掃	○楽しく取り組めるお店を協力してつくる。 ○ごみ拾いをとおして、一緒に汗を流す。	○下級生に楽しんでもらえる出店を考えたつくる。 ○小中学生と協力しながらごみを拾い、一緒に汗を流す。	○全校が楽しめる出店や運営を工夫する。 ○社会貢献の意識をもって、協力してごみを拾う
9	◎稲刈り *佐渡市親善陸上大会 (高学年) ◎カンゾウ種まき	○稲刈りをとおして、収穫を喜ぶ。 ○丁寧にまく。	○自然や指導者に感謝しながら、協力して稲を刈る。 ○協力して種をまく。	○農作業の工夫や大変さが分かり、指導者に感謝しながら、協力して稲を刈る。 ○学校の代表としての誇りをもち、励まし合って練習する。 ○生命のつながりを考えて種をまく。
10	◎小中合同運動会	○自分のめあてをたてて最後まで取り組む。	○自分の目標に向かって協力して取り組む。	○下級生の先頭に立って練習し、手本となることを意識して取り組む。
11	◎佐渡市音楽発表会 ◎文化祭・芸能発表 ◎デイサービスセンターか んぞう訪問	○自信をもって発表をする。 ○自分の作品や発表、全校発表に自信をもつ。 ○デイサービスセンターかんのぞうの方々と交流する。	○協力して発表をする。 ○自分の作品や発表・全校発表などを協力して行う。 ○高齢者を思いやる気持ちを育てる。	○リーダーの自信をもって発表をする。 ○作品展示や発表に積極的にかかわる。 ○高齢者を思いやる気持ちで取組を考え、交流する。
12	◎寒ぶり大漁まつり	○地域の祭りに参加する。	○地域のよさを発信する。	○地域の思いや願いを発信する。
1	◎校内書初め大会	○夢や誓いを書き表すことで、1年間を意欲的に生活していこうとする気持ちをもつ。	○夢や誓いを集中して書き表すことで、1年間を意欲的に生活していこうという気持ちをもつ。	○夢や誓いを集中して書いていかに書くことで、1年間を意欲的に生活していこうという気持ちをもつ。
2	◎太鼓引継ぎ式	○太鼓を一生懸命叩く。	○太鼓を一生懸命叩き、後輩に教える。	○太鼓を一生懸命叩き、伝統を引き継ごうとする意識を持つ。
3	◎終業式 ◎六年生に感謝する会 ◎卒業式	○お世話になった方々や六年生にお礼の心を込めて活動する。	○感謝の気持ちをもって手紙を書く。	○支えてくれた人や学校に感謝の気持ちをもち立派な上級生になろうという気持ちをもつ。
通年	*委員会活動		○協力して練習し、全校に楽しんでもらう。 ○協力して活動し、全校の生活を支える。	○協力して練習し、全校に楽しんでもらう。 ○協力して活動し、全校の生活を支える。

いじめ防止学習プログラム（中学校）

学校の運営活動

PTA・地域との連携

月	主な学校行事	生徒会行事・緑の少年団	評価と共通理解のための手立て	生徒の自己評価と教師による点検活動
4	始業式 ★入学式		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 新年度職員会議 ・学校運営の基本方針説明 ・教育計画の共通理解 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 子どもを語る会 ・生徒理解の会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 第1回PTA総会 ・学校運営の基本方針説明 ・年間行事予定の共通理解 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 学校評価項目設定 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・春休みの生活振り返り ・新組織での活動
5	★避難訓練① ★プール清掃 市中学校陸上大会 市中学校卓球大会	★緑の羽根募金活動 専門委員会 シイタケ菌打ち作業 生徒総会 緑の少年団入団式 ★市陸上大会激励会 ★市中学校卓球大会激励会	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 家庭学習調査・元気アップ 心の健康チェック・ 学校生活アンケート 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 学校運営協議会 ・学校運営の基本方針説明 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒総会の振り返り
6	1学期期末テスト 下越地区陸上大会 下越地区体育大会 ★海岸清掃	★下越地区陸上大会激励会 ★下越地区体育大会激励会	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 心の健康チェック・ 学校生活アンケート 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> SC全校教育相談 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期期末テストの振り返り ・海岸清掃の振り返り
7	★終業式	★生徒会レク ★サザエご飯全校会食 ★県大会激励会	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 心の健康チェック・ 学校生活アンケート 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 子どもを語る会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 学校運営協議会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 1学期学校評価 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の振り返り
8	★始業式 職場体験活動（2年） 社会貢献活動	緑の少年団交流集会	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 生徒指導部会 </div>	
9	市中学校駅伝大会 ★とくさ体験航海・ 着衣泳（隔年） 修学旅行 新潟巡検	★市中学校駅伝大会・ 小学校陸上大会激励会	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 心の健康チェック・ 学校生活アンケート 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 家庭学習調査・元気アップ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの生活振り返り ・職場体験活動振り返り ・社会貢献活動振り返り ・修学旅行の振り返り
10	2学期中間テスト ★小中学校運動会 ★避難訓練②	★運動会生徒会種目 放送	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 心の健康チェック・ 学校生活アンケート 生徒指導部会 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期中間テスト振り返り ・小中学校運動会振り返り
11	市中学校音楽発表会 2学期期末テスト ★文化祭		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 心の健康チェック・ 学校生活アンケート 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 生徒指導部会 家庭学習調査 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> SC全校教育相談 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭振り返り ・市中学校音楽発表会振り返り ・2学期期末テスト振り返り
12	★終業式 ★寒ぶり大漁まつり	★生徒会レク	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 心の健康チェック・ 学校生活アンケート 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 2学期学校評価 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の振り返り
1	★避難訓練③ ★始業式 ★学習発表会	★生産者に学ぶ会	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 子どもを語る会 月例職員会議 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 家庭学習調査・元気アップ 心の健康チェック・ 学校生活アンケート 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 学校運営協議会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> ・学校評価についての総括 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの生活振り返り ・新生徒会づくりへの取組
2	3学期期末テスト 三送会	★豆まき 生徒会役員選出 生徒総会	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 心の健康チェック・ 学校生活アンケート 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 第2回PTA総会 ・学校評価についての総括 ・次年度への提言 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期期末テストの振り返り ・生徒総会の振り返り
3	卒業式 ★終業式	★生徒会レク	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;"> 心の健康チェック・ 学校生活アンケート 生徒指導部会 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 生徒指導部会 次年度の教育活動立案 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期の振り返り ・1年間の振り返り

生活ノートの記述や日々の生活の様子の見取りから、随時教育相談を実施する。

中1ギャップ解消プログラム

	児童生徒の活動	P T A ・ 地域との連携	学校の運営活動
実施月	小学校		中学校
4月	職員会議（生活指導の共通理解） 子どもを語る会		・生徒心得の読み合わせ
5月	スピーチ朝会（以後児童生徒数にあわせて実施）		・心の健康チェック ・学校生活アンケート ・生徒指導部会（以後毎月実施） ・太鼓練習 ・海府太鼓の練習 ・テスト前家庭学習ガイダンス
6月	学校運営協議会		・S C 全校教育相談
	海岸清掃		
7月	子どもを語る会		
8月	・学校生活アンケートの実施		・夏休み学習会
9月			・職場体験（2年）
10月	小中学校運動会 小中合同生徒会種目		・運動会運営
11月	文化祭・芸能発表会 作品鑑賞		・芸能発表会運営
	生徒会いじめ見逃しゼロ集会		・S C 全校教育相談
12月	寒ぶり大漁まつりへの参加		
	・学校生活アンケートの実施		・冬休み学習会
1月	・6年部活動体験（～3月） ・6年緑の少年団活動体験（～3月） ・6年海府太鼓体験（～3月）		
	子どもを語る会		
	入学説明会		
	・N R T 実施		・N R T 実施
	学校運営協議会		・N R T 分析
2月	6年生に感謝する会・3年生を送る会		

生活ノートの記述や日々の生活の様子の見取りから、随時教育相談を実施する。

7 進路指導・キャリア教育の全体計画

【小】	【中】					
よく考え みんなでなかよく がんばる子	高い知性 豊かな心 強いからだ					
重点目標						
地域に学び、自立する子ども						
進路指導・キャリア教育の重点目標						
<p>○基礎的、汎用的能力を全教育活動を通して育成する。 ○学校や地域で働く人に接し働くことの大切さを知る。 ○様々な体験活動を通して、勤労観を育むとともに、自己有用感・達成感をもたせる。 ○身近な仕事への関心を高め、夢や希望をもちながら、目標に向かって努力する態度を育てる。 ○自らの生き方について考えようとする態度を育てる。</p>	<p>○基礎的、汎用的能力（特に課題対応能力）を全教育活動を通して育成する。 ○自分のよさや得意分野を理解させ、能力、適性、価値観等について理解を深めさせ、将来の進路計画を立てさせる。 ○自己の特性にあった職業や学校を選択するとともに、目標達成に向けて努力しようとする態度を育てる。 ○地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度を養う。</p>					
目指す児童・生徒の姿						
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年	
<p>○家の人や学校で働く人の様子を調べ、たくさんの方が働いていることで、自分たちが支えられていることに気付くことができる。</p>	<p>○地域の中で様々な人が働いていることを調べたり、体験したりして働くことの大切さに気付くことができる。</p>	<p>○地域の産業や日本の産業に興味をもち、そこに働く人の苦労や工夫を調べたり体験したりして将来に対する夢や希望をもつことができる。</p>	<p>○自己を理解し、将来の希望や夢に向けて、進んで自己の進路を設計しようとする。 ○身近な地域における職場体験を通じて、勤労の意義を理解する。</p>	<p>○自己理解を深め、適切な進路選択や、設計ができる。 ○広く社会で働く人々に目を向け、勤労観・職業観を深める。</p>	<p>○正しい自己理解の上に立って、自己の能力・適性に応じた進路の選択をする。 ○広く社会で働く人々に目を向け、勤労観・職業観を深める。</p>	
具体的な実践事項						
各教科	<p>国語…本を読み自分の生き方を考えさせる。 社会・生活…働く人々に接し人々の願い、思いに目を向けさせる機会をもつ。 算数・理科…学習の成果と日常生活との関連を図る。 音楽…音楽経験を生かし生活を明るく潤いのあるものにする態度、習慣を育てる。 家庭…自分の成長を自覚させ、家庭生活への関心を高め、大切さに気付くようにする。 体育…健康の保持増進と体力向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。</p>			<p>○授業で分かる・できる喜びを感じさせる。 ○将来の職業生活に必要な基礎的・基本的な事項を習得させる。 ○授業を大切に、目標をもって計画的に学習できるようにする。 ○日々の授業の振り返りを積み重ね、自己理解能力を育む。 ○将来の自分の姿と学習を結びつけて考えさせる。</p>		
特別の教科 道徳	<p>○「勤労・社会奉仕」において、働くことの大切さや尊さに気付かせ、進んで学校や家庭での仕事に取り組もうとする態度を育成する。</p>			<p>○集団の意義について理解し、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めること。 ○勤労の尊さや意義を理解するとともに、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努めること。 ○生き方について様々な角度から考えることを通して価値観を鍛え、望ましい進路選択の態度を育てる。</p>		
総合的な学習の時間	<p>○地域の学習を通して、地域で活躍する人々について調べることにより、人々が夢をもって生きていることに気付かせるとともに、自己の生き方を考えることができるようにする。 ○キャリア教育「みらい's NOTE」を活用し、自分と佐渡のみらいについて考える。</p>			<p>○自己を見つめ、現在や将来について考え、卒業後の進路を主体的に選択し、生きがいのある生活を実現していく生き方について考えることができるようにする。</p>		
特別活動	<p>○係活動、委員会活動をとおして、それぞれが仕事を分担し合って、みんなの学校生活が成り立っていることに気付かせる。 ○「キャリアパスポート」を活用して自分のよさや可能性について考える機会を設け、将来の生き方や進路などを考えさせる。</p>			<p>○「キャリアパスポート」を活用して生徒一人一人が自己存在感をもって学校生活を送れるように意識付けをする。 ○自治意識の高揚をめざし、学校や学級の諸問題を自ら解決する力をつける。 ○勤労生産・奉仕的行事で啓発体験やボランティア活動をする。 ○キャリア教育DVD「夢サポート」を活用する。</p>		
その他の教育活動	<p>○外国語、外国語活動においては、日本と外国語の生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くようにする。 ○中学校や保護者・地域との連携を図る。</p>			<p>○適切なキャリアカウンセリングを通して個性をいかす指導・助言を行う。 ○保護者・地域社会・小学校・高等学校など関係機関と連携を図り、生徒を取り巻く教育環境を充実させる。</p>		

「新潟っ子プラン」 内海府小・中学校

教育目標	新課程			小学校期			中学校期	高等学校期	視点	4領域6能力 対応例		
	低学年	中学年	高学年	低学年	中学年	高学年						
◇社会の情勢変化に柔軟に対応できる、生き抜く力を身に付けた新潟っ子を育て ◇生まれ育った地域に根ざすアイデンティティを持った新潟っ子を育て ◇夢や目標を持ち、その実現のための行程を描き取り進む新潟っ子を育て	郷土への愛着 交流 貢献	1ちくがすきで、ちくのよいところをいえる。 ・郷土愛の授業（道徳） ・まちだんげん（生活）	1地域が好きで、自分なりに校区や地区のよいところがわかる。 ・郷土愛の授業（道徳） ・社会科見学（社会） ・「海府の海からのプレゼント」、「海府の海からのプレゼント」（総合）	・郷土愛の授業（道徳） ・「守ろう！海府の宝」（総合）	・島内探訪	1地域の特色やよさがわかり、愛着を持って地域の自然や人とかかわろうとしている。 ・「海府に生きる人々に学ぼう！」（総合） ・グートボール交流会	1地域の特色やよさがわかり、愛着を持ち、自分のできることで貢献しようとしている。 ・ガイドボランティア活動 ・ボランティア活動	1郷土の文化や伝統、産業の特色やよさがわかり、郷土に対して愛着を持ち、貢献しようとしている。	郷土愛	4領域6能力 対応例		
											2「ありがとう」「ごめんなさい」が出来る。 ・あいさつ運動、強弱週間	2返事やあいさつ、「ありがとう」「ごめんなさい」が出来る。 ・あいさつ運動、強弱週間
人間関係が成る・社会形成能力	社会 協働	3じぶんのかんがえをみんなのまへではなすことができる。 ・スピーチ大会（全校） ・朝学習での日頃のスピーチ（学級）	3自分の意見や気持ちをわかりやすく伝えることができる。 ・スピーチ大会（全校） ・朝学習での日頃のスピーチ（学級）	3相手の意見や気持ちを聞き、自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 ・スピーチ大会（全校） ・朝学習での日頃のスピーチ（学級） ・ペア、グループ学習（授業）	3自分と違う意見を受け入れながら、自分の考えを適切に伝えることができる。 ・アサーショントレーニング（ピアサポート）	3相手の意見や気持ちを聞き、自分の考えをわかりやすく伝えることができる。	3相手の意見や気持ちを聞き、自分の考えをわかりやすく伝えることができる。	3相手の意見や気持ちを聞き、自分の考えをわかりやすく伝えることができる。	人間関係形成・社会形成能力	コミュニケーション能力		
											4ともだちとなかよくあそんだりたすけあたり出来る。 ・内海府カンソウ太鼓	4友達と協力し合って学習や活動をする事が出来る。 ・内海府カンソウ太鼓
自己理解・自己管理能力	自己理解 自己管理	5じぶんにはよいところやとくいなものがある。 ・私たちの道徳（道徳）	5自分にはよいところやとくいなものがある。 ・私たちの道徳（道徳） ・SGE（道徳）	5自分の長所や自分らしさがわかる。 ・私たちの道徳（道徳） ・SGE（道徳）	6自分の長所や個性を理解し、自分を大切に出来る。 ・SGE（道徳）	6自分の個性や能力を理解し、自分や他者を大切に出来る。	7自分の個性や興味・関心を生かして活動等を選択することができる。	7自分の個性や興味・関心を生かして活動等を選択することができる。	自己理解・自己管理能力	自己の理解能力 自己管理能力		
											6じぶんの好きなものややりたいことをえらぶことができる。 ・係活動	6自分の好きなものややりたいことを自分の考えで選ぶことができる。 ・係活動 ・クラブ ・委員会
課題対応能力	実行 対応 実行	7どうはんやかかりのしごとをわすれずに出来る。 ・係、給食、掃除などの活動	7当番や係の仕事に進んで取り組むことができる。 ・係、給食、掃除、委員会などの活動	7与えられた仕事や係活動に確実に取り組むことができる。 ・係、給食、掃除、委員会などの活動	9仕事や課題等で与えられた内容に対して意欲的に確実に取り組むことができる。 ・社会貢献活動	9様々な課題や仕事内容に積極的に取り組み、主体的に解決しようとしている。	10様々な課題や仕事内容に積極的に取り組み、主体的に解決しようとしている。	課題解決能力	課題解決能力 意思決定能力			
										8じぶんのことは、じぶんでおこなおうとする。 ・週足 ・マラソン記録会	8むずかしいことでも、できるまでがんばろうとする。 ・週足 ・マラソン記録会 ・集団運動	9苦手なことや、むずかしいことでも、最後までやり通す。 ・週足 ・マラソン記録会 ・集団運動 ・市販大会、市水泳大会
キャリアプランニング能力	役割 設計 適性	9じぶんのどうはんやかかりのしごとは、みんなのやくにたつとおもう。 ・係、給食、掃除などの活動	9一人一人が自分のやくわりをはたすことで、学校の生活がよくなると思う。 ・係、給食、掃除などの活動	10将来の夢や目標に向けて、今しななければならぬことを考えている。 ・係、給食、掃除などの活動 ・「海府のためにできること」、「海府に生きる人々に学ぼう！」（総合）	12自分の役割や仕事の社会的役割の意義を理解し、将来について考えている。 ・新潟巡検	13自分の役割や仕事の社会的役割の意義を理解し、自分の生き方を考えている。	13自分の将来のためには、今の学習や活動の意義を理解し、大切であると思う。 ・職業講話 ・上級学校調べ	14希望の進路を実現させるための課題を理解し、進路に関する情報を集めたり、調べたりしている。 ・職業体験学習	15進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分のめざす将来の進路計画を立案している。	16職業への関心があり、職業体験や様々な体験を通して、自分にあった職業を考えている。 ・職業講話	17職業体験や上級学校の見学に積極的に参加し、自分に適した職業を決めている。	18現状を分析し、将来設計や進路計画の見直しや再検討を行い、その実現のために調整することができる。

8 人権教育,同和教育の全体計画

【小】		教育目標		【中】	
よく考え みんなでなかよく がんばる子			高い知性 豊かな心 強いからだ		
重点目標					
地域に学び、自立する子ども					
人権教育,同和教育の指導の重点					
<p>○人を人として大切にし、誰とでも仲良くしようとする心情を養う。</p> <p>○偏見や差別に気付き、差別を許さない公平な判断力を育成する。</p> <p>○「生きる」を活用して、差別に負けない心と協力して問題を解決しようとする実践的態度を育成する。</p>			<p>○互いに人権を尊重し合い、人の痛みや他を思いやる心、連帯意識を持って問題を解決しようとする態度を育てる。</p>		
目指す児童・生徒の姿					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<p>○友達と仲良く助け合い、励まし合うことができる。</p> <p>○仲間はずしや弱いものいじめなど、人の嫌がることをせず、誰とでも仲良くできる。</p>	<p>○相手の身になって考え、励まし合って活動できる。</p> <p>○他人を軽蔑せず、相手の気持ちや苦労や努力を考え、学級全員が助け合い、励まし合って活動できる。</p>	<p>○偏見をもたず、仲間と励まし合い、認め合うことができる。</p> <p>○日常見過ごしがちな偏見や差別に気づき、受けた者の身になって進んで問題を解決しようとする。</p>	<p>○お互いに思いやりをもち、他の立場に立って物事を考えることができる。</p>	<p>○正義感や公正な判断力を身に付け、差別の不合理さに気付く。</p>	<p>○差別の実態を知り、それを許さない態度や実践力を身に付ける。</p>
<p>○人権問題を正しく理解し、差別や偏見を許さない心を持つ。</p>					
具体的な実践事項					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
			<p>○社会貢献活動 「かんぞう」訪問</p> <p>○いじめ防止学習プログラムの積極的な活用</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★「生きる」を活用した道徳授業の実践、公開</p> <p>★全校エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの実施</p> <p>★いじめ見逃しゼロスクール集会の実施</p> <p>★日頃の挨拶から誰とでも元気に挨拶ができる社会性を育む。</p> </div>					
各領域における指導内容					
各教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	その他の活動	家庭地域との連携
<p>・社会科の学習を通し、正しい歴史認識と人権意識を育てる。</p> <p>・確かな学力を身に付けさせ、合理的・科学的な考え方を身に付けさせる。</p>	<p>・授業を通して友達を差別せず、協力して生活する態度を育成する。</p> <p>・副読本「生きる」を必ず活用する。</p>	<p>・様々な人との関わりを通して、感謝の心や思いやりの心をはぐくむ。</p>	<p>・集団の一員としての自覚と連帯感をはぐくむ。</p> <p>・学校生活の中で起こった問題を自分たちで解決しようとする態度を育成する。</p>	<p>・ボランティア活動や緑の少年団活動を通して、奉仕の精神を養う。</p>	<p>・道徳の授業参観等を通して、人権教育・同和教育について保護者の理解を図る。</p>

9 図書館教育の全体計画

【小】		教育目標		【中】	
よく考え みんなでなかよく がんばる子				高い知性 豊かな心 強いからだ	
【小】		重点目標		【中】	
地域に学び、自立する子ども					
【小】		図書館教育の重点目標		【中】	
○読書に対する興味や関心を高め、好ましい読書習慣を身に付けさせる。 ・週1冊は全員に本の貸し出しをする。 ○図書館に親しみ、正しく本を扱えるようにさせる。				○読書に対する興味や関心を高め、進んで読書しようという態度を育てる。 ○積極的に図書館を利用しようという態度を育てる。 ○読書を通して学んだことを意欲的にまとめ、表現力を伸ばす。	
目指す児童・生徒の姿					
1学期					
○図書館のきまりや利用の仕方、役目を知らせ、守れるようにする。 ○本を正しく扱うことができるようにする。 ○読み聞かせに参加する。				○図書館のきまりや利用の仕方を知らせ、守れるようにする。 ○朝読書の時間を設定して、本を読む態度を育成する。	
指導事項					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
○図書館は楽しみや学習のためにある。 ○本は仲間同士でまとめられている。 ○本をきれいな手でていねいに扱う。 ○静かに読み、終わったら元の本棚に返す。	○図書館のきまりや利用の仕方。 ○目次、索引の働きと活用。	○図書の正しい扱い方。(はしがき、注、解説、あとがき、奥付の利用法など) ○読書感想文の書き方。	○図書の取り扱い、図書の分類、貸し出しの方法 ○読書の習慣化 ○読書旬間中に小学生への読み聞かせを行い、読んだ本を廊下に展示する ○読書感想文の書き方		
2学期					
○いろいろな本に親しみ、読書の量を増やすようにする。 ○伝統的な言語文化に触れる機会をつくる。 ○好きな本の感想文が書けるようにする。 ○読み聞かせに参加する。				○図書の並べ方を工夫するなどして、利用しやすい環境を整える。 ○読書時間を増やし、好きな本の紹介や感想を発表することができる。	
指導事項					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
○やさしい読み物 ○昔話や神話・伝承 ○読書感想文の書き方	○世界の童話、学習に役立つ本 ○短歌、俳句、ことわざ、慣用句、故事成語 ○読書感想文の書き方	○心に残る本、生活に役立つ本 ○古文、漢文、文語調の文章 ○読書感想文の書き方	○図書館利用のマナー ○推薦図書の特設コーナーを設置して読書を奨励する。 ○読書旬間中に小学生への読み聞かせを行い、読んだ本を廊下に展示する。		
3学期					
○学習のための読書ができるようにする。 ○読書への取組の反省ができるようにする。 ○読み聞かせに参加する。				○図書館の本を課題解決のために効果的に利用できる。 ○読書への取組の反省ができるようにする。	
指導事項					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
○本の仲間分け。 ○勉強に役立つ本。 ○読書への取組の反省。	○図書や辞書の使い方。 ○理科や社会の学習に役立つ本。 ○読書への取組の反省。	○図鑑、辞書、辞典、年鑑、参考書の利用方法。 ○読書への取組の反省。	○図鑑、辞書、辞典、年鑑、参考書の利用方法、図書の選択の仕方 ○読書への取組の反省		
【具体的な実践事項】					
小学校			中学校		
<ul style="list-style-type: none"> ★図書購入(随時) ・図書館環境整備(ポスター、本の挿絵などの掲示) ★書架の整理(随時) ★図書の貸し出し ・「図書館の使い方」「図書館のきまり」作成(4月) ・図書館利用指導(4月の学級活動) ・朝読書の推進 ★校内読書旬間の設定(7月・11月) ★司書による図書館イベントの実施(読書旬間) ・各種読書感想文コンクールへの参加呼びかけ ・巡回図書による読み聞かせの実施(月1回) ・学習支援ボランティアによる絵本読み聞かせ(月2回) ・図書紹介活動(通年) 			<ul style="list-style-type: none"> ★図書購入(随時) ・図書館の環境整備(ポスター掲示、新刊紹介) ★書架の整理(随時) ★図書の貸し出し ・朝読書の推進 ★校内読書旬間の設定(7月・11月) ★司書による図書館イベントの実施(読書旬間) ・読書感想文コンクールへの参加 ・小学生への読み聞かせの実施、本の紹介 		

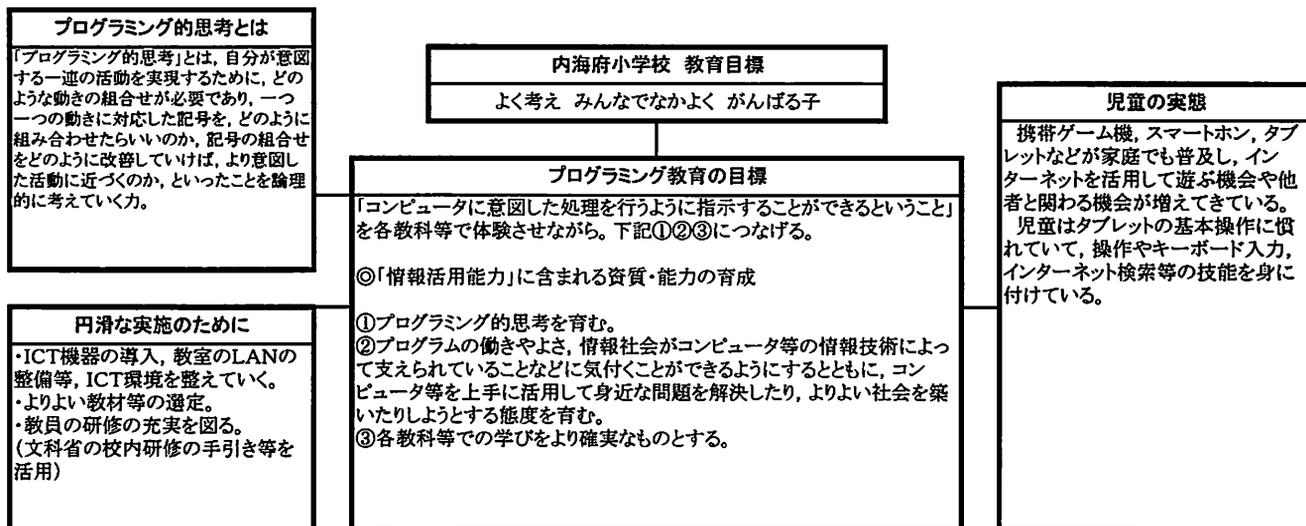
10 福祉教育・ボランティア教育の全体計画

【小】		教育目標		【中】	
よく考え みんなでなかよく がんばる子			高い知性 豊かな心 強いからだ		
重点目標					
地域に学び、自立する子ども					
福祉教育・ボランティア教育指導の重点目標					
<p>○人と人のかかわりの中で、豊かな心を育む。 ○思いやりの心を育てるとともに、進んで人のためになることをしようとする心情や態度を育てる。 ○小規模校の特徴を生かして、縦割り集団の活動や地域と一体になった活動を多く取り入れる。</p>					
目指す児童・生徒の姿					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
○一人ひとりを大切にし、友達に親切にしたり、みんなと仲よくしたりする。	○思いやりの心を持ち、自分のできることは進んで行う。	○相手の立場を考え、思いやりを持ち、協力して人のためになる仕事を行う。	○他者への思いやりの気持ちを持ち、積極的にボランティア活動に参加できる。 ○体験を通じて学んだ事を、進路や将来の生き方に関連付けようとする。		
具体的な実践事項					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
○ゲートボール交流（1学期1回） ・前期クラブ活動の時間に北小浦ゲートボールクラブの方々と交流試合を行う。 ○デイサービスセンターかんぞうとの交流 ・年間1回の交流活動を行う。（花壇の苗植え） ○募金活動 ★みどりの募金（5月） ○JRCの活動 ・赤い羽根共同募金（12月） ○地域美化活動 ・海岸清掃（6月）			○地域住民との交流活動 ・ロングライドボランティア（5月） ○総合学習 ・職場体験活動 ・寒ぶり大漁まつりガイドボランティア（12月） ○募金活動 ★みどりの募金（5月）		
各領域における指導内容					
各教科	○社会科の学習での福祉に関する学習を行う。		○社会科（公民）において、憲法、社会保障制度、社会資本の整備などの学習を行う。 ○家庭科（家族・家庭生活）において、地域社会に対する理解を深める。		
道徳	○社会福祉の内容について理解を深める。 ○日常生活を振り返り、互いに支え合い自分たちのできることを進んでしようとする心情を育てる。		○お互いの人格を尊重する態度や、他人のために尽くそうという心を育てる。		
総合的な学習の時間	○地域住民の方から米作りを指導していただいたり、地域の特産物について教えていただいたりする。		○ガイドボランティア活動を行い、総合的な学習の時間を通して学んだ地域の様子を地域の住民や観光客に伝える。 ○職場体験活動を通じて勤労や社会福祉の意義への理解を深め、進路や将来の生き方に関連付ける。		
特別活動	○地域の美化活動・奉仕活動を行うことにより、公共のために尽くそうとする態度を育てる。		○主体的な活動の場面の設定とサポート ○主体的に考え、協力して生活の向上を目指す生徒集団の育成		
家庭・地域との連携	★デイサービスセンターかんぞうの訪問を通して、思いやりの心をもって接しようとする態度を育てる。 ★「学校だより」「学習発表会」等による広報活動と情報交換 ★地域の人材活用、地域の方との交流 ★学校運営協議会の活用				

11 教育の情報化の全体計画

【小】		教育目標		【中】	
よく考え みんなでなかよく		がんばる子		高い知性 豊かな心 強いからだ	
重点目標					
地域に学び、自立する子ども					
情報教育の重点目標					
<p>「情報活用能力の育成」（情報の収集・取捨選択・発信） ○テレビ、ビデオ(DVD)、本、新聞、インターネットなどから情報を集め、学習に活用する力を育てる。 ○児童を視聴覚教材・機器に親しませるとともに、自発的に視聴覚教材・機器を利用しようとする態度を育てる。 ○児童がタブレット等のICT機器を活用できるように環境を整える。 ○視聴覚ライブラリーとの連携を密にし、教材・教具の効果的な利用を図る。 ○遠隔教育システムを活用し、他の学校の児童との交流学习を行う。</p>			<p>○各教科・総合的な学習の時間等において、ICT機器を積極的に活用する。 ○各教科・特別活動・総合的な学習の時間を通して、関心のある社会事象の中から、自ら課題を設定させる。 ○課題に関連する情報の収集、整理、分析から事実を読み取り、その裏付けを導きださせる。 ○情報化が社会に及ぼす影響を様々な面から認識させ、望ましい社会のあり方を考えさせる。 ○遠隔教育システムを活用し、他の学校の生徒との交流学习を行う。</p>		
目指す児童・生徒の姿					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<p>○インタビューや体験などで情報を収集することができる。 ○学習のねらいに関係ありそうな情報を集めることができる。 ○調べたことを模造紙やスクラップブックなどにして発表することができる。</p>	<p>○本や図鑑、テレビ、インタビュー、インターネットなどで情報を収集することができる。 ○学習のねらいにそって、必要な情報を取り出すことができる。 ○調べたことを、新聞などにまとめて発表することができる。</p>	<p>○インターネットや新聞等を活用し、情報を収集することができる。 ○学習のねらいを意識し、必要な情報だけを取り出すことができる。</p>	<p>○自ら課題を設定し、意欲的に活動する。 ○複数のメディアを使って情報を収集し、ファイリングをすることができる。</p>	<p>○収集した情報を検討、比較することを通して、様々な考え方を、価値観が存在することを理解する。</p>	<p>○多様な価値観について学ぶとともに、自分の考えをしっかりと持って、それを実現することができる。</p>
具体的な実践事項					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<p>○ICT端末の基本操作の習得 ・起動・終了・マウス操作 ○デジタルカメラ、インターネットの基本操作の習得 ○ファイルの保存・呼び出し ○ワープロソフトなどを使った表現活動 ○インターネットを使ったWEBページの閲覧 ○情報モラル指導 ○ミライシードの活用</p>	<p>○プレゼンテーションソフトを使った自分の意見や考えの発信（表現） ○インターネットを活用した必要な情報の検索・取り出し ○情報モラル指導 ○ミライシードの活用</p>	<p>○情報機器の基本操作の習得 ・いろいろな情報機器の基本操作 ・基本ソフトウェアの利用 ・インターネットの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用</p>	<p>○情報機器の効果的な活用 ・ミライシードの活用 ・必要な情報の収集 ・マルチメディアの活用 ・情報モラル指導</p>	<p>○情報機器の主体的な活用 ・より良い情報活用についての活用 ・正しい情報収集と受送信 ・情報モラル指導</p>	
各領域における指導内容					
各教科	<p>○文章を正しく読み、要点をまとめる。 ○表やグラフを読んだり活用したりする。 ○インタビューや電話等で情報を収集する。 ○視聴覚機器を使い、まとめたり発表したりする。 ○プログラミング教育の実施。コンピュータに意図した処理を行うように指示することができる、ということを経験させながら、「プログラミング的思考」などを育成する。 ○タブレットを活用した情報収集、処理、発信 ○ミライシードを活用する。</p>	<p>○ICT機器の活用による授業改善 ○インターネットを利用した調べ学習 ○ミライシードを活用した学習指導の多様化 ○一人一台端末を活用した情報収集、処理、発信</p>			
道徳	<p>○情報モラルの必要性を理解し、情報に対して責任をもつ。</p>	<p>○情報モラル教育の充実 （外部講師による講演会等）</p>			
総合的な学習の時間	<p>○体験的な活動で得た情報を集約し、発信する。 ○自分の情報活用について記録し、評価し、改善する。</p>	<p>○情報活用能力の向上と情報モラルの定着 ○修学旅行・職場体験などの事前・事後学習 ○一人一台端末を活用したボランティアガイド ○一人一台端末を活用したまとめや実践発表</p>			
特別活動	<p>○助け合って情報を収集したり、活用したりする。 ○仕事を分担して活動したり発表したりする。</p>	<p>○生徒会活動の企画やたより、年間活動計画の作成 ○インターネットによる進路学習 ○一人一台端末を活用した生徒会誌の作成</p>			
その他の活動	<p>○分かりやすく情報を発信しようとする態度を育てる。</p>	<p>○国際化や情報化に対応した教育の推進</p>			

令和6年度 プログラミング教育 全体計画



【プログラミング教育で育成する資質・能力 各学年で育成を目指す力】				
	資質・能力	1・2年生 (低学年)	3・4年生 (中学年)	5・6年生 (高学年)
	柱 具体的な力			
プログラミング教育で育成する資質・能力	知識・技能	コンピュータの利活用	・身近な生活でコンピュータが活用されていることに気付くこと。 ・社会におけるコンピュータの役割や影響に気付くこと。 ・地域社会、生活の中における課題をプログラムを用いて解決できることに気付くこと。	・社会におけるコンピュータの役割や影響を理解すること。 ・地域社会、生活の中における課題をプログラムを用いて解決できることを理解すること。
		プログラミング技術に関する知識・技能	・コンピュータはプログラムによって動作していることに気付くこと。 ・コンピュータはアルゴリズムを表現したプログラムによって動作していることに気付くこと。	・問題解決には適切なアルゴリズムがあることを理解すること。 ・コンピュータはアルゴリズムを表現したプログラムによって動作していることを理解すること。 ・ビジュアル・プログラミング言語を用いて簡単なプログラムを作成できること。
		コンピュータサイエンスに関する知識	・フローチャートなどのモデリング技法によってアルゴリズム等を表現できることに気付くこと。	・合計値、平均値、最大値、最小値、データ交換など簡単なアルゴリズムとデータ構造を理解すること。 ・フローチャートなどのモデリング技法によってアルゴリズム等を表現できることを理解すること。
思考力・判断力・表現力等	問題発見			・現状とあるべき姿を把握し、「何をすべきか」を考えることで問題を理解できることに気付くこと。
	分解	・簡単な問題解決の手順を分解できることに気付くこと。	・簡単な問題解決の手順を小さな手順に分解できること。	・簡単な問題解決の手順を小さな手順に分解することで、問題を解決しやすくできることに気付くこと。
	抽象化			・手順について目的や意図に応じて適切な要素・性質を取り出せて、それらに簡単な構造(関連)化ができることに気付くこと。
	手順化	・簡単な手順を逐次構造を用いて表現できること。	・簡単な手順を繰り返し構造および条件分岐構造を用いて表現できること。	・目的に合った明確な手順を作成することができること。
	評価	・簡単な手順を振り返り、修正・改善できること。	・一連の簡単な手順を振り返り、必要に応じて修正・改善することができること。	・一連の簡単な手順を振り返り、必要に応じて修正・改善することができること。
学びに向かう力・人間性	問題発見・問題解決を行う態度	・問題解決のために、最後までやり遂げようとする態度を養うこと。	・問題解決のために、試行錯誤(トライ&エラー)しながら最後までやり遂げようとする態度を養うこと。	・問題解決のために計画的に最後までやり遂げようとする態度を養うこと。
	多様性を認める人間性		・アルゴリズムの解やプログラムが複数あることに気付くこと。 ・他者を尊重し、他者と一緒に創造的な活動を行うことの大切さに気付くこと。	・アルゴリズム(解法、手順)の解やプログラムが複数あっても、それらに間違いがなければ容認する態度を養うこと。 ・他者を尊重し、他者と一緒に創造的な活動を行う態度を養うこと。

※これらの資質・能力を各教科等の指導、情報教育における指導と関連させながら、教科横断的に行っていく。

12 体育・健康に関する指導の全体計画

【小】		教育目標		【中】	
よく考え みんなでなかよく		がんばる子		高い知性 豊かな心 強いからだ	
重点目標					
地域に学び、自立する子ども					
体育・健康に関する指導の重点					
<ul style="list-style-type: none"> ○体力実態の把握と体力向上の取組を推進する。 ○合同体育の工夫による体育学習の充実を図る。 ○家庭と連携した歯みがき運動、生活リズムチェックを推進する。 ○家庭科や総合的な学習の時間、給食指導を通じた食育を充実する。 			<ul style="list-style-type: none"> ○保健体育の授業と、保健安全・特別活動・給食等の学校の教育活動全体とを関わらせた指導を行う。 ○個々の生徒の能力に応じためあてをもたせ、努力させる。 ○心身の調和的な発達を促し、健康で明るく楽しい生活を営む態度や能力を育てる。 		
目指す児童・生徒の姿					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<ul style="list-style-type: none"> ○目標をもち、粘り強く最後まで運動ができる。 ○運動や遊びに関心をもち、仲良く安全に活動することができる。 ○手洗い、うがい、汗ふき等の生活習慣が身につく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に向かって、意欲的に挑戦する。 ○助け合い、励まし合って運動することができる。 ○健康な生活や体の発育・発達について正しく理解し、自分を大切にしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に向かって工夫して運動し、なしとげようと努力することができる。 ○努力を認め合い、創意工夫しながら運動ができる。 ○けがの防止や心の健康について正しく理解し、安全で健康な生活を送ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業、部活動に意欲的に参加する。 ○自己の体力について知り、体力向上の必要性を理解できる。 ○基本的な生活習慣を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力を向上させるため、自分の目標を設定し、意欲的に活動できる。 ○基本的な生活習慣を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力を向上させるため、日常の生活習慣を自身で改善するとともに、運動を習慣化できる。 ○自他の健康や安全に気を配って生活することができる。
具体的な実践事項					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<ul style="list-style-type: none"> ○体育学習 ・体力テストの実施 ・学習カードの活用 ・歯、目、性に関する指導 ・外部講師による指導 			<ul style="list-style-type: none"> ○保健体育の授業や体力づくりを通じて、様々な運動の楽しさや喜びを味わわせ、運動に親しむ態度を育てる。 ○部活動の指導を通し、体力の向上と気力の高揚に努める。 ○体力づくり、発育測定などの結果を活用し、自己の体力、健康に関心をもち、保持増進に努める態度を育てる。 ○外部講師を招聘し、技能の向上を図る。 		
各領域における指導内容					
各教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	その他の活動	家庭地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○自分のめあてをもち、粘り強く課題に取り組もうとする態度を育てる。 ○自分の身体や健康・安全への関心を高める。 ○実習、実験時の安全指導を行い安全を確かめながら学習しようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の育成を図る。 ○命を大切にしようとする態度を育てる。 ○役割と責任の自覚させ協力する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら課題を見つけ、粘り強く取り組もうとする態度を育てる。 ○自分の生き方を見つめ、よりよく生きようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童会・生徒会 ・充実した学校生活を送らせる。 ○クラブ活動・部活動 ・自発的、自治的に行えるようにする。 ★学校行事 ・規律ある集団行動と、責任感と連帯感を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小体連、中体連の活動に進んで参加し他校児童生徒との親善を深めると共に気力、体力の向上を図る。 ★児童生徒の健康の保持増進をめざし、医療機関との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ★学校だよりや保健だより等で、児童生徒の体力実態や取組を公表し、家庭との協力、連携を図る。 ★家庭学習強調週間にあわせ、各家庭でメディア時間の削減に取り組む。 ★地域行事に積極的に参加させ、地域との協力、連携を図る。 ★佐渡市地域クラブ活動に積極的に参加できるように働きかける。
活動計画					
体育・部活動	<ul style="list-style-type: none"> ○体力テスト（1学期） ○水泳カード（1学期） ○器械運動カード（2・3学期） ○短縄跳びカード（2・3学期） 		<ul style="list-style-type: none"> ○体力テスト（5月） ○卓球部活動（通年） ○特設陸上部（1学期、それ以降随時） ○特設駅伝部（夏休み～9月） 		
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ○学級活動 ○歯の健康、目の健康、性に関する指導等 ○学校栄養士、養護教諭と連携した食育指導（通年） 		<ul style="list-style-type: none"> ○元気アップ週間の睡眠時間調査、メディアコントロール ○生活ノートを通じた、生活習慣の把握と指導（通年） ○養護教諭による保健指導 ○学校栄養士、養護教諭と連携した食育指導（通年） 		
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ★小中学校運動会への参加と運営（10月） ○佐渡市水泳大会（7月） ○佐渡市陸上大会（9月） 		<ul style="list-style-type: none"> ★小中学校運動会への参加と運営（10月） ○佐渡市球技大会（6月） ○佐渡市陸上競技大会（5月） ○佐渡市駅伝大会（9月） 		

13 性に関する指導の全体計画

【小】		教育目標		【中】	
よく考え みんなでなかよく		がんばる子		高い知性 豊かな心 強いからだ	
重点目標					
地域に学び、自立する子ども					
性に関する指導の重点目標					
<p>○命の大切さを理解し、自分を大切にしようとする心情や態度を育てる。</p> <p>○男女の特徴や違いを知り、互いに尊重し思いやる態度を育てる。</p> <p>○家庭や社会の一員としての適切な判断や意志決定ができる能力や態度を育てる。</p>			<p>○生命誕生について理解を深め、生命尊重の精神を養う。</p> <p>○男女の特性を理解し、互いに人格を尊重し合いながら協力することができる人間関係を育てる。</p> <p>○自己の心身の発達や変化を正しくとらえて適切に対応できる能力と態度を育てる。</p>		
目指す児童・生徒の姿					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<p>○体を清潔にすることの大切さを知り、習慣化することができる。</p> <p>○男女の体の違いを知り、自分や友達の体を大切にすることができる。</p>	<p>○体の成長について知り、男女差や個人差があることが分かる。に気づき、肯定的に受け止めることができる。</p> <p>○自分が生まれるまで家族の思いや願いを知り、自他の生命の大切さを理解する。</p>	<p>○生命誕生の仕組みについて理解し、自他の生命を大切にすることができる。</p> <p>○エイズについて知り、偏見なく常に相手の人格を尊重することができる。</p>	<p>○思春期における男女の性差と生命誕生の仕組みについて理解し、生命を尊重し、自他を大切にすることができる。</p>	<p>○異性との人間関係や性情報において、適切な意志決定に基づく望ましい行動選択ができる。</p>	<p>○男女の望ましい人間関係を理解し、現在や将来における性に関する諸問題について肯定的に考えることができる。</p>
具体的な実践事項					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
<p>○学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の清潔 ・ふれあい ・ちがいを知る <p>○道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きることの喜びや生命を大切にすることの大切さ <p>○生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の成長 ・飼育・栽培を通しての成長への気づきと生命の大切さ 	<p>○学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命誕生 ・二次性徴 <p>○保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> 【A年度】…健康な生活 【B年度】…体の発育・発達 <p>○理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育・栽培を通しての成長への気づきと生命の大切さ <p>○道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊さ、生命のあるものを大切にすること 	<p>○学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の悩み ・被害の防止 <p>○保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> 【A年度】…心の健康、けがの防止 【B年度】…病気の予防 <p>○道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女仲良く協力する（異性の理解） ・自他の生命尊重 ・差別や偏見をもたない <p>○理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物と環境 ・人の誕生 	<p>○学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女平等 ・思春期 <p>○保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能の発達と心の健康 	<p>○学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性情報 ・欲求と脳の働き <p>○保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷害の防止 ・健康と環境 <p>○家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族と家庭生活 <p>○理科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物の生活と種類 ・生物の細胞と生殖 	<p>○学級活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性のモラル ・男女交際 <p>○保健体育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活と疾病の予防 ・性感染症 ・エイズ <p>○道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LGBTを含む相手への理解と人格尊重 ・差別や偏見のない社会の実現 <p>○社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と私たちの生活

14 食に関する指導の全体計画

【小】		教育目標				【中】
よく考え みんなでなかよく がんばる子		高い知性 豊かな心 強いからだ				
重点目標						
地域に学び、自立する子ども						
食に関する指導の重点目標						
<p>○食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。 ○心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。 ○食物を大事にし、食物の生産にかかわる人々へ感謝する心を養う。 ○食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につけさせる。</p>			<p>○正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食生活の向上・改善と健康増進を図る。 ○食に関する意識の高揚を図り、食資源を大切にすることを育む。</p>			
目指す児童・生徒の姿						
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年	
<p>○好き嫌いを少なくし、楽しく食事ができる。</p> <p>○地域で生産されている食材が多いことが分かる。</p> <p>○友達と協力して給食当番の活動ができる。</p>	<p>○食物の働きを知り好き嫌いを減らすことができる。</p> <p>○地域の食材を用いている理由について理解を深める。</p> <p>○進んで当番活動を行う。</p>	<p>○健康の保持増進のために1日3度のバランスのよい食事が大切であることを理解する。</p> <p>○地域の産物や郷土料理に関心をもち、食物の品質や安全性について自ら判断できる。</p> <p>○自分の仕事を見つけ、能率的に給食当番の活動ができる。</p>	<p>○心身の成長と食生活のつながりを理解する。</p> <p>○給食を通し、栄養と健康に関心をもつことができる。</p>	<p>○生涯の健康は中学生期の食生活が大きく関わることを理解し、調和のとれた食事を進んで摂ることができる。</p> <p>○給食を通し、楽しく意義ある食習慣を身につける。</p>	<p>○生涯にわたり健康で活発な生活を送るために、日常における食の自己管理能力を身につける。</p> <p>○楽しい食事や給食活動を通して、豊かな心を育む。</p>	
具体的な実践事項						
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年	
<p>★給食時の身支度、配膳、姿勢、後片付け指導の徹底 ★親子給食会の設定 ★親子料理教室の設定（12月） ★給食食材提供者による講演や会食の設定（7月 1月） ★給食週間の設定（1月） ★お誕生日給食の設定 ★学校栄養士による食に関する授業（小中学生 各年1回3学期）</p>						
○田植え体験（5月） ○稲刈り体験（9月）		○魚さばき体験（6月）				
各領域における指導内容						
各教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	家庭地域との連携		
<p>★体育 体をよりよく発達させるためには、運動やバランスのよい食生活を身につけることが必要であることを理解させる。</p> <p>★家庭科 日常よく使われる食材を用いて簡単な調理ができるようにする。</p>	<p>★礼儀の大切さ、生命を大切にすることを、家族や郷土を愛する心など食育と関連の深い指導場面で、食事のあり方や食生活についてよりよい習慣を身につけていこうとする意欲を高める。</p>	<p>★地域の特色ある食材を使った郷土料理を調べたり、調べ学習を通して、地域の食材や料理に関心をもち、もてるようにする。</p>	<p>★給食 給食指導年間指導計画をもとに発達段階を踏まえ指導する。</p> <p>★学級活動 健康的な食事のとり方や衛生習慣に気をつけさせる。</p> <p>★学校行事 健康診断や身体測定を通して、自分の体について知らせる。</p>	<p>★給食運営協議会を5月に開催し、地産地消給食の充実と推進を図る。</p> <p>★親子給食会や学校保健委員会を通して、望ましい食生活への意識を家庭と共有する。</p> <p>★給食だよりや保健だより等を活用し、学校での取り組みや児童生徒の実態を伝え、協力を得るようにする。</p>		

15 環境教育の全体計画

【小】		教育目標		【中】	
よく考え みんなでなかよく		がんばる子		高い知性 豊かな心 強いからだ	
重点目標					
地域に学び、自立する子ども					
環境教育 指導の重点目標					
○五感を使った体験活動を通して、実践的態度を育てる。			○身近な環境や環境問題に関心をもたせ、問題解決に必要な理解および判断力を高める。 ○豊かな自然を守り、よりよい環境づくりを目指そうとする態度を育成する。		
目指す児童・生徒の姿					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
○生き物の育ちが分かり、かわいがり、大切にしようとする。 ○身の回りをきれいにしようと、自分から進んで行動する。	○身近な生き物を取り巻く環境への関心を高める。 ○動物や植物を大切に、責任をもって飼育や栽培をする。 ○みんなが気持ちよく生活するための環境を進んで作ろうとする。	○地域の環境にかかわり、さまざまな問題への関心を高める。 ○動植物の生命を尊重し、進んで飼育栽培をする。 ○学校や地域の環境をよくするために、自分に出来ることをしようとする。	○自然の素晴らしさに感動し、身近な自然環境に関心をもつことができる。 ○理科の自然観察や様々な学校行事、体験活動を通して自然に親しみ、自然もつかけがえのなさ、生命の尊さに気付く。	○地球規模の環境問題に関心をもつことができる。 ○総合的な学習や、海岸清掃などの学校行事を通して、ゴミや二酸化炭素、酸性雨などの問題が、地球規模の問題であることに気付く。	○自分および集団の責任と役割を自覚し、人類の将来に関心をもつことができる。 ○人類が抱えている様々な環境問題を、自分達の問題として捉え直し、実際の生活の中で、問題を解決していこうとする態度を養う。
具体的な実践事項					
植物の栽培		校内・校外の美化		自然体験	
小	中	小	中	小	中
○草花や野菜の栽培 ○米作り ○カンゾウ鉢上げ・定植活動	○緑の募金活動 ○椎茸栽培 ○緑化活動 ○カンゾウ鉢上げ・定植活動	○日常の清掃活動 ○環境整備に関する掲示物の掲載 ○期末大清掃 ○海岸清掃	○海岸清掃 ○当番活動 ○期末大清掃	○お花見会食 ○大謀網漁見学 ○たこさびき 等	○ジオパーククラブ ○海府地区ガイドボランティア活動 ○魚さばき体験 ○大謀網漁体験 ○たこさびき
各領域における指導内容					
各教科	○教科の学習内容と関連を図り、身近な自然や家庭生活に焦点をあてながら、自然への理解や見方を広げ、自然の強さや美しさを感じることができるようにする。		○環境についての学習を深め、自分の考えをもつ。 ○身近な自然に触れることにより、感受性を豊かにし、自然環境保全への理解を深める。 ○環境が私たちの健康と深く関わっていることに気付かせるとともに、環境美化の態度を育成する。 ○各教科でSDGsを扱える際は関連づけて指導する。		
道徳	○自然環境を大切にできる心、生命を尊重する心を育てる。 ○感動する心や自然への畏敬の念を育む。		○自然や生命への畏敬の念を高め、環境に対して責任ある言動をとろうとする意欲を高揚させる。 ○環境保全のために奉仕作業や活動に進んで参加しようとする心構えと実践力を身に付けさせる。		
総合的な学習の時間	○環境問題を理解する。 ○問題解決能力を高める。 ○環境保全の実践的態度を養う。		○海府地区ガイドボランティア活動やパンフレット作成で、環境についての知識を深めさせる。		
特別活動	○栽培活動やボランティア活動を通して、環境問題に対する実践力を養う。		○ボランティア活動等の体験的な活動を重視し、達成感を持たせるとともに、次の行動への意欲を欲せさせる。 ○「緑の少年団」の活動を有効に活用する。		
家庭地域との連携	○地域の自然や環境問題についての情報交換を密にする。 ○環境学習についての情報を、学校便り、学級通信などで知らせ啓発していく。 ○地域の素材を教材化し、地域や保護者の方を講師に招いて体験学習を進める。 ○カンゾウ定植活動を通して環境保全活動に地域・家庭で取り組むことを推奨する。				

16 学校保健教育の全体計画

【小】	教育目標	【中】			
よく考え みんなでなかよく	がんばる子	高い知性 豊かな心 強いからだ			
重点目標					
地域に学び、自立する子ども					
学校保健の重点目標					
○自分の生活を見直し、よりよい生活習慣を送ろうとする態度の育成 ○むし歯予防を意識した食後の歯磨きの定着					
目指す児童・生徒の姿					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
○元気アップ週間で親子で決めた目標を実行できる。 ○食後の歯磨きをしっかりと実施する習慣をつける。	○元気アップ週間で見つけた課題について改善しようとする。 ○食後の歯磨きをしっかりと行い、むし歯予防を意識した丁寧なブラッシングができる。	○健康の保持増進のために、生活リズムが大切であることが理解できる。 ○むし歯や歯肉炎の予防に必要な歯の磨き方や食生活に注意することができる。	○健康三原則（食事・運動・睡眠）を意識したよりよい生活リズムを意識することができる。 ○メディアコントロールができる。 ○自分の口腔内の状態を知り、むし歯や歯肉炎の予防に必要な歯の磨き方や、歯の健康についての自己管理ができる。		
具体的な実践事項					
小低学年	小中学年	小高学年	中1年	中2年	中3年
★元気アップ週間の設定（5・9・1月） ★歯と口の衛生週間（歯ッピー週間）の設定（6・11月） ★歯科衛生士による保健指導の実施（対象校の場合実施） ★PTA保健委員会の実施（9月） ★ヘルシー教室の実施（肥満対象者ありの場合実施）					
各領域における指導内容					
各教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	家庭地域との連携	
○保健体育 ・育ちゆく体とわたし（3, 4年） ・けがの防止、心の健康（5, 6年） ・健康と環境、傷害の防止（中学生） ○家庭科 ・食事の役割 ・体に必要な栄養素の種類と働き ・中学生の食生活と栄養（中学生）	★基本的な生活習慣を身につけようとする態度を育てる。	★自らの課題を見つけ、粘り強く取り組もうとする態度を育てる。	○学級活動 ★歯の保健指導 ★性に関する指導 ○学校行事 ★健康診断や身体測定を通して、自分の体について知らせる。 ○児童会・生徒会における活動	★定期健康診断の実施と治療の事後措置 ★PTA保健委員会を開催し、学校保健の推進を図る。 ★保健だより等を活用し、学校での取り組みや児童生徒の実態を伝え、協力を得るようにする。	

16 学校保健教育の年間指導計画

月	保健目標	学校保健関連行事	保 健 管 理	
			心 身 ・ 生 活	環 境
4	自分の体について知ろう	・ 定期健康診断（～6月） ・ お花見会食	・ 定期健康診断のための保健調査 ・ 定期健康診断の計画と実施 ・ 疾病異常者の生活指導及び治療勧告 ・ 手洗い・うがいの指導（通年） ・ 食中毒・感染症予防（通年） ・ 健康観察（通年） ・ 健康相談（通年） ・ 感染症サーベイランス入力（通年）	・ 日常清掃の計画と実施（通年） ・ 清掃用具の点検と整備 ・ 机、いすの適合と調整
5	体や衣服を清潔にしよう	・ 元気アップ週間 ・ 給食運営協議会 ・ フッ化物洗口（～3月）	・ ヘルシー教室の実施（～3月） （肥満対象者ありの場合実施） ・ フッ化物洗口の開始	
6	歯を大切にしよう	・ 歯ッピー週間 ・ 定期環境衛生検査	・ 水泳時の健康管理（～夏休み） ・ 熱中症予防（夏季期間）	・ 机・いすの管理状況検査 ・ 薬品管理状況検査 （保健室、理科室、校地及び校舎） ・ 学校給食の施設等及び衛生管理状況検査 ・ 教室の採光及び照明の検査 ・ 飲料水・雑用水・水泳プールの水質及び施設・設備の管理状況検査
7	夏を元気に過ごそう	・ 期末大清掃 ・ サザエごはん会食	・ 夏休み前の生活指導と健康管理 ・ 疾病異常者の治療勧告	・ 期末大清掃の計画と実施
8 9	生活リズムをとりもどそう	・ 身体測定 ・ 臨時の健康診断 ・ 元気アップ週間 ・ 親子給食会 ・ 学校PTA保健委員会	・ 夏休み後の健康管理 ・ 臨時の健康診断のための保健調査 ・ 臨時の健康診断の計画と実施	・ 机・いすの適合と調整
10	目を大切にしよう	・ 目の愛護週間 ・ 定期環境衛生検査		・ 教室等の換気状況調査 ・ 黒板面の色彩検査 ・ 学校給食の施設等及び衛生管理状況検査
11	よい姿勢を心がけよう	・ 歯ッピー週間		
12	かぜやインフルエンザを予防しよう	・ 期末大清掃	・ 感染症予防強化（冬季期間） ・ 冬休み前の生活指導と健康管理 ・ 疾病異常者の治療勧告	・ 暖房器具の点検と配置 ・ 暖房器具の管理（冬季期間） ・ 加湿器の配置 ・ 期末大清掃の計画と実施
1	かぜやインフルエンザを予防しよう	・ 身体測定 ・ 給食週間 ・ 生活リズムチェック週間 ・ 栄養士による食育指導	・ 冬休み後の健康管理	・ 机・いすの適合と調整
2	健康な心を育てよう	・ 定期環境衛生検査		・ 教室等の換気及び保温状況検査 ・ 学校給食の施設等及び衛生管理状況検査
3	健康生活の反省をしよう	・ 期末大清掃	・ 疾病異常者の治療勧告 ・ 今年度の反省 ・ 次年度の計画	・ 期末大清掃の計画と実施 ・ 今年度の反省

月	保 健 教 育					組 織 活 動
	保健学習			保 健 指 導		
	3. 4年	5. 6年	中学生	学級活動	個別・日常指導	
4			1年 心身の機能の発達と心の健康 2年 傷害の防止 喫煙・飲酒・薬物乱用防止 3年 健康と環境 感染症の防止	<ul style="list-style-type: none"> 保健室の利用の仕方 健康診断の目的・受け方 清掃の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断の受け方 健康診断後の生活指導 保健室の利用の仕方 トイレの使い方 手洗い・うがいの仕方 清掃の仕方 	・年間計画
5				<ul style="list-style-type: none"> 生活週間の見直しと改善 	<ul style="list-style-type: none"> 身体・衣服の清潔について 生活習慣の見直しと改善 	
6	<ul style="list-style-type: none"> 育ちゆく体とわたし(B) 健康な生活(B) 	<ul style="list-style-type: none"> 心の健康(A) 病気の予防(B) 		<ul style="list-style-type: none"> 歯の健康 プール授業の受け方 衣替え(中) 	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨き個別指導 	
7				<ul style="list-style-type: none"> 夏の健康管理 夏休み前の生活指導 	<ul style="list-style-type: none"> 夏の健康管理 夏休み前の生活指導 	
8				<ul style="list-style-type: none"> 夏休み後の健康管理 生活習慣の見直しと改善 	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み後の健康管理 運動後の汗の始末について 生活習慣の見直しと改善 	<ul style="list-style-type: none"> 小中合同学校PTA保健委員会の開催 親子給食会の開催 夏休みの健康状況把握
9						
10				<ul style="list-style-type: none"> 衣替え(中) 目の愛護週間 	<ul style="list-style-type: none"> 視力検査 	
11					<ul style="list-style-type: none"> 歯磨き個別指導 	<ul style="list-style-type: none"> 就学時健康診断への協力
12				<ul style="list-style-type: none"> 冬休み前の生活指導 	<ul style="list-style-type: none"> 冬休み前の生活指導 感染症の予防 歯みがき習慣の見直しと改善 	<ul style="list-style-type: none"> 冬休みの健康状況把握
1	<ul style="list-style-type: none"> 育ちゆく体とわたし(A) 健康な生活(B) 	<ul style="list-style-type: none"> けがの防止(A) 病気の予防(B) 		<ul style="list-style-type: none"> 冬休み後の健康管理 生活週間の見直しと改善 	<ul style="list-style-type: none"> 冬休み後の健康管理 生活習慣の見直しと改善 	
2				<ul style="list-style-type: none"> 栄養士による食育指導 性に関する指導(3学期) 		
3				<ul style="list-style-type: none"> 春休み前の生活指導 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の健康生活の反省 	<ul style="list-style-type: none"> 春休みの健康状況把握 学校保健計画の評価と次年度の計画 今年度のまとめと反省

学校安全計画(小学校)

項目		月	4月	5月	6月	7・8月	9月	
道徳			思いやり・親切	愛校心	生命尊重	勤労, 社会奉仕, 公共心	生活習慣, 思慮・反省, 節度・節制	
安全学習	生活		○通学路での安全	○学校探検での安全	○地域探検での安全	○虫探しでの安全		
	理科		○虫めがねの使い方 ○温度計の使い方	○顕微鏡の使い方	○地震による土地の変化	○野外観察の仕方		
	図工			○はさみ, カッター, 金槌, 釘, ベンチの使い方			○電動糸のこぎりの使い方	
	家庭			○ガスコンロの使い方 ○包丁とまな板の使い方	○針と糸の使い方		○ミシンの使い方	
	体育		○場や用具の安全		○けがの防止 ○水泳時の安全	○持久走時の安全		
	学級活動	低学年		○安全な避難の仕方を身に付ける ・避難訓練の仕方	○交通ルールや正しい横断歩道の歩き方を身に付ける。 ・道路の正しい歩き方	○プール使用のきまりや正しい使い方を知り, 安全な水泳授業ができるようにする。 ・プールのきまりと使い方	○規則正しく安全に夏休みを過ごせるようにする。 ・夏休みの計画	○全校での活動に必要な集団の規律や行動について考える。 ・秋の社会科見学に向けて
		中学年		○安全な避難の仕方を身に付ける ・避難訓練の仕方	○交通ルールや正しい横断歩道の歩き方を身に付ける。 ・道路の正しい歩き方 ・安全な登下校	○プール使用のきまりや正しい使い方を知り, 安全な水泳授業ができるようにする。 ・プールのきまりと使い方	○規則正しく安全に夏休みを過ごせるようにする。 ・夏休みの計画	○全校での活動に必要な集団の規律や行動について考える。 ・秋の社会科見学に向けて
		高学年		○安全な避難の仕方を身に付ける ・避難訓練の仕方	○交通ルールや正しい横断歩道の歩き方, 自転車の乗り方を身に付ける。	○プール使用のきまりや正しい使い方を知り, 安全な水泳授業ができるようにする。 ・プールのきまりと使い方	○規則正しく安全に夏休みを過ごせるようにする。 ・夏休みの計画	○全校での活動に必要な集団の規律や行動について考える。 ・秋の社会科見学に向けて
	児童会活動		・クラブ活動, 委員会活動, 地域子供会				・児童会夏祭り ・地域子供会	
	主な学校行事等		・入学式 ・進級式, 始業式 ・避難訓練(火災) ・交通安全教室 ・身体測定(視力・聴力) ・健康診断	・災害教育プログラム ・修学旅行	・歯科検診 ・プール清掃 ・水難事故防止・避難訓練		・地域運動会 ・身体測定 ・親善陸上大会(6年)	
安全管理	対人管理		・各地域の危険箇所確認 ・新学期通学班の確認 ・安全な通学の仕方			・「夏休みのよい子のくらし」の確認		
	対物管理		・学校環境の安全点検・整備 ・安全点検年間計画の確認	・学校環境の安全点検・整備	・学校環境の安全点検・整備 ・プール安全点検	・学校環境の安全点検・整備	・学校環境の安全点検・整備	
学校安全に関する組織活動			・春の交通安全運動街頭指導 ・スクールバス添乗指導				・秋の交通安全運動街頭指導 ・ときくさ体験航海(隔年)	

10月	11月	12月	1月	2月	3月
生命尊重	公徳心, 規則の尊重, 権利・義務	自由・責任	公平・公正, 正義	勤労, 社会奉仕, 公共心	生活習慣, 思慮・反省, 節度・節制
	○安全な道具の使い方				
○太陽観察時の注意		○お湯によるやけど防止 ○熱した後の金属に絶対に触れないように指導		○薬品の安全な使用	○観察中の安全
		○彫刻刀の使い方	○針金, ペンチの使い方		
○アイロンのかけ方	○ガスコンロの使い方 ○包丁とまな板の使い方				
		○器械運動時の安全			
○身の回りの安全について考える。 ・危険な場所 ・危険な道具	○安全な避難の仕方を身に付ける。 ・避難訓練の仕方	○楽しく安全に冬休みを過ごせるようにする。 ・冬休みの計画	○降雪時の安全な行動の仕方を身に付ける。 ・雪道での歩き方	○安全な避難の仕方を身に付ける。 ・避難訓練の仕方	○1年間のまとめと新学年に向けての準備をすることができる。 ・春休みの過ごし方
○身の回りの安全について考える。 ・危険な行動 ・危険な場所	○安全な避難の仕方を身に付ける。 ・避難訓練の仕方	○楽しく安全に冬休みを過ごせるようにする。 ・冬休みの計画	○降雪時の安全な行動の仕方を身に付ける。 ・雪道での歩き方	○安全な避難の仕方を身に付ける。 ・避難訓練の仕方	○1年間のまとめと新学年に向けての準備をすることができる。 ・春休みの過ごし方
○身の回りの安全について考える。 ・危険を避ける方法 ・身を守る方法	○安全な避難の仕方を身に付ける。 ・避難訓練の仕方	○楽しく安全に冬休みを過ごせるようにする。 ・冬休みの計画	○降雪時の安全な行動の仕方を身に付ける。 ・道路の状況と交通安全	○安全な避難の仕方を身に付ける。 ・避難訓練の仕方	○1年間のまとめと新学年に向けての準備をすることができる。 ・春休みの過ごし方
		・地域子供会			・地域子供会
・運動会	・避難訓練 (地震, 土砂保護者引渡) ・災害教育プログラム ・文化祭	・災害教育プログラム	・身体測定 ・避難訓練 (不審者対応)		・終業式
		・「冬休みのよい子のくらし」の確認	・積雪時の安全な行動の仕方		・「春休みのよい子のくらし」の確認
・学校環境の安全点検・整備	・学校環境の安全点検・整備 ・暖房器具の点検と設置	・学校環境の安全点検・整備	・学校環境の安全点検・整備	・学校環境の安全点検・整備	・学校環境の安全点検・整備
	・暖房器具の点検				

学校安全計画(中学校) 学級活動の欄 (◎・・・1 単位時間程度の指導 ●・・・短い時間の指導)

項目	月	4 月	5 月	6 月	7・8 月	9 月	
月の重点		安全な登下校をしよう	事故災害から身を守ろう	梅雨期を安全に過ごそう	健康と安全に気を付けよう	災害に備えた生活をしよう	
道徳		集団生活の向上	向上心	勤労の尊さ	秩序・規律	郷土愛	
安全学	社会	・世界と比べた日本の地域的特色(自然災害と防災への努力)					
	理科	・理科室の使用上の注意 ・実験時の危険防止とふさわしい服	・薬品やガラス器具の使い方 ・加熱器具の使い方		・薬品検査	・自主研究の実験上の注意 ・電気についての知識	
	美術	・美術室の使用上の注意	・備品の点検整備	・彫刻刀の正しい使い方	・ニードル等の道具の使用の注意 ・備品検査	・印刷機具の使い方	
	体育分野	・集団行動様式の徹底 ・施錠や用具の使い方	・自己の体力を知る ・集団行動と協力的な備品の点検整備 ・新体力テストの行い方測定方法	・陸上運動における用具の使い方と測定の仕方	・水泳の事故防止について	・長距離走の健康把握と体力にあったペース配分	
	保健分野	・心身の発達と心の健康(1年)	・傷害の防止(2年)		・生活行動・生活習慣と健康(3年)	・自然災害(全学年)	
	技術・家庭	・施設設備の使用上の注意 ・作業場所の確保と危険回避	・木材の性質と切断 ・発電の仕組みと各種発電方法	・工作加工機械や工具の安全や点検 ・直流、交流電源の特徴	・切断、切削加工時の安全 ・備品の点検整備	・かなづちの安全な利用	
		・実習室の使用上の注意と食についての一般的な注意	・ガスコンロの使い方 ・換気について	・調理実習における注意 ・日常食の調理	・備品の点検整備	・電気の安全な利用 ・食生活と健康	
	安全指導	第1 学年	●中学生になって ●通学路の確認 ●部活動での安全 ●自分でできる安全点検 ◎犯罪被害の防止や通報の仕方	◎災害時の安全な避難の仕方と日常の備え ●清掃方法を確認しよう ●市内大会と安全 ◎110番の家の確認	●雨天時の校舎内での過ごし方 ●校内での事故と安全な生活 ◎水泳、水の事故と安全	●落雷の危険や風水害 ●自分の健康チェック ◎夏休みの生活設計と安全(防犯)	●駅伝大会と安全 ◎地震の危険
		第2 学年	●通学路の確認 ●自分でできる安全点検 ◎犯罪被害の防止や通報の仕方	◎交通事故の防止を考えよう ●市内大会と安全 ◎110番の家の確認	●雨天時の校舎内での過ごし方 ◎水泳、水の事故と安全	●自分の健康チェック ◎夏休みの生活設計と安全(防犯)	◎地震の危険と避難 ●駅伝大会と安全
		第3 学年	◎犯罪被害の防止や通報の仕方 ●登下校の安全 ●自分でできる安全点検 ●修学旅行と安全	◎心の安定と事故 ◎110番の家の確認	◎水泳、水の事故と安全	●自分の健康チェック ◎夏休みの生活設計と安全(防犯)	◎地震の危険と避難 ●駅伝大会と安全
安全管理	生徒会活動	・生徒会オリエンテーション	・生徒総会 ・陸上大会激励会	・卓球大会激励会	・生徒会レク		
	主な学校行事等	・入学式 ・修学旅行 ・健康診断 ・春の交通安全運動 ・避難訓練(火災)	・体力テスト ・緑の少年団入団式 ・椎茸、菌打ち	・カンゾウWEEK	・海岸清掃	・秋の交通安全運動	
	部活動	・市陸上選手権大会	・市陸上大会 ・市体育大会	・地区陸上大会 ・地区大会	・通信陸上県大会 ・県総体	・市駅伝大会	
安全管理	対人管理	・通学方法の決定 ・安全に関するきまりの設定	・自分の安全について及びけがの予防	・校舎内での安全な過ごし方 ・プールにおける安全管理について	・自分でできる点検 ・救急体制の見直し ・夏季休中の部活動での安全と対応	・身体の安全及びけがの予防	
	対物管理	・通学路の確認 ・安全点検年間計画の確認(点検方法等研修含む)	・グラウンドなど校舎外の整備	・学校環境の安全点検及び整備(階段、廊下、プール)	・夏季休業前中の校舎内外の点検	・グラウンドなど校舎外の整備	
学校安全に関する組織活動	・春の交通安全運動期間の啓発活動 ・教職員の街頭指導 ・危機管理体制に関する管理職指導	・校外における生徒の安全行動把握、情報交換	・地域学校安全委員会(学校保健委員会) ・学区危険箇所点検 ・熱中症に関する管理職指導 ・心配蘇生法(AED)の研修	・地域パトロール ・学校が避難所になった場合の打合せ ・教職員防犯管理職指導(マニュアルの確認)	・国民防災の日(1日)の啓発 ・秋の交通安全運動の啓発と街頭指導		

10月	11月	12月	1月	2月	3月
交通法規を理解し守ろう	危険を予測し安全な生活をしよう	自ら健康を維持していこう	冬季における安全な生活をしよう	事故の原因について学ぼう	安全な生活ができるようにしよう
生命の尊重	家族愛	生きる喜び	人間愛	公德心・社会連帯	公正・公平
・大地の変化(火山活動と地震)(1年) ・電気器具の使い方	・力学関係の実験器具の使い方	・薬品検査 ・理科室と準備室の整備			・備品点検 ・薬品点検
・小型ナイフの使い方	・打ち出しの用具の使い方	・塗装の際の一般的な注意	・カッター、はさみ、コンパス等の使用上の注意	・絵の具、用具の保管、管理の指導	・教室での一般的諸注意 ・機具、用具点検
・器械運動の段階的な練習と適切な補助の仕方	・武道における用具の使い方、ルールやマナーの徹底	・球技における用具の使い方、ルールやマナーの徹底 ・ゲームの安全	・球技における用具の使い方、ルールやマナーの徹底 ・ゲームの安全	・球技における用具の使い方、ルールやマナーの徹底 ・ゲームの安全	・器具用具の点検 ・備品整理
・健康と環境(2年)			・健康と生活(3年)		
・塗装時の換気と火気 ・電気機器の安全対策			・工作機械の安全な利用 ・インターネットの利用と安全		・機具点検整備 ・備品検査
・ガスコンロの使い方 ・換気	・調理実習における注意 ・日常食の調理	・備品点検	・保育領域の一般的な注意	・電気の安全な利用 ・食生活と健康	・器具点検整備 ・備品検査
●文化祭の意義と安全 ◎交通法規の意義と安全	◎交通事故の加害と被害 ●登下校の安全	●冬休みの生活設計と安全 ●火器の注意 ◎災害への備えと協力(地域の一員として)	●自分の健康チェック ●地域の安全	●施設の安全な利用の仕方 ◎降雪時の安全 ●けがの発生状況とその防止	●1年間の反省
◎交通事故の原因と安全 ◎部活動の安全とリーダーの役割 ●競技大会について	◎交通事故の加害と被害 ●登下校の安全	●冬休みの生活設計と安全 ●火器の注意 ◎災害への備えと協力(地域の一員として)	●自分の健康チェック ●地域の安全	●けがの発生状況とその防止 ◎降雪時の安全	●1年間の反省
◎交通事故の原因と事故の特性(停止距離・内輪差等)	◎交通事故の責任と補償 ●登下校の安全	●冬休みの生活設計と安全 ●火器の注意 ◎災害への備えと協力(地域の一員として)	●自分の健康チェック ●冬のスポーツと安全 ●地域の安全	●けがの発生状況とその防止 ◎降雪時の安全	●教室環境の整備 修繕(奉仕活動)
・運動会準備	・文化祭準備	・生徒会レク		・生徒総会 ・三送会	
・運動会	・文化祭 ・避難訓練(地震・保護者引き渡し)	・寒ぶり大漁祭り	・書き初め大会 ・避難訓練(不審者) ・学習発表会	・心肺蘇生法 ・AEDの使用の仕方	・卒業式
・地区新人卓球大会				・全佐渡卓球選手権	
・文化祭の準備と安全 ・電気の正しい使い方	・避難時の約束について	・暖房設備の安全な使い方について	・通学路の見直し ・安全な登下校について	・施設設備等の安全な使い方について	・1年間の人的管理の評価(けがの状況等)
・安全点検整備(体育館)	・避難経路の確認 ・防火設備・用具の点検整備	・暖房設備の点検	・安全点検整備(通学路)	・学校備品の安全点検整備	・1年間の安全点検の評価
・学校安全(保健)委員会 ・中越地震に基づく防災の啓発活動 ・校内の点検	・冬季の通学路点検	・地域防災訓練の啓発 ・年末年始の交通安全運動の啓発	・応急手当と緊急時校内連絡体制	・学校安全(保健)委員会	・地域交通安全パトロール

教育目標	小学校 よく考え みんなでなかよく がんばる子
	中学校 豊かな心と強いからだ 高い知性とたくましい実践

重点目標	誰とでも分け隔てなくかかわり、つながろうとする子ども
-------------	----------------------------

管理事務部の基本目標	教育目標達成に向けて、教育活動が効果的・効率的に展開されるよう、全職員と協働して学校事務全般にわたって迅速・適正・円滑な運営に努める。
-------------------	---

基本運営方針	<ol style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒が充実した学校生活を送れるように、教育環境の整備及び充実に努める。 (2) 管理事務部の各業務を把握し、連携を図りながら事務の効率化を目指す。 (3) 学校預り金も含め、全ての学校予算について正確で効率的な事務処理を行う。 (4) 学校事務共同実施での取組を反映し適切かつ円滑な事務処理の遂行に努める。
---------------	--

月別業務計画と活動の重点努力事項	(略)
-------------------------	-----

重点取組事項と具体的方策	
サービス関係諸帳簿の整理	出勤簿、休暇簿、旅行命令簿の記入の原則に則した(事前申告・事後報告)円滑な処理を行う。
学籍・教科書事務の効率化	各種手引き(転出入事務の手引き、教科用図書事務マニュアル等)を活用促進する。
教育物品保管場所の明確化	年間1回教育物品の整理を行い、保管場所を明確にする。
校内文書規定の整備	「佐渡市立学校文書取扱規程」に即した校内文書規定を整備し、年間1回作業時間を設け、保存廃棄の徹底を図る。

共同実施での取組
<ul style="list-style-type: none"> ・事務の相互確認、共同処理により正確・迅速な事務処理を行い、学校格差のない精度の高い学校事務を目指す。 ・学校事務改善室で作成した会計ソフトや各種マニュアル(学校預り金や転出入事務処理、出席簿等)を活用し、事務の効率化、平準化を図る。 ・学校間連携の事務の拠点として、学校間の連絡調整、情報発信などを行い、グループ内の各種点検で生じた疑問や改善点等の情報提供、情報交換に努める。

評価	・学校運営評価を行い、次年度以降の管理事務部の処理体制やさらなる効率化を推進する。
-----------	---

V 校内研修計画

I 研究主題

児童生徒が意欲的に学ぶことができる授業づくり
 ～自ら課題を見つけたり、活動を振り返ったりする工夫を通して～

II 主題設定の理由

○今日の教育課題から

これからの社会は、グローバル化の進展、絶え間ない技術革新等により変化の激しい予測困難な時代になるといわれている。そのような時代をこれから生きていくこととなる児童生徒は、困難な状況に自ら立ち向かい、自分で、もしくは他者と協働して課題を解決していくことが求められている。

文部科学省は教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力の三つの柱を『生きて働く「知識・技能」の習得』『「思考力・判断力・表現力等」の育成』『「学びに向かう力・人間性等」の涵養』としてしている。そして、その育成のために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っていくことを求めている。

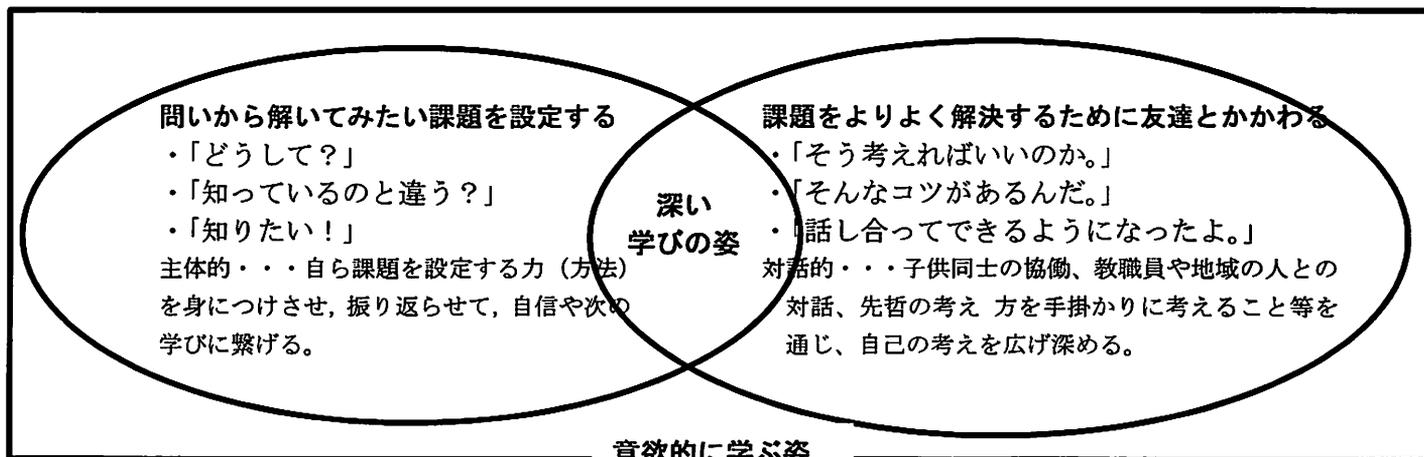
○本校の実態

内海府小・中学校は、1つの学年の人数が1～4人という極小規模の学校である。極小規模であるため教師の支援が手厚く、児童生徒が受け身になってしまっているという職員の危機感が長年あった。また、少人数のため多様な発想が引き出しにくく、問いや願いが生まれにくい。

また、自校の実態から経験年数の少ない教員が多く、授業づくりで戸惑うことが多く、学力向上に繋がりにくい。そのため、オーソドックスな授業スタイルの習得が急務である。

○目指す児童生徒の姿

上記のような、社会的な背景、児童生徒の実態を受けて、当校の児童生徒に必要な資質・能力は「意欲的に学習に取り組む力」、そして、「他者とかかわり合いながら解決する力」だと考えた。そのような力を身に付けられるような授業づくりを続けていくことで、児童生徒が必要感や学習の面白みを感じ学習することができるだろうと考える。児童生徒が個々に感じた困り感を仲間とかかわり合い、解決していくことで、児童生徒が意欲的に学ぶ授業を目指していく。



令和5年度は、遠隔授業を積極的に取り入れていくことに加え、本校の児童生徒の実態をふまえ、児童生徒の追求意欲を高める問題提示に取り組んだ。児童生徒の「あれ？」「～たい！」を引き出す発問を行うことは、児童生徒が主体的に課題を設定することが有効であることが分かった。また、他者との関わり合う場を、ICTを用いた他校との遠隔授業によって設定することで、より多くの考えにふれ、課題解決することができた。昨年度までの成果や課題から、今年度も、継続して、アプリやクラウドを有効活用した授業づくりを進め、他者の考えを参考に自分の意見を深め、学ぶことの楽しさや自信を感じさせていきたい。

Ⅲ 研究の内容と方法

1 実態把握を通して、取組の有効性を図る

NR T結果の分析や全国学力・学習状況調査、Web 配信テスト等の結果、日々の見取りをもとに、学年や教科ごとに実態を把握し、授業を構想する。

また、少人数の利点を生かし、日々の見取りから児童生徒一人一人の実態に応じた手立ての有効性を検証していく。

2 研究授業

(1) 目指す児童生徒の姿に迫る授業づくりの手立て

・学習指導要領にある授業構成の理解を深め、主体的に学ぶ指導案を作成、実践する

児童生徒が意欲的に学習を進めるためには学びの楽しさの実感が大切であると考え、学習に関して、面白さがないと児童生徒は主体的に学習に取り組むことができない。どのような面白さをもたせるか、以下の手立てを考えている。

- ① 児童生徒の既習知識の定着
- ② 児童生徒が学びたいと思う課題を設定させる導入の工夫
- ③ 達成感を味わう学習課題の設定

上記のような手立てを実施し、疑問や自分との認識のズレを生んでいきたい。その際に生まれる児童生徒のつぶやきを教師側が見逃さず、拾い上げて課題につなげることで児童生徒が意欲を高め、必要感をもって学習に取り組める学習課題を目指していく。児童生徒の興味をもつ部分もそれぞれなので、その部分に着目し、個別最適化な学習を通して、良いところを伸ばし児童生徒の自己有用感を高めていく。

また、その時間、その単元において、子ども自身が何を学んだかを実感することが大切であり、そのことが次の学びにつながる。継続的な振り返り活動を続けていくことで、児童生徒に自己の変容を理解させ、学習の意欲を高めていきたい。

そのために、アンケート等とは別に、日々の授業の中で、児童生徒の姿を見取り、どのような問いに興味をもちやすいか教師側が把握できるように努めていく。そして、その実態把握を通して、発問後の児童生徒の反応を予測し、問い返し等を想定することでより主体的な学習を目指していく。

・かかわり合う場の設定

学ぶ意欲が高まった児童生徒に対し、他者とかかわり合う場の設定をすることで、より対話が活発になると考える。

本校の目指す児童生徒の対話の姿は以下のものである。

- 互いの考えを伝え合い、互いの考えのズレを認識している姿
- ズレの背景を探ろうとする姿
- ズレを埋めようとする姿

このような姿を生み、仲間の主張を受け止めながら聴くことで、感じたズレを乗り越え、新しい考え方や価値観を見いだすことをねらう。そのためには、児童生徒同士の考え方にズレがあったり、互いの価値観を受け入れようとする姿勢があったりすることが必要となる。そのための手立てとして以下のものを考えている。

- 対話するための時間と場の設定
- 思考の視覚化
- 児童生徒同士で考えを聴き合い、認め合う支持的な人間関係

これらの手立ての有効性を探り、児童生徒がかかわり合いながら学んでいくことを目指していく。また、本校にとって、かかわり合う場の設定の中核となるのが、遠隔授業である。本校は極小規模校であるため、本校児童生徒だけでは、考えの広がりに限界がある。他校の児童生徒とのかかわりの機会をつくることで、より多様な考えにふれ、自分の考えを広げ、対話的な活動をするよさを感じさせていきたい。

(2) 研究授業の実施について

小学校、中学校の全教員が1回以上研究授業を実施する。(小学校は教科の指定はなし。中学校は専

門教科。) 指導案検討会・授業参観・協議会も全教員で行う。指導案検討会では、授業者が指導案を作成し、ねらいを達成するための検討を小中の職員で行う。協議会では以下の点について協議する。

授業参観では、協議題「本時の〇〇〇〇(児童生徒が意欲的に学習を進めることができる工夫)は、児童生徒がつぶやき、必要感をもって主体的に学習をするのに効果的であったか」、本時の□□□□(かわり合う場の設定について)は、児童生徒がそれぞれの思いを伝え合い、対話的に学習をするのに効果的であったか。」を意識して参観する。協議題の内容について、子どもの事実(振り返りを含む)で検証する。

また、研究授業を行う前に、講師を呼び、授業の作り方や発問の仕方などの授業づくりについてのご指導を受ける。

(3) 研究授業の流れ

大研 (小・中で1回)	小研 (1人1回)
<p>指導案作成 (指導案検討会までに校長先生へ提出し、ご指導いただく。)</p> <p>↓</p> <p>指導案検討会 (研究授業の10日前までに実施)</p> <p>↓</p> <p>研究授業・協議会 (授業前日までに指導案を配布)</p>	
※検討会・授業参観・協議会を小・中全教員で行う。	※検討会・授業参観・協議会は、小・中それぞれの全教員が参加する。

3 日々の授業での取組

以下の取り組みを「内海府小・中授業スタンダード」とし、小・中職員で意識していく。

(1) 児童生徒が学びの楽しさを実感できる授業

児童生徒が主体的に学習を進めるためには学びの楽しさを実感できることが大切だと考える。学習に関して、学びの楽しさが実感できないと児童生徒は主体的に学習に取り組むことができない。そのために、導入を工夫し、疑問や自分との認識のズレを生んでいきたい。その際の児童生徒からつぶやきがあると考える。そのつぶやきを教師側が見逃さず、拾い上げて課題につなげることで児童生徒が意欲を高め、学びの楽しさを実感し、学習に取り組める学習課題を目指していく。

(2) 振り返り活動の充実

その時間、その単元において、児童生徒自身が何を学んだかを実感することが大切であり、そのことが、次の学びの意欲につながる。だから、単元の中で学習前の状態を知るために診断的評価を行い、既習の知識を整理させる。その後、学習の中で振り返りを続けていき、自己の変容に気づき学習意欲を高めていく。

(3) 聴き合える関係づくり

児童生徒が、素直に思いを表出するためには伝え方のスキルだけではなく、聴き合える関係も重要となる。「自分の考えを聴いてもらえる」と感じていなければ、自分の考えを話したいと感じることはないだろう。本校の児童生徒は学力差があったり、解決への見通しがすぐにもてる子、もてない子がいたりする等の現状がある。そのような児童生徒に、「うなずく、首をかしげる等の反応をしながら聴くこと」「分からないことはもう一度聴き直したり、質問したりすること」等の聴くスキルを指導し、聴き合える関係づくりを行うことで、他者と学ぶ素地を育てていきたい。そして、他者と学び解決する喜びを感じさせていく。

(4) 単元を意識した授業

新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の充実には単元など数コマ程度の授業のまとまりの中で、習得・活用・探究のバランスを工夫するカリキュラム・マネジメントが求められている。主体的に学習に取り組ませる手立てが研究授業の1単位時間だけでなく、単元を通じて実践できるようにする。また、単元を貫く課題を設定し、見通しをもって学習に取り組ませていきたい。

(5) 小中交流

以下の取組を通じて、小学校、中学校相互の児童生徒理解を深める。

- ① 小中合同で年間1回、代表者が大研を行い、指導案検討・授業参観・協議会を行う。
- ② 必要に応じて、相互に授業や課外活動を連携して行う。
- ③ 個々の課題や改善点を共有する。(クラウド等を用いる。)

(6) 他校との交流

teamsを用いて、他校との遠隔授業を実施する。本校外の児童生徒と画面越しに関わることで、対話的に学習をする機会と必要性をもたせる。

また、実際に他校に出向いて学習内容を発表したり、交流に参加したりする場についても、検討をしていく。

IV 研修計画案

	月	日	研究授業	その他の研修
・各教科の授業構成を理解する。 ・指導案の書き方をマスターする。	5		一人一授業の取り組みを行う。日程が決まり次第、記入する。 授業内容、時期等の決定締め切り(8/23まで)	
	6			
	7			○非違行為研修, 体罰研修 ○学校評価…アンケートの実施
・授業公開(八月九月) ↓自己の課題を見つける	8			○人権教育・同和教育研修 →オンライン研修, 道徳指導案の作成等 ○児童生徒理解研修 ○道徳授業研修 ○学校評価…1学期の反省と2学期の取組確認
	9			
	10			
	11			
	12			・学校評価…アンケートの実施 ○人権教育・同和教育研修 ○非違行為研修 ○特別支援研修
・改善策の実践	1			○学校評価…2学期の反省と3学期の取組確認
	2		※校長が、改善策の妥当性や修正点を評価する。指導案は不要。	○職員研修の成果と課題の共通理解 ・年間指導計画の見直し ・来年度の指導の重点
	3			○NRT 分析

指導案の形式（小研）

第〇学年 〇〇科 学習指導案

令和5年〇月〇日〇校時
 授業者 〇〇 〇〇

1. 単元名

2. 本時のねらい

3. 本時の授業（〇時間目/全〇時間）

	○学習活動	・留意点 ☆評価規準 ○ 指導に生かす評価 ● 記録に残す評価
導入	問題提示	
展開	本時の学習課題 学習活動 ・B・C評価基準の言動を記述する。	☆B・C 評価基準となった子への手立てを記述する。
	本時のまとめ 振り返り	
終末		

4 板書計画 ※子どもにとって思考の流れが分かりやすく、自力解決のヒントとなるように板書する。

指導案の形式（大研）

第〇学年 〇〇科 学習指導案

令和5年〇月〇日〇校時
授業者 〇〇 〇〇

1 単元（題材）名

2 単元の目標

(1)

(2)

(3)

単元において身に付けさせたい資質・能力を明確化する。

「知識及び技能」

「思考力、判断力、表現力等」

「学びに向かう力、人間性等」

3 単元について

(1) 児童（生徒）について

児童の実態を記入する。（これまでの学習経験や様子、身に付いている技能等。）

(2) 教材について

他単元や他学年とのつながり等、本単元の系統性や特徴、価値を示す。

(3) 指導について

4 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

5 単元の指導計画

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価

6 本時の授業 (○時間目/全○時間)

本時のねらい 例・□□について、～を通して、○○させる。

	○学習活動	・留意点 ☆評価規準 ○ 指導に生かす評価 ● 記録に残す評価
導入	問題提示	
展開	本時の学習課題	
	学習活動 ・B・C評価基準の言動を記述する。	☆B・C評価基準となった子への手立てを記述する。
終末	本時のまとめ	
	振り返り	

7 板書計画 ※子どもにとって思考の流れが分かりやすく、自力解決のヒントとなるように板書する。

「記録に残す評価」と「指導に生かす評価」を意識してください。

＜指導に生かす評価＞

個に応じた指導や授業改善等に生かすことを目的とした評価

学習内容を確実に習得できるようにするために、単元を通して適切に行うことが大切。児童生徒が何ができているのかを具体的に想定しておく必要がある。また、「努力を要する」(C)状況の児童生徒に対する指導の手立てを計画しておきましょう。

＜記録に残す評価＞

各教科等の目標の達成状況を把握することを目的とした評価

〔知識・技能〕単元末におけるテストのみで評価するのではなく、毎時間の机間指導、ノート記述、適用問題からの情報も得ながら評価の妥当性を確保する。実態によって数値的な規準を設け、評価を進める。

〔思考・判断・表現〕単元末ペーパーテストだけで「A」評価を見極めることは難しい。あくまで授業中の問題発見や解決の過程において記録された情報をもとに評価することが望ましい。

〔主体的に学習に取り組む態度〕単元前半から後半にかけて高まることが考えられる。チェックリストや座席表などを用意し児童生徒の反応を書き込めるようにしておく。

「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」の関係 評価の補完

- ・それぞれの時間のねらいに照らしながら、ある観点について重点的に評価したり、補充的に評価したりすることが重要である。
- ・児童生徒の状況が、指導を進めるにつれて変化していく様子を捉えることも重要である。

VI 学校防護計画

VI 学校防護計画

1 学校防護

(1) 目的

- ① 校舎および付属施設の正常な維持管理を図り、安全な環境をつくる。
- ② 非常事態に対しては、児童・生徒の生命保全を最優先とする。

(2) 方針

- ① 全職員は、危機管理マニュアルをもとに災害から常に児童・生徒の生命保全を保持し、かつ学校施設および設備を防護するために、平素から学級児童・生徒の安全指導・訓練および設備を防護するために、安全指導・訓練および担当区域、個人情報管理、器材等の整備保管に留意する。
- ② 防災教育および避難訓練を実施し、防災体制を確立する。

(3) 予防対策

① 平常時の点検について

- ア：施錠・戸締まり・・・各室管理責任者
 - イ：火気取り扱い・・・同上
 - ウ：管理器具類・・・各係主任
 - エ：非常口・・・防護係
- ※ 日番は、上記アからエを点検する。

② 点検

- ア：定期点検日を原則毎月1日とする。（祝日・休日の場合は、翌日）
- イ：点検者・・・全職員が分担をして行う。
- ウ：点検箇所・・・①のアからエに以下のものを加える。
火災報知器、警報設備、消火器・消火栓、遊具

2 令和6年度避難訓練実施計画

学期	実施月	設定	避難場所
1学期	4月	○学習時：火事	グラウンド
2学期	11月	○休み時間：地震、引き渡し（隔年で行うのが望ましい） ※前回の引き渡し訓練はR4年度に実施。	グラウンド
3学期	1月	○学習時：不審者	体育館

3 避難

(1) 火災発生の場合

- ア：通報（非常通報・状況説明・避難命令）
- イ：誘導避難

【学習時の避難基本行動】

- ① 火災内容の把握
- ② 通報内容の把握
- ③ 人員の把握
- ④ 退出前の防火措置
- ⑤ 退避行動の指示
- ⑥ 退避場所での人員把握
- ⑦ 人員を本部に報告
- ⑧ 本部の指示を待つ
- ⑨ 第二避難場所への誘導
- ⑩ 保護者への引き渡し、送り届け
- ⑪ 完了報告

【休憩時の避難基本行動】

- ① 火災内容の把握
- ② 通報内容の把握
- ③ 校庭児童・生徒の把握誘導
- ④ トイレ使用中の児童・生徒の把握誘導
- ⑤ 教室残留児童・生徒の把握誘導
- ⑥ 教室防火措置
- ⑦ 退避場所での人員確認
- ⑧ 人員を本部に報告
- ⑨ 本部の指示を待つ
- ⑩ 第二避難場所への誘導
- ⑪ 保護者への引き渡し、送り届け
- ⑫ 完了報告

ウ：各係

- 本部…小中校長
- 救護…学校保健師
- 誘導…各学級担任
- 消火…安全担当・庁務員
- 搬出…中教務主任
- 児童・生徒管理…各学級担任

(2) 地震発生の場合

- ア：授業者の判断により、机の下等に隠れるように指示し、頭部を保護する。
火気の始末をし、児童・生徒を校庭に避難させる。
 - イ：津波の可能性を考慮し、危険のある時は下校させない。
 - ウ：土砂崩れ時の可能性を考慮し、危険のある間は2次避難をする。
- ※ 避難時の係は、火災発生時と同じ。

(3) 不審者侵入の場合

- ア：指示をよく聞いて避難する。
(侵入者を刺激する場合があるので放送をしない場合がある。)
- イ：けが人などがあつた時は職員にすぐに知らせる。
- ウ：体育館に避難後、必要に応じて海府分遣所へ避難する。

(4) 津波襲来の場合

- ア：津波予報に注意させる。
- イ：原則として帰宅させない。

(5) 風水害・吹雪発生の場合

- ア：発生前の予報に注意し、必要に応じ集団下校させる。
- イ：校内においては、火気の点検・戸締まり・施錠に注意する。
- ウ：風圧に弱い部分の補強をし、場合により撤去する。

(6) 雪害

- ア：校舎等の通路・非常口・用水口を確保するために常に除雪を行う。
- イ：屋根下、その他落雪の危険のある箇所などを具体的に明示して指導する。
- ウ：校舎等の建物の点検を行い、積雪による破損がないよう適切な措置を講ずる。

(7) その他

- ア：交通事故警報・火災警報の場合は、校長の指示に従い適切な措置をとる。
- イ：弾道ミサイル発射の場合は、校長の指示に従い適切な措置をとる。
- ウ：原子力災害が発生した場合は、状況によって避難対応が変わるため、県市町村からの正確な情報に基づき、校長の指示に従い適切な避難、措置をとる。
- エ：避難訓練後の児童生徒の保護者引渡しの訓練を2学期内の訓練時に実施する。

4 休憩時に災害が発生した場合の児童・生徒の誘導

- 休憩時災害が発生した場合、すぐに各担当場所に行き、児童・生徒の誘導ならび、逃げ遅れた児童・生徒の確認・救出を行う。
- 確認後、必要に応じて窓やシャッターを閉める。

5 安全点検の全体計画

(1) 学校安全の点検

全職員は、校舎および附属施設の正常な維持管理をはかり、安全な環境を保持するために、毎月定められた日に安全点検を行う。

(2) 点検者

全職員が分担して点検する。

(3) 点検の報告

職員は、分担箇所を点検し、『学校安全点検簿』に記入する。
記入後、安全担当職員に提出し、校長へ報告する。

(4) その他

- プール清掃時にプールの安全点検をする。
- 11月に暖房器具の点検をする。

VII 学校の概要

Ⅶ 学校の概要

1 沿革史

(1) 内海府小学校の沿革

- 明治 9年 第9中学区公立第8小学白瀬校附属小学校として開校する。
明治 18年 虫崎分校場を開校する。この前後に黒姫分校場が開校する。
明治の中頃に北小浦分校場が阿弥陀堂で開設される。
- 明治 25年 加茂郡内海府村立内海府小学校と改称する。
明治 26年 藻浦分教場を設ける。
明治 27年 見立分教場を設ける。
明治 44年 本校を現在地に移転し、新築する。
昭和 2年 内海府村立尋常高等小学校として認可される。
昭和 16年 佐渡郡内海府村立内海府国民学校と改称する。
昭和 19年 本校、体育館を新築する。
昭和 22年 佐渡郡内海府村立内海府小学校と改称する。
昭和 28年 北小浦分校、教室立て替え工事を完了する。
昭和 29年 両津市立内海府小学校と改称する。
昭和 32年 虫崎分校、現在地に改築工事着工。翌年竣工。
昭和 34年 本校、完全給食を開始する。
昭和 38年 本校、校舎落成式を挙げる。
昭和 40年 本校、給食室完成。食堂開きを行う。
昭和 44年 見立冬季分校を廃止する。
昭和 46年 藻浦冬季分校を廃止する。
昭和 47年 鼓笛隊が結成される。
昭和 51年 内海府小学校百年祭が行われる。校歌制定。
昭和 57年 黒姫分校が廃校となり学区変更で児童は浦川小学校へ通う。
昭和 58年 虫崎分校、北小浦分校が廃校になり本校に統合される。
さらに北鶴島小学校・同願分校が閉校になり、本校に統合される。
- 昭和 59年 児童玄関、体育用具室の一部が改築される。
昭和 60年 校舎特別教室の窓が改修される。
昭和 61年 内海府小学校110周年式典が行われる。
昭和 62年 便所が、水洗式に改修される。
昭和 63年 旧便所が、物置に改修される。
- 平成 2年 音楽室、給食室が改修される。体育館が改築竣工される。
新ランチルームの内装工事がされる。
平成 3年 普通教室・廊下の掲示板が改修される。
用務員室の窓がアルミサッシとなる。
- 平成 4年 通学路脇排水路が改修される。児童玄関前が舗装される。
平成 5年 一階廊下・非常口の窓がアルミサッシとなる。
- 平成 6年 両津市へき地・複式研究発表会を開催する。
グラウンドに国旗掲揚塔が新設される。
内海府小・中学校プールが完成する。
- 平成 7年 交通安全優良校として表彰される。
平成 8年 海府地区交通安全フェアが開催される。
創立120周年記念事業・記念式典が実施・挙行される。
記念ステンドグラス製作新潟日報夕刊で全県に紹介される。
- 平成 9年 県学校環境衛生活動努力賞を受賞する。
平成 10年 FAXが設置される。物置の屋根修理工事が行われる。
平成 11年 両津市へき地・複式研究発表会を開催する。
「明るい選挙啓発おまかせコンクール」で本間健(5年)さんが文部大臣・自治大臣賞を受賞する。
- 平成 12年 グラウンドに遊具(ブランコ・うんてい・鉄棒)が設置される。
新しいコンピュータが入る。(コンピュータ室7台、教務室1台)
平成 13年 コンピュータにホームページが開設される。
- 平成 14年 図書室にたたみ6畳が入る。
平成 15年 全教室に網戸が設置される。
佐渡市立内海府小学校と改称する。
- 平成 16年 児童玄関・職員玄関に新しい水銀灯が設置される。
平成 17年 職員玄関がサッシになる。
第10回県環境賞を受賞する。
- 平成 18年 コンピュータ入れ替え。(コンピュータ室14台、教務室2台)
第13回コカ・コーラ環境教育賞を受賞する。
新潟県へき地・複式教育研究大会佐渡大会を開催する。
創立130周年記念事業・記念式典が実施・挙行される。記念事業として親子共同制作作品「ステンド画～四季」が児童玄関に設置される。タイムカプセル封印(開封日2016年8月14日)。
- 平成 19年 グラウンド内一部暗渠工事。
体育館に網戸が設置される。
- 平成 20年 内海府小・中連携校の校舎基本設計が整う。
平成 21年 内海府小・中連携校の平面図(計画案)完成。
平成 22年 (H23年2月19日)内海府小・中連携校安全祈願祭が行われる。
平成 23年 (H24年3月2日)木造校舎お別れ式が行われる。
平成 24年 4月 内海府小学校・中学校が新校舎でスタート。
7月 内海府小中学校 校舎竣工記念式典が挙行される。
- 平成 26年 グラウンドにすべり台を設置
5月 佐渡市防災倉庫設置
11月 佐渡市小学校複式学習指導研究会を開催する。
- 平成 27年 4月 校舎裏出入口・相談室外壁2カ所に外灯設置
9月 校舎1階廊下網戸設置
- 平成 28年 2月 児童数の減少に伴い、マーチングを休止し太鼓を始める。
指導・作曲：鼓童 名誉団員 山口幹文氏
9月 創立140周年記念事業・記念式典が実施・挙行される。

平成31年	2月	学校名 校舎取付
	4月	学校運営協議会制度導入
令和元年	8月	学習室1と2つの教室にエアコン設置
令和2年	4月	25日～5月10日まで新型コロナウイルス感染防止のため臨時休業
	11月	「第51回県ジュニア美術展覧会」4年 辻直生さん 特賞を受賞
	2月	各教室・特別教室・廊下に遮熱カーテン設置 「佐渡海府はんがかると」発刊
令和3年	3月	GIGAスクール事業実施のため、電子黒板とタブレット端末を導入
	9月	内海府カンゾウ太鼓の曲をリニューアルし、演奏時間を長くする。
	9月	離島留学生 小川 弥恵さん(小5)新潟市立赤塚小学校より転入
	12月	体育館男女トイレ手洗い場が自動水栓となる
令和4年	4月	離島留学生 佐藤 太斐さん(小3)世田谷区立桜小学校より転入
	4月	5日～10日まで新型コロナウイルス感染防止のため臨時休業
令和5年	4月	離島留学生 樋宮 種羽菜さん(小6)五泉市立大蒲原小学校より転入

(2) 内海府中学校の沿革

昭和

- 22.5 内海府村立内海府中学校として、本校(鷲崎)・分校(北小浦, 虫崎, 黒姫)で創設され、
村立内海府小学校に併設 創立記念日を5月15日と制定
- 28 北小浦分校校舎新築
- 29 黒姫分校校舎新築
- 9 本校校舎新築
- 11 町村合併により両津市立内海府中学校と改称
- 30.1.18 校章制定
- 11 校歌制定
- 32.11 町村合併により外海府中学校北鶴島分校を内海府中学校北鶴島分校に改称
- 37.4 校区変更により黒姫分校は北中学校に吸収合併
- 42.11 校旗樹立
- 43.3 北鶴島分校校舎新築, 本校特別教室棟完成
- 44.5 グラウンド拡張
- 48.3 第20次新潟県教育委員会研究推進校に委嘱される
- 50.4 北小浦分校・虫崎分校合同授業(週5日実施)
- 11 登校道路完全舗装
- 52.6 校地測定作業
- 55.10 佐渡地区学習指導研究会開催
- 56.4 「緑の少年団」結成
- 58.3 虫崎・北小浦・北鶴島分校を閉校し, 本校に統合。
分校跡地に記念碑樹立(県下中学校最後の分校教育の幕を閉じる)
- 4 スクールバス運転開始
- 59.11.25 体育館増改築完工 海府太鼓結成
- 60.1.28 体育館開き(具志堅幸司選手ら模範演技公開)
- 61.1 校舎増改築完成
- 2・14 竣工式, 竣工記念祝賀会
- 3・20 国旗掲揚塔完成
- 3・27 校庭花壇完成
- 5・21 緑の少年団「実習林」作業
- 62.8.8 前庭舗装
- 63.2.17 緑の少年団の活動で「美化活動模範校」として県知事表彰
- 3 給食室天井塗装完了
- 5.17 緑の少年団, 造林功労で新潟県国土緑化推進委員長より表彰

平成

- 1.10.22 同窓会, P T A, 中庭を新設
- 12.20 小・中P T A連絡協議会でプール新設に対する取り組みを決定する
- 2.7.16 小・中P T A連絡協議会でプール新設に対する陳情を市長・教育長に行う
- 10.18 全国特別活動研究会において海府太鼓の演技を披露する
- 3.8.31 改装工事 給食室内装完了
- 4.10.2 コンピュータ6台設置
- 5.8.19 プール工事着工
- 12.22 プール工事完了
- 6.7.3 プール竣工式・祝賀会実施
- 7.3.2 旧校舎屋根補修工事完了
- 8.5.27 仮設直線走路完成, 長さ80m, 巾4m
- 9.5 グラウンド改修事業着工
- 11.15 創立50周年記念式典・祝賀会
- 10.3.13 グラウンド開き前日祭(岩原正樹選手来校)
- 3・14 グラウンド開き・祝賀会
- 12.11.2 コンピュータ設置工事完了(コンピュータ室10台, 教務室1台)
- 13.10.1 情報活用能力(「総合的な学習の時間」の試行)
- 10.19 両津市小中学校ホームページ開設式典 本校にて
- 10.20 第1回緑の百年物語フェスティバル兼第9回佐渡地方植樹祭, 司会, 植樹の補助
緑の募金により, にいがた緑の百年物語緑化推進委員会表彰
- 14.6.27 海岸清掃・ニツ亀 両津海上保安署と漂着物調査
- 7.20 両津海上保安署より海岸清掃表彰を受ける
- 10.18 P T A奉仕作業(テニスコート脇斜面足止め設置等)
- 15.12.11 「カンゾウ保護の歩み」発表会
海府観光協会会長北澤博満さんの発表を地域の方とともに視聴
- 16.3.1 市町村合併により, 一島一市となり, 佐渡市立内海府中学校に名称変更
- 16.4.1 未来を拓く佐渡のひとづくり支援事業 開始
- 4.23 中越地震発生 佐渡でも震度4の揺れ
- 4.12 全県統一学力調査 第1回(～13)
- 17.4.1 未来を拓く佐渡のひとづくり支援事業 2年次

- 8.26 新潟県環境賞受賞
- 10.1 県環境フェアで環境賞受賞活動の発表(於 豊栄 福島潟)
- 12.12 東北電力作文コンクール表彰式(於 朱鷺メッセ)
優秀賞受賞 1年 竹森早希 同時に学校賞受賞
新潟県よい歯の学校 優良校受賞
- 18.4.12 地域環境美化功績者表彰 環境大臣表彰
東京半蔵門での表彰式に、校長、緑の少年団長(増家由佑子)出席
- 4.20 3年生5名、校長とともに市長へ環境大臣表彰の受賞報告
- 4.23 第9回両津甚句全国大会アトラクションで「海府太鼓」を演奏
- 8.6 小・中学校合同受賞のコカ・コーラ環境教育賞授賞式(於 屋久島)
校長、生徒会長(水本千尋)、副会長(中川あい)代表で出席
- 8.6 熊本県議会文教治安常任委員団(14名)視察「環境教育」について
- 8.22 新潟県へき地・複式教育研究大会佐渡大会
- 19.6.11 全国海岸協会功労者表彰 市役所で高野市長から表彰 出席:3年生5名
- 7.2 海ゴミサミット 参加:3年 濱西敏貴、竹森早希
- 9.8 創立60周年記念式典 144名出席 10年後へのタイムカプセルを密封
- 9.24 第28回全国豊かな海づくり大会(朱鷺メッセ)
大会テーマ水産団体会長賞 2年竹下美樹
作文～海への想い～守り人作品優秀賞 3年 竹森早希
- 11.18 佐渡さかなまつり&全国豊かな海づくり大会プレイベントで海府太鼓演奏(両津文化会館)
- 20.5.29 内海府小中連携校の環境整備促進委員会 第1回小委員会
- 10.22 緑の少年団 鷺崎水源の森づくり活動
- 22.7.20 仮設校舎建設作業開始
- 12.7 仮設校舎での教育活動開始
- 23.2.19 内海府小・中連携校安全祈願祭が行われる。
- 3.1 内海府小中連携校基本設計等検討委員会
- 3.5 第1回内海府小中連携校開設準備委員会
- 24.1.25 新校舎授業開始
- 4.1 内海府小中連携校の教育活動開始
- 7.18 小中連携校校舎竣工式典・祝賀会
- 10.27 ジュニアオリンピック陸上大会 女子円盤投出場 3年 森川絵美子
- 25.10.31 税の作文「関東信越国税局管内納税貯蓄組合連合会長賞」 3年 藤澤亜海
- 26.5.26 佐渡市防災倉庫設置
- 28.9.11 内海府小学校創立140周年 内海府中学校創立70周年 記念式典
- 10.15 佐渡市美術展覧会 ジュニア部門 市長賞 1年 山本珠李
教育長賞 2年 浜口凜
- 10.29 ジュニアオリンピック陸上大会 女子円盤投出場 2年 森川貴実子
- 1.10 新潟県ジュニア美術展覧会 特賞 1年 山本珠李
- 31.2.24 学校名 校舎取付
- 4.1 学校運営協議会設置

令和

- 2.4.25 新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休業(～5/10)
- 8.20 3階普通教室エアコン設置
- 3.2.22 「佐渡海府はんがかるた」発刊
- 2.25 普通教室、特別教室、廊下に遮熱カーテン設置
- 3.17 GIGAスクール事業実施のため電子黒板、タブレット端末を導入
- 4.4.5 新型コロナウイルス感染症防止のための臨時休業(～4/10)
- 5.4.6 離島留学生 小川弥恵さん(中1)新潟市立赤塚小学校より転入
- 5.12.11 離島留学生 樋宮花音さん(中2)五泉市立村松桜中学校より転入
- 6.1.15 離島留学生 前田大翔さん(中1)三条市立第四中学校より転入

2 地域の概観

当校の学区は、佐渡市の北端に位置し、佐渡一周線（県道45号線）に沿った海岸に虫崎、北小浦、見立、鷺崎、藻浦、榊原、願、北鶴島、真更川の9集落が25km余りにわたり、細長く点在している。

近年は、沿岸漁業の不振や学卒者の離島傾向などに伴い、児童生徒数の減少が著しく典型的な過疎地域になっている。これらの各地区の産業は農業と漁業が主であるが、特に、漁業への依存度が高い。地域の中心である鷺崎漁港は、第四種漁港として近海漁業基地への発展の可能性を秘めており、近年は寒ぶりがブランド品となっている。また、春のマグロ漁も盛んである。



昭和59年5月からの外海府バス路線の開通による交通網の整備に伴い、昭和62年3月には内海府線に黒姫大橋が開通し、市街との往復も一段と便利になった。

平成20年12月には黒姫虫崎間の内海府トンネルが完成し、市街までの時間はさらに短縮し、交通の面ではますます便利になってきている。

しかし、海岸と崖に挟まれた道路は、高波や落石の危険があり、通行止めも年に数回起こり得る地域である。迂回路は林道しかなく、冬期間は積雪により使用できないこともある。そのため、集落間が不通になり、登下校に支障をきたす。

学区内には医療機関が無く、緊急を要する病気やけがなどの場合には、市街まで行かなければならないなどの問題もある。平成19年4月、海府分遣所が鷺崎に設置されたことで、救急体制は整備された。

地域の方々は、学校教育には極めて協力的で、物心両面にわたる援助を惜しまない。公民館・PTA・地域子ども会等の社会教育活動にも熱心に参加している。特に、地域興しに力を注いでおり、夏にはカンゾウ祭り、冬には寒ブリ大漁祭り、また鬼太鼓の保存のために通年で子どもたちに指導を行っている地域もある。

子どもたちは、互いに支え合い、協力的である。学習活動には真面目に取り組み、基礎的・基本的な学力を身に付けている。一方、問題を自ら解決しようとする力や、自分の考えを進んで表現しようとする力に弱さが見られるが、恵まれた地域や自然環境を生かし、人とのかかわりを深める体験活動を大切に教育活動を展開している。

中学生はガイドボランティアに取り組み、観光で訪れた人たちに海府地区の自然や産業をガイドし紹介している。

体力的にも陸上大会や部活動、地域の大会で入賞を果たすなど、近年の活躍はすばらしいものがある。

地域の方々は、自分なりのめあてや自分の考えをしっかりともち、積極的・意欲的に生活する態度や進んで運動する姿を子どもたちに期待している。

3 学級編成と地域別児童生徒数一覧

(1) 学級編成

学年	小学校						中学校			計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
男子	0	0	2	1	1	0	1	2	0	7
女子	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
計	0	0	2	1	1	0	1	4	1	10
学級数	2						1			3

(2) 地域別児童生徒数一覧

地域	学年	児童												生徒						計		合計	
		1年		2年		3年		4年		5年		6年		1年		2年		3年		男	女		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
虫崎																				0	0	0	
北小浦																					0	0	0
見立																1					1	0	1
鷺崎					2		1		1					1		1	1		1		6	2	8
藻浦																					0	0	0
願																					0	0	0
北鶴島																1					0	1	1
真更川																					0	0	0
計	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2	2	0	1		7	3	10	
合計	0		0		2		1		1		0		1		4		1		10				

4 内海府小中学校 校舎図

